

2020年卒 マイナビ学生就職モニター調査 6月の活動状況



2019年7月

- 内容 : 就職活動状況の定点調査
- 実施期間 : 2019年6月25日～2019年6月30日まで
- 調査対象 : 2020年卒業予定の全国大学4年生及び院2年生
- 調査方法 : Web上のアンケートフォームより入力

□モニター属性データ

カテゴリー	モニター登録数	有効回答数	有効回答率
文系男子	1,102	384	34.8%
理系男子	1,210	606	50.1%
文系女子	1,112	530	47.7%
理系女子	1,188	572	48.1%
総計	4,612	2,092	45.4%

カテゴリー	モニター登録数	有効回答数	有効回答率
関東地区	1,786	797	44.6%
東海地区	433	191	44.1%
関西地区	979	466	47.6%
上記以外のエリア	1,414	638	45.1%

カテゴリー	モニター登録数	有効回答数	有効回答率	
学部	理系:機電系	233	91	39.1%
	理系:情報系	224	91	40.6%
	理系:土木・建築系	161	59	36.6%
	理系:化学系	163	66	40.5%
	理系:薬学系	190	99	52.1%
	理系:その他理系	500	186	37.2%
	院	理系:機電系	197	117
理系:情報系		73	52	71.2%
理系:土木・建築系		52	34	65.4%
理系:化学系		242	162	66.9%
理系:薬学系		52	34	65.4%
理系:その他理系		311	187	60.1%

【6月のTOPICS】

～6月中に入社予定先を決めた学生は44.8%。面接受験社数は前年を下回る～

指針の選考活動開始日を迎えた6月だが、1次面接を受けた割合（33.6%、前年同月比7.8pt減）や最終面接を受けた割合（39.3%、前年同月比6.2pt減）は前年を下回った。6月中に入社予定先を決めた学生は、ほぼ前年並みの44.8%（前年同月比0.6pt減）だった。3月から6月の面接受験社数平均の累計は10.2社（前年同月比0.4pt減）で前年を下回った。一方、エントリーシート提出社数の累計（11.6社、前年同月比0.3pt増）と通過社数の累計（7.4社、前年同月比0.4pt増）は前年を上回り、内々定獲得社数累計（1.9社、前年同月比0.1pt増）は前年とほぼ変わらなかった。前年より前倒しのペースで始まった今年の就職活動は前年並みの内々定社数で収束に向かいそうだ。

- (P. 7) 就活にかかるお金の41.4%はアルバイト代・給料から、37.3%は親からもらうお金から捻出
- (P. 16) 6月末までに学生が得た内々定のうち、3月以前（15.5%）と4月（26.6%）に得た割合が2年連続で増加
- (P. 19) インターンシップに参加した企業から得た内々定に絞ると、4月以前に得た割合は60.8%
- (P. 28) 面接を受けて志望度が上がった理由の最多は「話をしっかり聞いてくれた」の39.1%
- (P. 30) WEB面接を経験した割合は20.2%で前年から大幅増。うち「実施企業がもっと増えたほうが良い」は42.7%
- (P. 32) 選考（面接）前に入社案内を見ると注目するポイントは「企業理念」52.8%「採用方針」49.7%

■集計方法

全体の回答率を算出するにあたり、有効回答数の文理男女構成比を、2020年3月卒業予定の大学生・大学院生の比率と等しくする為、文部科学省の学校基本調査を基に、ウエイトバック集計を行っている。基準数値は2018年12月公表の平成29年度学校基本調査より、大学3年生・院1年生の在籍数から男女比を参照している。文理区分については文部科学省・厚生労働省共同調査による「大学等卒業予定者の就職内定状況調査」の分類に準拠。

※ウエイトバック集計とはアンケート回答者の属性構成比率が実際の属性比率と乖離している場合、構成比に合わせるように重み付けして集計すること。

■□各種調査はWEB上でも順次公開中！□■

人事担当者のための新卒採用支援情報サイト 新卒採用サポネット <https://saponet.mynavi.jp/>

就職指導ご担当者のための総合情報サイト マイナビキャリアサポート <http://mcs.mynavi.jp/>

■□本資料について□■

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社 マイナビ 社長室 リサーチ&マーケティング部 TEL:03(6267)4571/E-mail:myrm@mynavi.jp

INDEX

【定点調査】

■1:6月の活動状況

■2:エントリー状況、セミナー参加やエントリーシート提出状況、就活費用

- | | |
|--|---------------------------|
| (1) アンケート回答者全体の平均エントリー社数 | (7) 面接受験割合の推移 |
| (2) アンケート回答者全体の個別セミナー参加・適性検査受験社数
・エントリーシート提出状況(平均) | (8) 現在選考に進んでいる社数(平均) |
| (3) 平均エントリー社数累計 | (9) 3月～6月の就活費用 |
| (4) 平均個別企業セミナー参加社数累計 | (10) 就職活動にかかるお金の捻出方法(平均) |
| (5) 平均面接受験社数累計 | (11) 現時点での第一志望企業の就職活動進捗状況 |
| (6) アンケート回答者全体の個別セミナー参加
・エントリーシート提出と通過・面接受験・内々定獲得社数累計 | |

■3:現在の志望業種について

- (1) 現在の第一志望業種

■4:活動の感触・就職観

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| (1) 活動開始時点と比較して活動の感触は | (4) 現時点で不安があるか |
| (2) 厳しいと感じる理由【複数回答】 | (5) 就職活動で不安に思う要因【複数回答】 |
| (3) 1日に費やしている時間平均(就職活動準備・就職活動) | (6) この時期最も注力している就職活動の内容 |

■5:企業選択のポイント

- (1) 現在の活動は【中小企業中心or大手企業中心】
 (2) 現在の活動は(文理男女別)【中小企業中心or大手企業中心】
 (3) 現在の活動は(エリア別)【中小企業中心or大手企業中心】
 (4) 企業を選ぶときに、あなたが特に注目するポイント

■6:内々定保有者の活動状況

- | | |
|---|--|
| (1) 企業の主な発見ツール(内々定先・入社予定先) | (22) インターンシップに参加した時期
(内々定先・入社予定先)【複数回答】 |
| (2) 内々定を得た企業の業種 | (23) 内々定先のインターンシップに2回以上参加したか |
| (3) 内々定獲得企業の中から入社予定先を決めている割合 | (24) インターンシップに2回以上参加したか×参加時期
(内々定先・入社予定先)【複数回答】 |
| (4) 内々定獲得後入社意思決定までにもらった時間 | (25) インターンシップに2回以上参加した場合の初回参加月 |
| (5) 入社予定先企業に接触する前の時点での志望順位 | (26) 入社予定先の企業についての評価
・企業スペックの満足度
・就業条件、職場環境の満足度
・能力を活かせるか
・社員の印象と帰属感
・経営者の印象
・将来のキャリア展望
・比較検討 |
| (6) 入社したいと最初に強く思ったタイミング | (27) 内々定先満足度 |
| (7) 入社予定先企業を選択したポイント | (28) 入社予定先未決定者の内々定先満足度 |
| (8) 入社予定先企業を選択したポイントと
企業を選ぶときに注目するポイント(6月) | (29) 入社予定先が決まっている学生の内々定先満足度 |
| (9) 内々定を得た企業の規模 | (30) 入社予定先当初志望度別満足度 |
| (10) 入社予定先企業の規模 | (31) 入社予定先のインターンシップ参加・不参加・
参加回数別満足度 |
| (11) 内々定を得た時期(内々定先・入社予定先) | (32) 入社予定先従業員規模別満足度 |
| (12) 内々定を得た時期・文理男女経年比較
(内々定先・入社予定先) | (33) 入社予定先内々定獲得時期別満足度 |
| (13) 内々定獲得後入社意思を固めた時期 | |
| (14) 内々定獲得後入社意思を固めた時期・文理男女経年比較 | |
| (15) 1次面接から内々定連絡までの選考回数(内々定先) | |
| (16) インターンシップに参加した割合(内々定先・入社予定先) | |
| (17) 1次面接を受けてから内々定をもらうまでの期間
(内々定先・入社予定先) | |
| (18) 内々定を得た時期別・インターンシップに参加していた割合 | |
| (19) インターンシップに参加した企業から内々定を得た時期
文理男女経年比較 | |
| (20) 入社予定先の内々定を得た時期別・インターンシップに参加していた割合 | |
| (21) インターンシップ参加した入社予定先から内々定を得た時期・文理男女経年比較 | |

※調査結果は、小数点第2位を四捨五入しております。そのため、グラフ及び表の和が100.0%にならない場合がございます。予めご了承ください。

■7:【理系】6月の活動状況

- (1) 理系学生の活動状況【複数回答】
- (2) 企業の選考を受けた割合
- (3) 企業への応募方法(6月)、(2月～6月)

【追加調査】

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| (4) 推薦状を提出した経験 | (9) 入社予定先企業に応募した方法 |
| (5) 提出したことのある推薦形式【複数回答】 | (10) 選考前に研究室で企業の方と接触のあった割合 |
| (6) 提出タイミング(学校推薦・教授推薦・後付推薦) | (11) 選考前に企業の方と接触した時期【複数回答】 |
| (7) 初めて提出した時期(学校推薦・教授推薦・後付推薦) | (12) 選考前に企業の方と接触した機会【複数回答】 |
| (8) 推薦についての考え | (13) 選考前に企業の方と接触した目的【複数回答】 |

■8:面接について

- | | |
|-----------------------------------|---|
| (1) 面接を受けたことがあるか | (12) 面接で回答が比較的容易だった質問【複数回答】 |
| (2) 面接は得意か | (13) 面接で回答が難しかった質問【複数回答】 |
| (3) 面接前の準備 | (14) 面接を受けた日から結果通知まで待てる期間(平均) |
| (4) 面接時に注意しているポイント【2つまで選択】 | (15) 面接を受けた日から結果通知まで待てる期間(分布) |
| (5) 採用面接を受けるように連絡をもらった経験 | (16) 面接後に連絡がなく落ちたと思った企業から、
後になって連絡があった経験 |
| (6) 連絡をもらった採用面接を断った理由【複数回答】 | (17) 落ちたと思った企業から連絡があった時の対応と結果
【複数回答】 |
| (7) 面接前後での志望度変化の割合(平均) | (18) 面接経験者のうち、WEB面接の経験者の割合 |
| (8) 面接で志望度が上がった理由【複数回答】 | (19) WEB面接を受けて感じたこと【複数回答】 |
| (9) 面接官とのやりとりの中で入社したいと思ったことがある割合 | (20) WEB面接を実施する企業が増えた方が良いと思うか |
| (10) 面接で聞かれたことがあるもの(不適切な質問)【複数回答】 | |
| (11) 面接でよく聞かれた質問【複数回答】 | |

■9:入社案内(採用パンフレット)について

- | | |
|--------------------|--|
| (1) 理想的だと思うサイズ | (6) 紙・冊子が良い理由【複数回答】 |
| (2) 読みやすいと思うページ数 | (7) 入社案内に最もよく目を通すタイミング |
| (3) 入手経路【複数回答】 | (8) 入社案内を見るとき注目するポイント【複数回答】
(エントリーシート提出前・選考(面接)前) |
| (4) WEBと紙、どちらが良いか | |
| (5) 電子版が良い理由【複数回答】 | |

■10:企業の採用ホームページ(HP)について

- (1) 志望企業の採用HPを見ようと思ったきっかけ【複数回答】
- (2) 採用HPを見る際によく使うツール
- (3) PCで見るのはどのようなときか【複数回答】
- (4) スマートフォンで見るのはどのようなときか【複数回答】
- (5) スマートフォンで企業の採用HPを見る場合、どこで見ることが最も多いか
- (6) スマートフォン向けに最適化されていた方が良いか
- (7) 企業の採用HPのどのような情報をよく見ているか【複数回答】
(エントリー前・セミナー参加前・ES提出や選考前)

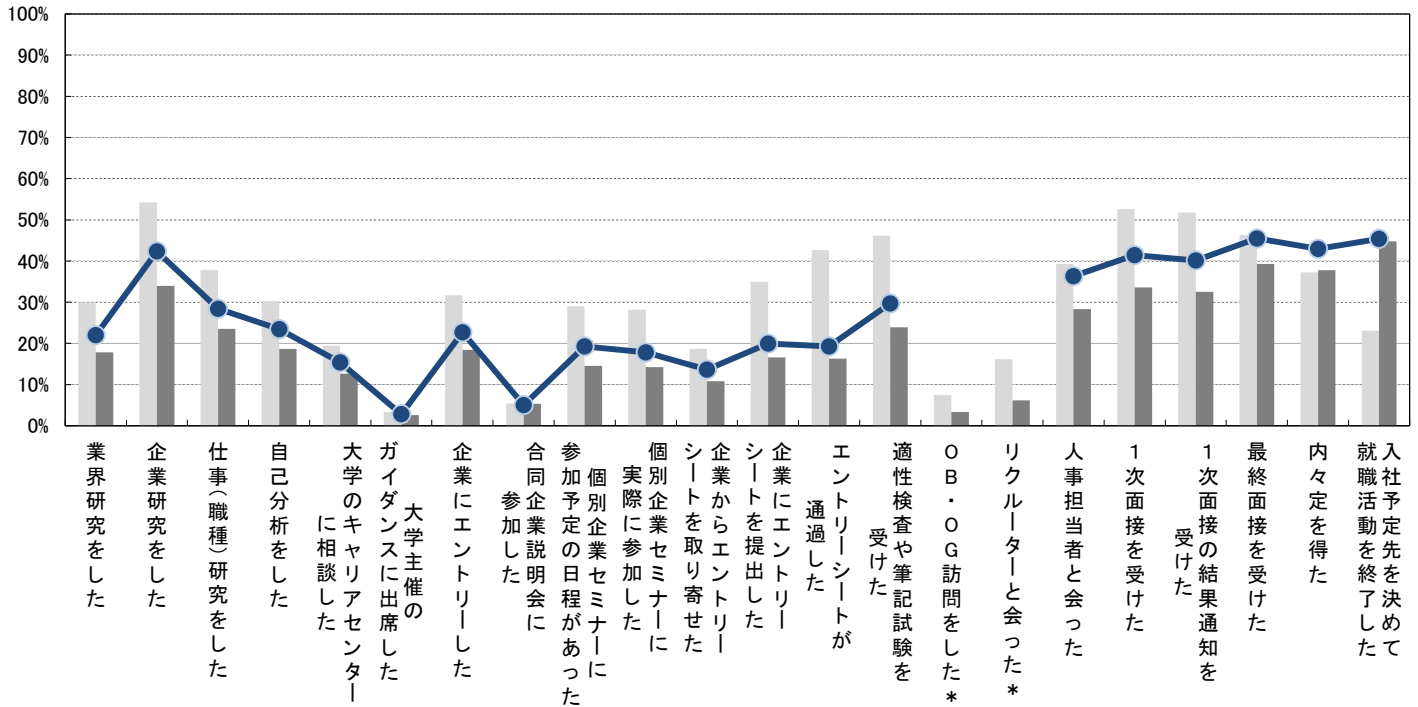
※調査結果は、小数点第2位を四捨五入しております。そのため、グラフ及び表の和が100.0%にならない場合がございます。予めご了承ください。

■1:6月の活動状況

6月の活動状況では、ほとんどの項目で前月の割合を下回ったが、「内々定を得た（37.8%、前月比0.6pt増、前年同月比5.1pt減）」はほぼ同じで「入社予定先を決めて活動を終了した（44.8%、前月比21.7pt増、前年同月比0.6pt減）」は大きく増加した。前年同月との比較では、経団連の指針の選考活動開始月であるにもかかわらず、「1次面接を受けた（33.6%、前年同月比7.8pt減）」「最終面接を受けた（39.3%、前年同月比6.2pt減）」がそれぞれ減少した。選考中の企業の合否が確定したことで、多くの学生が内々定先の中から入社予定先を決定し、就職活動を終了したようだ。

6月の活動状況

20年卒 5月全体 20年卒 6月全体 19年卒 6月全体



*前年は「OB・OGやリクレーターと会った」

	20年卒			19年卒【参考】			20年卒	
	6月全体	6月前半	6月後半	6月全体	6月前半	6月後半	5月全体	4月全体
業界研究をした	17.8%	15.9%	8.1%	22.0%	19.5%	10.4%	29.9%	52.5%
企業研究をした	34.0%	31.0%	17.8%	42.3%	38.7%	23.0%	54.2%	77.8%
仕事(職種)研究をした	23.5%	20.4%	11.4%	28.4%	23.8%	15.3%	37.8%	59.0%
自己分析をした	18.7%	15.5%	9.2%	23.5%	20.1%	11.6%	30.3%	50.7%
大学のキャリアセンターに相談した	12.6%	9.2%	6.4%	15.4%	11.4%	7.7%	19.4%	27.4%
大学主催のガイダンスに出席した	2.6%	1.6%	1.3%	2.8%	1.7%	1.4%	3.3%	9.6%
企業にエントリーした	18.4%	14.1%	11.0%	22.7%	17.2%	14.3%	31.7%	62.2%
合同企業説明会に参加した	5.4%	3.9%	2.3%	5.0%	2.7%	2.9%	5.4%	14.2%
個別企業セミナーに参加予定の日程があった	14.6%	10.9%	9.9%	19.2%	14.5%	13.5%	29.0%	64.3%
個別企業セミナーに実際に参加した	14.2%	10.5%	9.5%	17.8%	13.6%	11.9%	28.2%	63.1%
企業からエントリーシートを取り寄せた (企業HP・サイトからダウンロードや郵送で取り寄せた)	10.8%	7.8%	6.5%	13.6%	9.4%	8.4%	18.7%	45.0%
企業にエントリーシートを提出した (取り寄せたシートを記入し返送したり、WEBから直接書き込んだりした)	16.6%	12.0%	10.4%	20.0%	14.0%	12.1%	35.0%	71.8%
エントリーシートが通過した (シートを提出後、次の選考の案内が来た)	16.3%	12.3%	8.2%	19.2%	15.3%	9.1%	42.7%	75.7%
適性検査や筆記試験を受けた	23.9%	17.6%	13.7%	29.7%	22.1%	17.4%	46.2%	78.5%
OB・OG訪問をした*	3.3%	2.1%	1.4%	↓OB・OGやリクレーターと会った↓			7.4%	12.5%
リクレーターと会った*	6.2%	4.7%	2.6%	8.5%	5.8%	4.1%	16.2%	26.8%
人事担当者と会った	28.3%	22.2%	13.5%	36.3%	28.8%	18.4%	39.3%	55.7%
1次面接を受けた	33.6%	28.9%	12.6%	41.4%	36.6%	14.9%	52.6%	77.2%
1次面接の結果通知を受けた	32.5%	27.8%	12.6%	40.2%	34.7%	14.8%	51.8%	73.8%
最終面接を受けた	39.3%	31.3%	12.6%	45.5%	35.1%	16.1%	46.3%	45.8%
内々定を得た	37.8%	29.8%	10.9%	42.9%	34.8%	11.4%	37.2%	35.9%
入社予定先を決めて就職活動を終了した	44.8%	33.6%	12.3%	45.4%	33.2%	13.1%	23.1%	14.1%
内々定を得ていないが就職活動を中止した	1.9%	1.2%	0.8%	1.8%	1.4%	0.6%	2.0%	2.1%

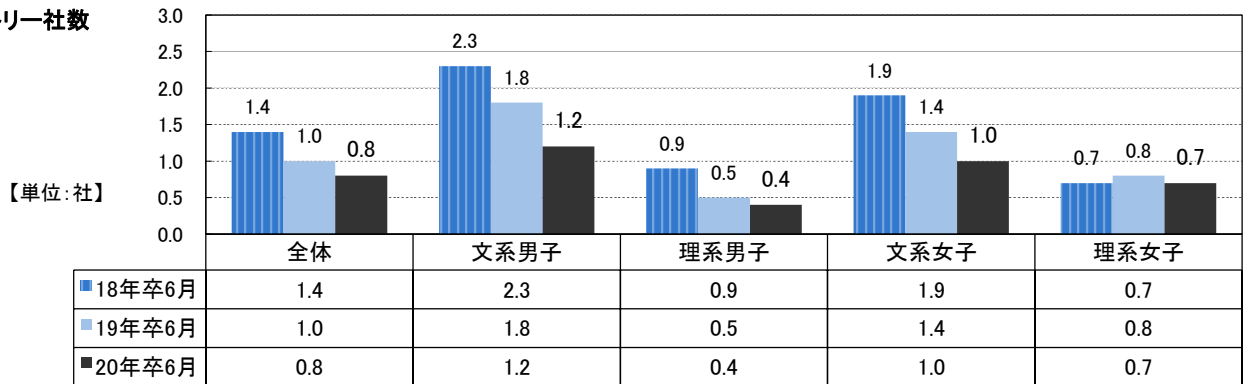
*前年は「OB・OGやリクレーターと会った」

■2: エントリー状況、セミナー参加やエントリーシート提出状況、就活費用

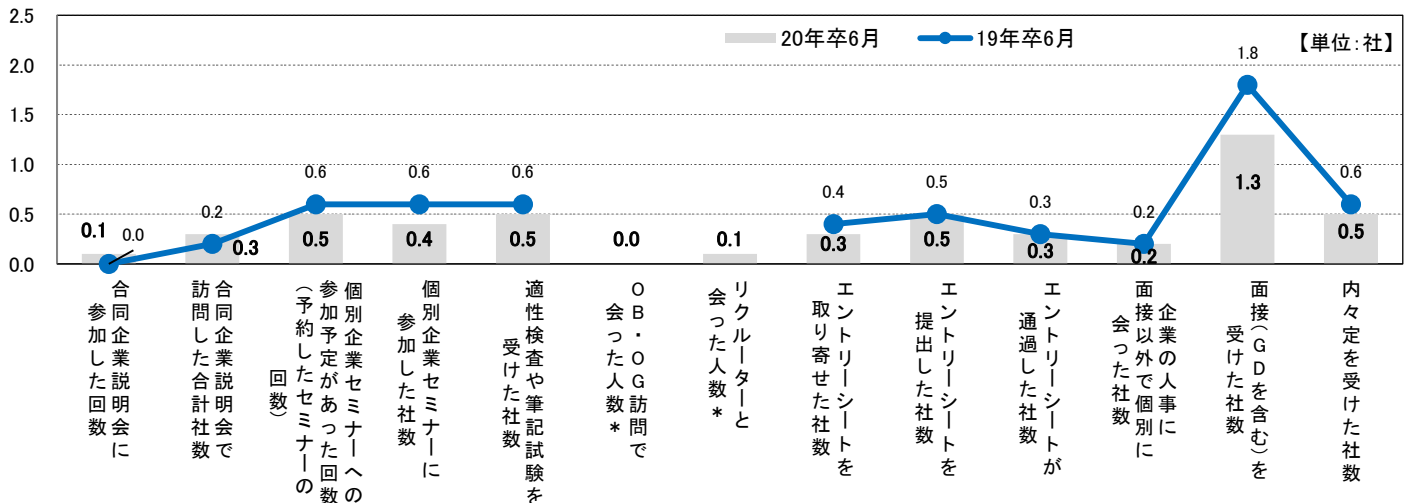
6月の面接受験社数平均は1.3社で、前月に引き続き前年同月を下回った。3月から6月までの面接受験社数平均の累計を見ると、2年連続で少しずつ減少している。一方、エントリーシート提出社数と通過社数の平均の累計を見ると、それぞれわずかに前年を上回った。内々定獲得社数の累計は2年連続で0.1ptずつ増加した。個別企業セミナー参加社数の累計は前年を大きく下回っており、学生はその分の活動量をエントリーシートに注力することで、前年並みの内々定獲得に至ったと言えそうだ。

就活費用平均の3月～6月累計は9万9,277円で前年を7,370円下回った。就活費用の検出方法を聞いたところ、41.4%をアルバイト代・給料から、37.3%を保護者からもらうお金から検出していた。今年から項目に追加した「奨学金からの充当」は6.1%だった。

6月平均エントリー社数

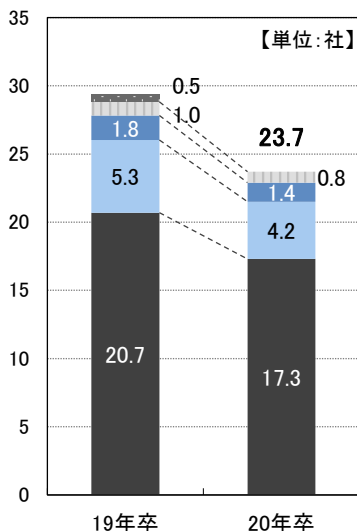


合同企業説明会、個別企業セミナーの参加社数、適性検査受験社数、エントリーシート提出社数（平均）

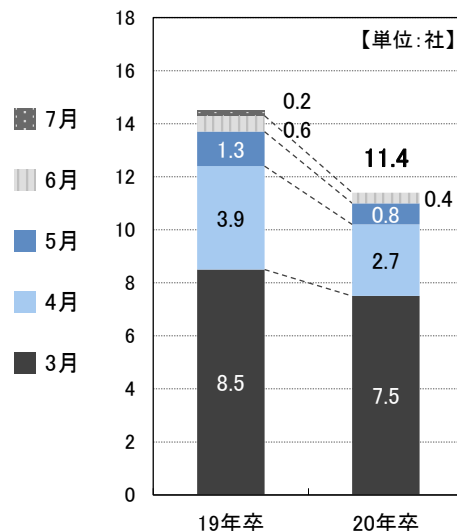


*前年は「OB・OGやリクレーターと会った人数」

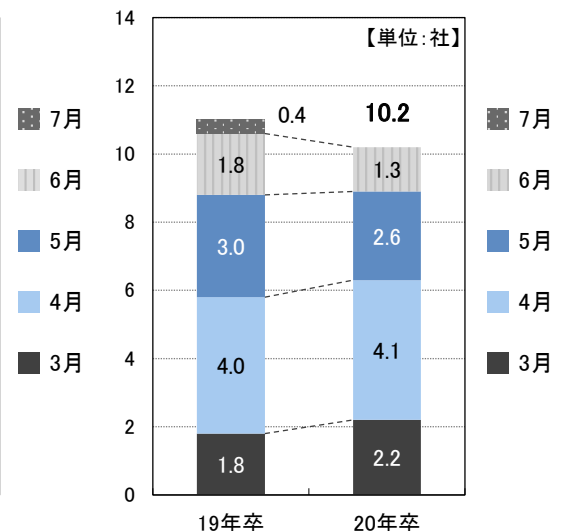
平均エントリー社数累計



平均個別企業セミナー参加社数累計

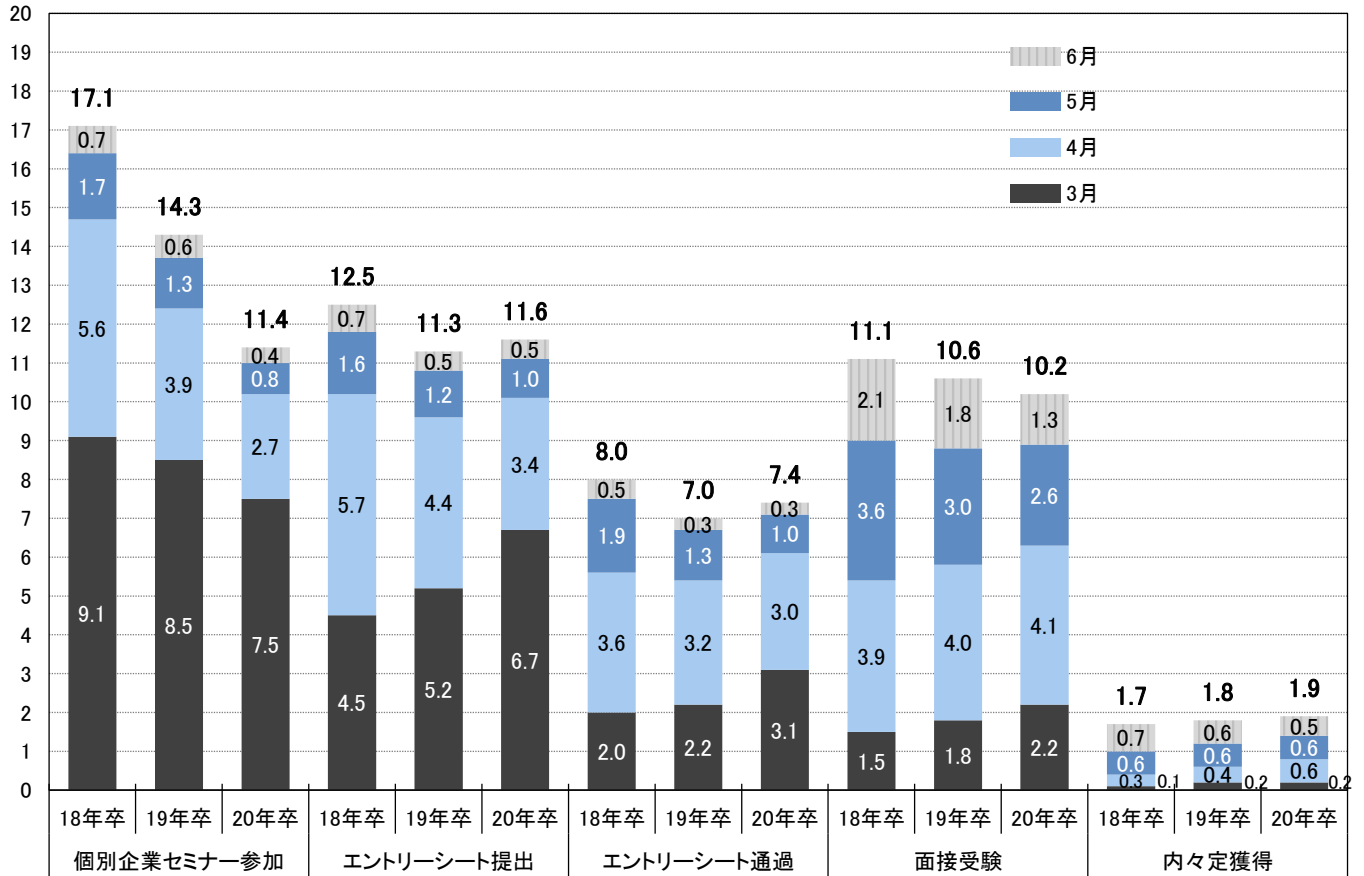


平均面接受験社数累計



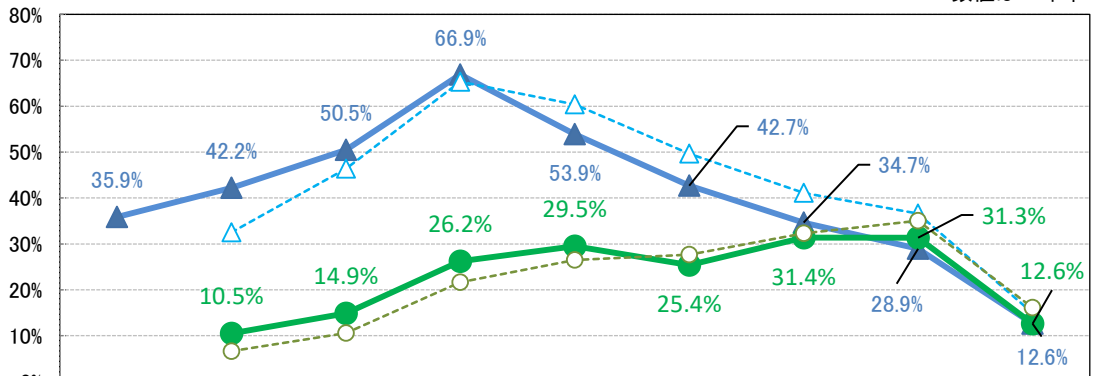
個別企業セミナー参加、エントリーシート提出・通過、面接受験、内々定獲得、平均社数累計

【単位：社】



面接受験割合の推移

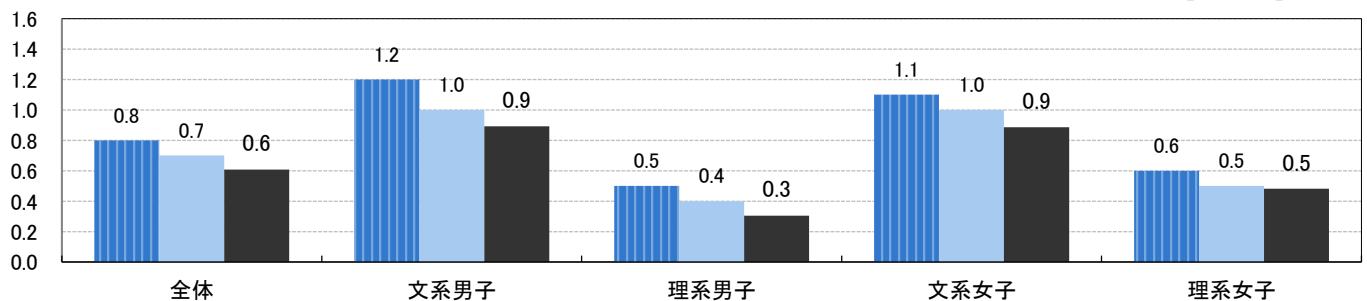
* 数値は20年卒



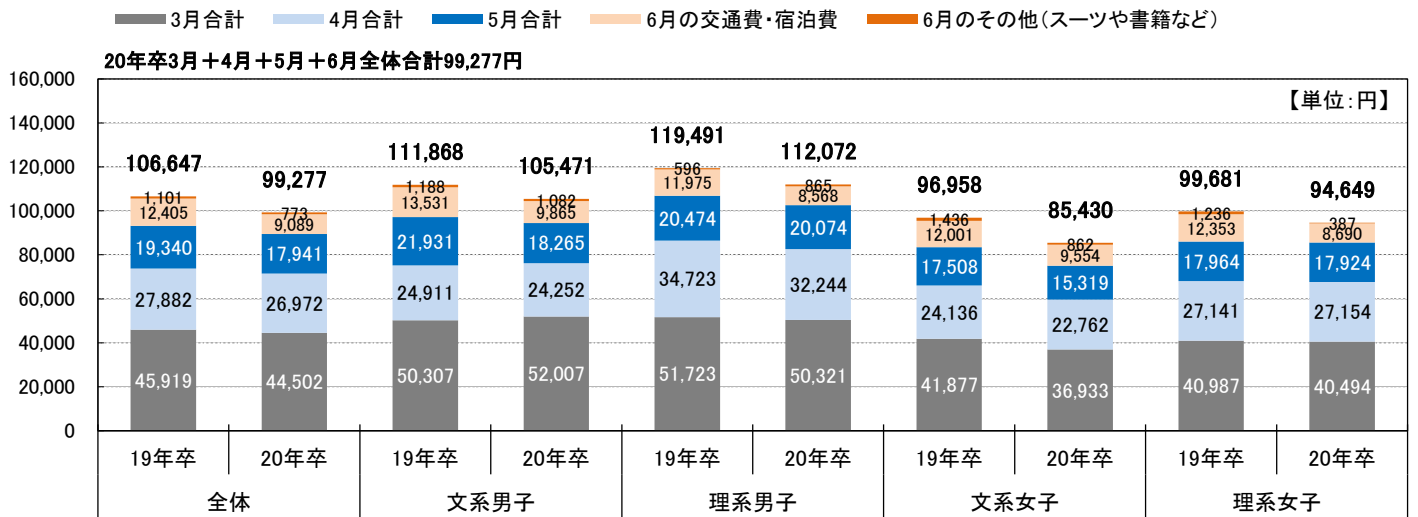
現在選考中の社数(平均)

18年卒6月 19年卒6月 20年卒6月

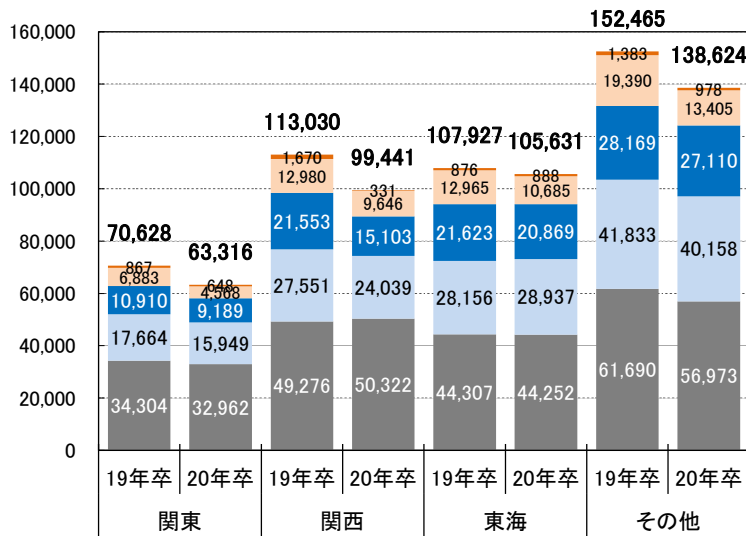
【単位：社】



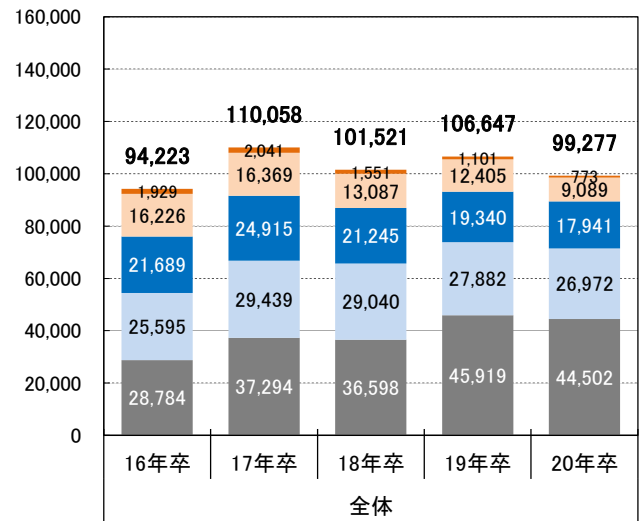
3月・4月・5月・6月の就活費用（平均・文理男女別前年同月比）



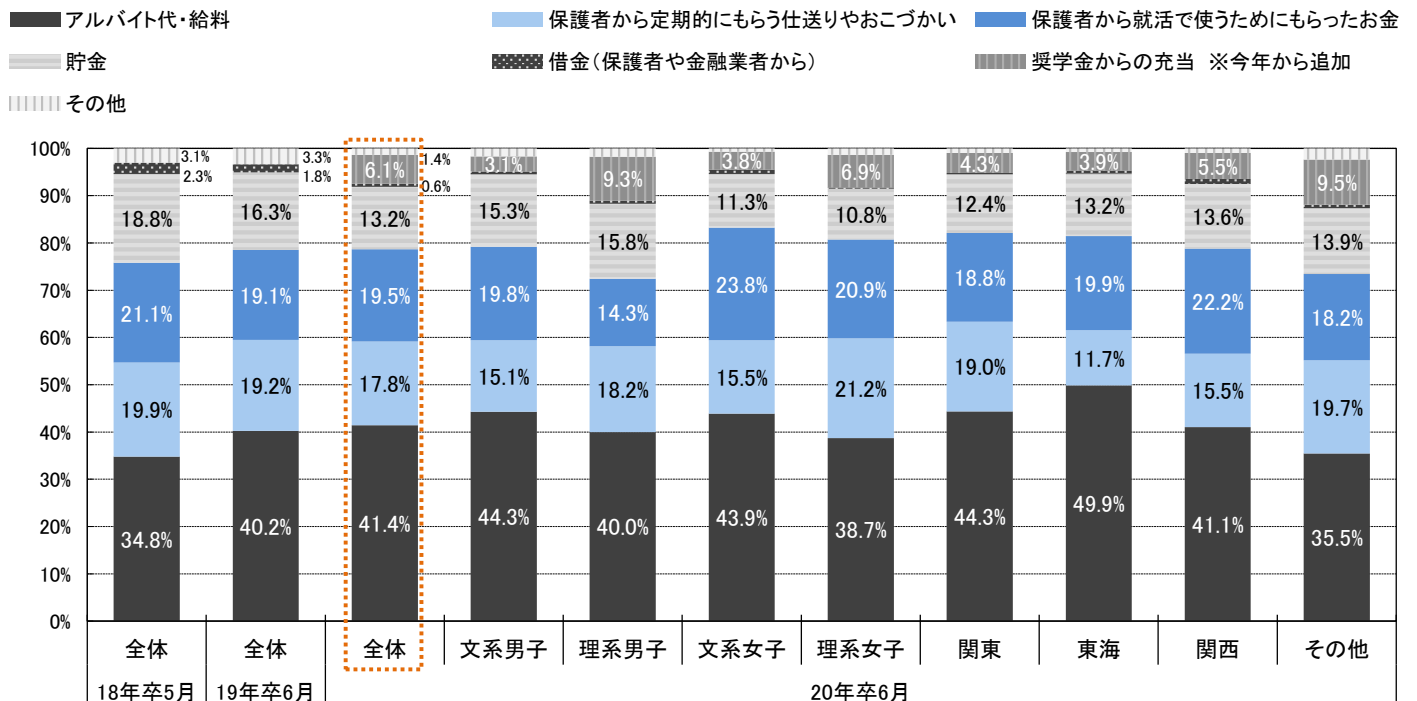
3月・4月・5月・6月の就活費用（平均・地域別前年同月比）



3月・4月・5月・6月の就活費用（平均・経年変化）



就職活動にかかるお金は、どのように捻出しているか（平均）



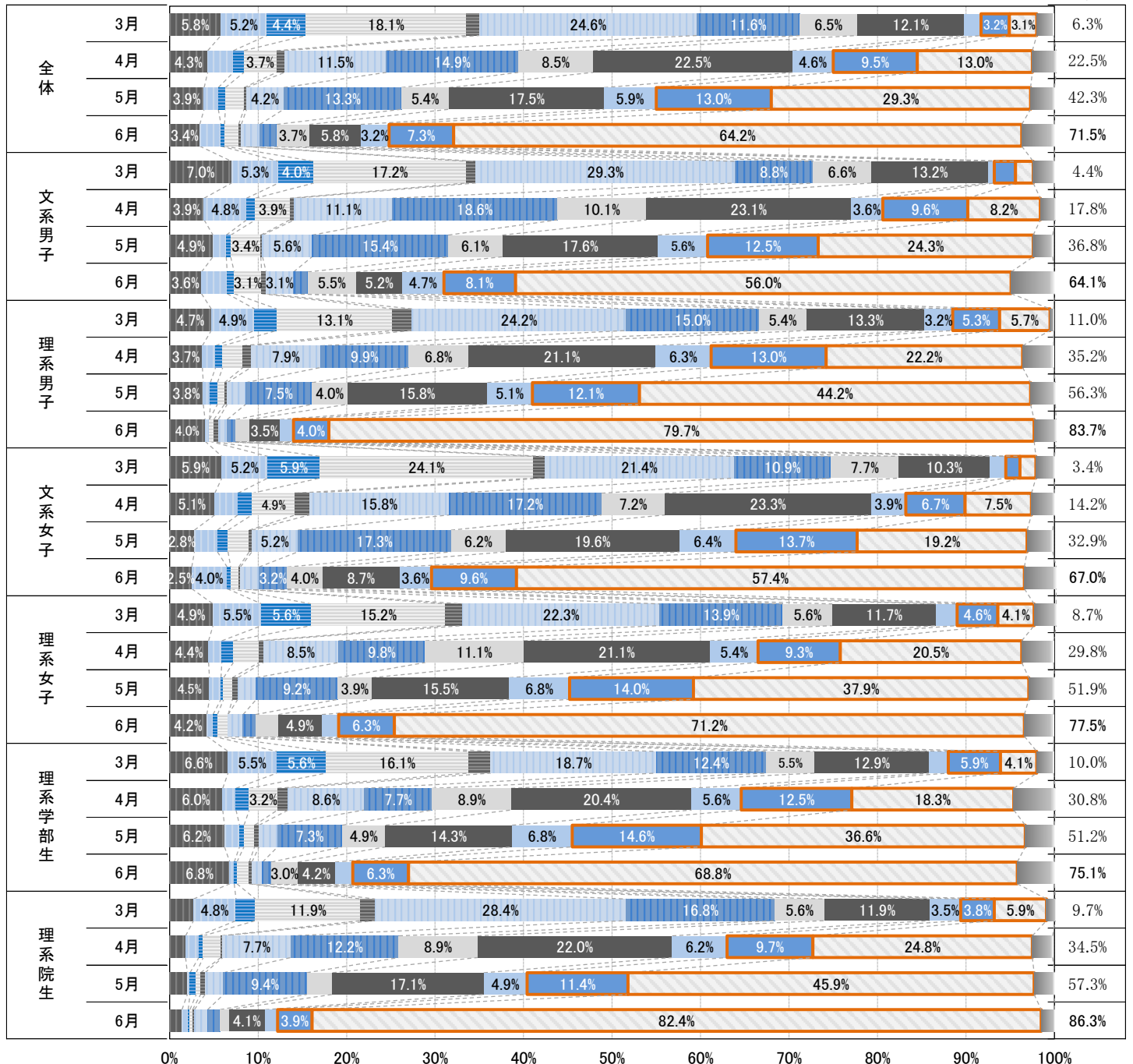
6月時点の第一志望企業の就職活動進捗状況では、「入社することを伝えて就職活動を終了した」が全体で64.2%（前月の29.3%から2倍以上増加）となった。「内々定を得たがまだ入社意思を伝えていない」の7.3%を加えた「内々定以降の段階」の割合は71.5%で、7割強の学生はほぼ就職活動を終える段階に達していた。「内々定以降の段階」の割合は文理差が大きく、理系男子の83.7%、理系女子の77.5%に比べて、文系男子は64.1%、文系女子は67.0%で、男子の文理差は19.6ptあった。文系女子の「内々定以降の段階」の割合は、5月の段階では文系男子の割合を下回っていた（女子から見た男女差-3.9pt）が、6月に入って逆転した（同+2.9pt）。

現時点での第一志望企業の就職活動進捗状況

内々定以降の段階

- まだエントリーしていない
- エントリーはしたがセミナーにはまだ参加していない
- 合同企業説明会で話を聞いた
- 個別企業セミナーに参加した
- 人事担当者と面接以外で個別に会った
- エントリーシートを提出し結果待ち
- エントリーシートが通過した
- 1次面接を受けて結果待ち
- 1次面接を通過～最終面接前
- 最終面接を受けて結果待ち
- 内々定を得たがまだ入社意思を伝えていない
- 入社することを伝えて就職活動を終了した
- その他

内々定以降の段階の割合 ↓



■3:現在の志望業種について

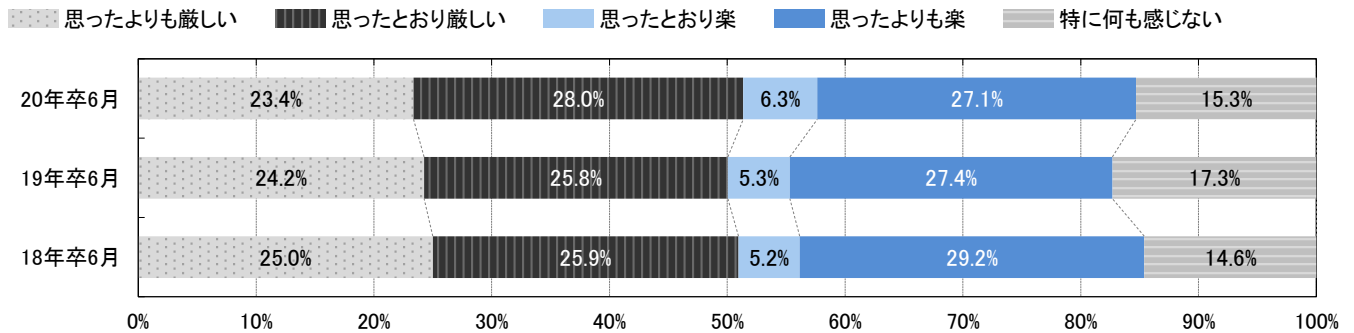
※上位5位までに色塗り

	20年卒6月						19年卒6月		
	全体	文系 男子	理系 男子	文系 女子	理系 女子	文系	理系	文系	理系
回答人数	2,092	384	606	530	572	914	1,178	954	1,160
建設・設備工事	2.8%	1.6%	5.6%	1.7%	2.8%	1.6%	4.7%	1.9%	4.4%
住宅・インテリア	1.7%	1.8%	1.5%	1.5%	2.1%	1.7%	1.7%	2.3%	1.1%
食品・農林・水産	4.5%	1.6%	4.6%	3.4%	14.7%	2.5%	8.0%	3.2%	8.8%
アパレル・服飾関連	0.6%	0.5%	0.2%	1.3%	0.2%	0.9%	0.2%	0.9%	0.2%
繊維・化学・ゴム・ガラス・セラミック	4.3%	1.3%	9.6%	1.3%	8.9%	1.3%	9.3%	2.6%	7.3%
薬品・化粧品	3.9%	0.8%	6.9%	0.9%	13.5%	0.9%	9.1%	1.4%	8.6%
鉄鋼・金属・鉱業	1.6%	2.1%	2.1%	0.8%	1.4%	1.4%	1.9%	0.9%	1.6%
機械・プラント	3.0%	2.6%	6.4%	0.9%	2.3%	1.8%	5.0%	1.0%	4.8%
電子・電気機器	3.5%	1.3%	7.6%	2.6%	2.8%	2.0%	6.0%	1.7%	5.7%
自動車・輸送用機器	4.0%	2.6%	8.9%	2.5%	1.9%	2.5%	6.5%	2.2%	7.1%
精密・医療機器	1.0%	0.8%	1.8%	0.6%	1.4%	0.7%	1.7%	0.7%	2.8%
印刷・事務機器・日用品	0.9%	0.8%	0.7%	0.9%	1.6%	0.9%	1.0%	1.2%	1.0%
スポーツ・玩具・ゲーム製品	0.7%	0.8%	0.5%	0.9%	0.5%	0.9%	0.5%	0.7%	0.2%
その他メーカー	0.5%	0.5%	0.2%	0.8%	0.2%	0.6%	0.2%	1.3%	0.4%
総合商社	1.9%	3.1%	0.7%	2.5%	0.0%	2.8%	0.4%	2.1%	0.3%
専門商社	1.7%	2.3%	0.7%	2.5%	0.0%	2.4%	0.4%	2.4%	0.5%
百貨店・スーパー・コンビニ	1.2%	2.1%	0.3%	1.3%	0.5%	1.7%	0.4%	1.4%	0.1%
専門店	0.4%	0.3%	0.2%	0.8%	0.5%	0.5%	0.3%	0.8%	0.1%
銀行・証券	5.5%	9.9%	1.3%	6.4%	0.2%	8.2%	0.9%	7.9%	0.6%
クレジット・信販・リース・その他金融	1.3%	1.8%	0.5%	1.7%	0.3%	1.8%	0.4%	2.1%	0.2%
生保・損保	2.1%	2.9%	0.2%	3.4%	0.3%	3.1%	0.2%	2.5%	1.0%
放送・新聞・出版	1.8%	1.3%	0.8%	3.6%	0.7%	2.4%	0.8%	2.8%	1.6%
広告・芸能	1.6%	1.8%	0.0%	2.8%	0.9%	2.3%	0.3%	2.1%	0.2%
ソフトウェア・情報処理・ネット関連	11.2%	12.2%	12.9%	9.8%	9.1%	11.0%	11.6%	10.8%	11.3%
ゲームソフト	0.2%	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.2%	0.6%
通信	1.5%	1.0%	2.3%	1.5%	1.2%	1.3%	1.9%	1.9%	2.4%
鉄道・航空	3.9%	4.9%	4.0%	4.3%	0.3%	4.6%	2.7%	4.1%	3.9%
陸運・海運・物流	1.5%	2.3%	1.0%	1.5%	0.5%	1.9%	0.8%	1.8%	0.5%
電力・ガス・エネルギー	1.7%	1.8%	3.0%	0.9%	0.5%	1.4%	2.1%	1.2%	1.3%
不動産	1.2%	1.8%	0.0%	1.7%	0.7%	1.8%	0.2%	2.4%	0.7%
給食・フードサービス	0.4%	0.5%	0.0%	0.2%	1.0%	0.4%	0.4%	0.0%	0.6%
ホテル・旅行	1.8%	1.6%	0.2%	3.8%	0.3%	2.7%	0.2%	2.5%	0.1%
医療・調剤薬局	2.3%	0.5%	2.1%	0.6%	11.2%	0.5%	5.2%	0.5%	5.1%
介護・福祉サービス	0.3%	0.3%	0.0%	0.6%	0.2%	0.4%	0.1%	0.4%	0.3%
アミューズメント・レジャー	0.5%	0.8%	0.0%	0.6%	0.7%	0.7%	0.2%	0.4%	0.1%
コンサルティング・調査	1.9%	1.6%	2.5%	1.9%	1.4%	1.7%	2.1%	1.8%	2.0%
人材サービス(派遣・紹介)	1.1%	0.8%	0.5%	1.9%	1.0%	1.3%	0.7%	1.7%	0.4%
教育	2.0%	1.3%	0.8%	4.2%	0.7%	2.7%	0.8%	2.3%	0.3%
エステ・理美容・フィットネス	0.3%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.5%	0.0%	0.1%	0.1%
冠婚葬祭	0.2%	0.3%	0.0%	0.4%	0.0%	0.3%	0.0%	0.5%	0.0%
その他サービス	0.9%	1.3%	0.3%	0.9%	1.0%	1.1%	0.6%	1.0%	0.8%
官公庁・公社・団体	6.3%	9.4%	1.7%	7.5%	4.5%	8.5%	2.6%	6.7%	4.1%
特定の業界を志望していない	10.4%	12.8%	7.3%	11.5%	7.5%	12.1%	7.3%	13.3%	7.0%

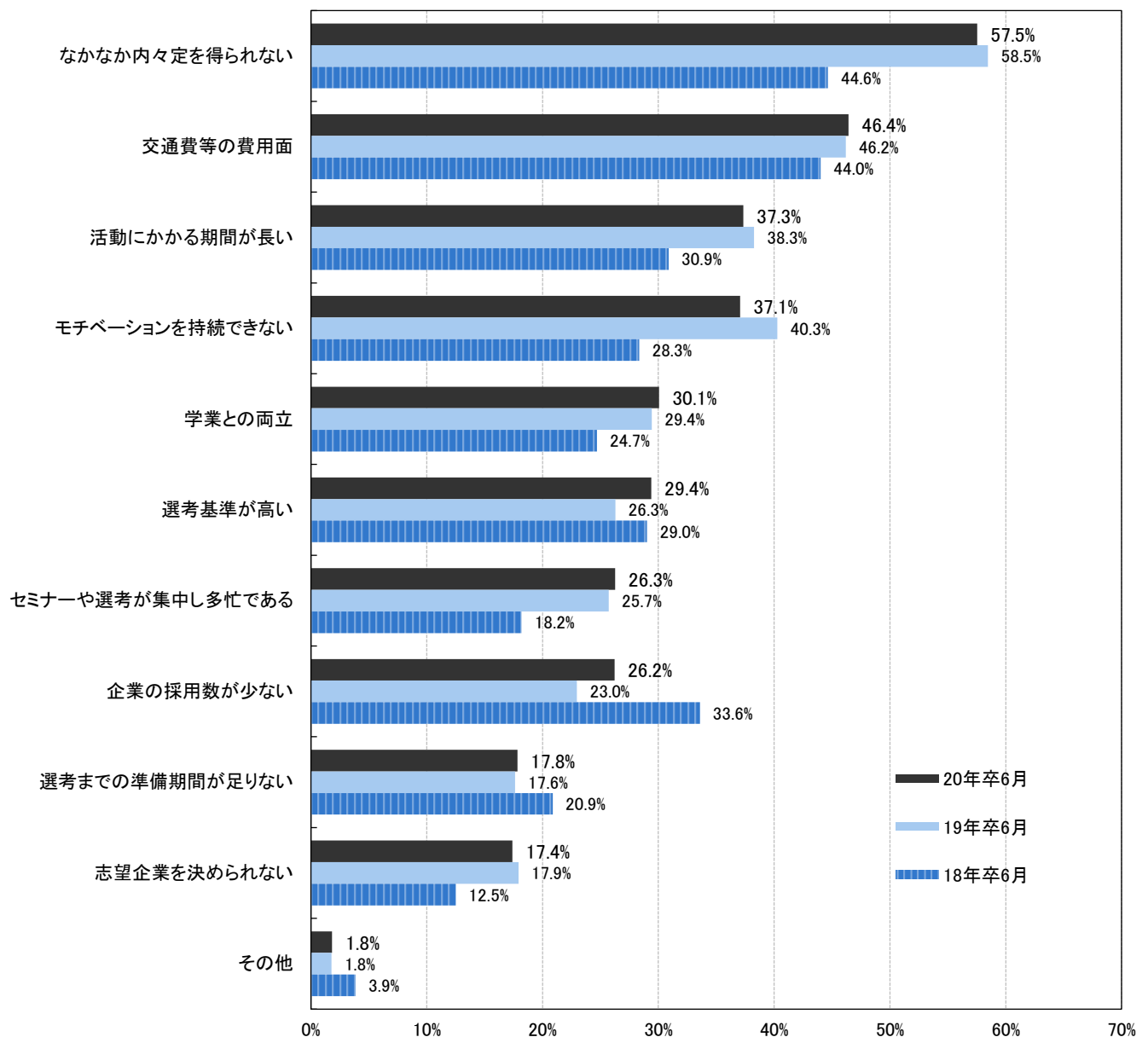
■4:就職活動の感触・就職観

就職活動を始めた時点と現時点を比較して、就職活動に対する感触を聞いたところ、「思ったよりも楽」という回答が27.1%で、最も高い割合だった。「厳しい(思ったより+思ったとおり、51.4%)」と感じる学生の割合はほぼ半分で、「楽(思ったより+思ったとおり、33.4%)」との比較では、「厳しい」が「楽」を上回った。厳しいと感じる理由では、前年同様「なかなか内々定を得られない(57.5%)」の割合が最も高かった。

活動開始時点と比較して活動の感触は

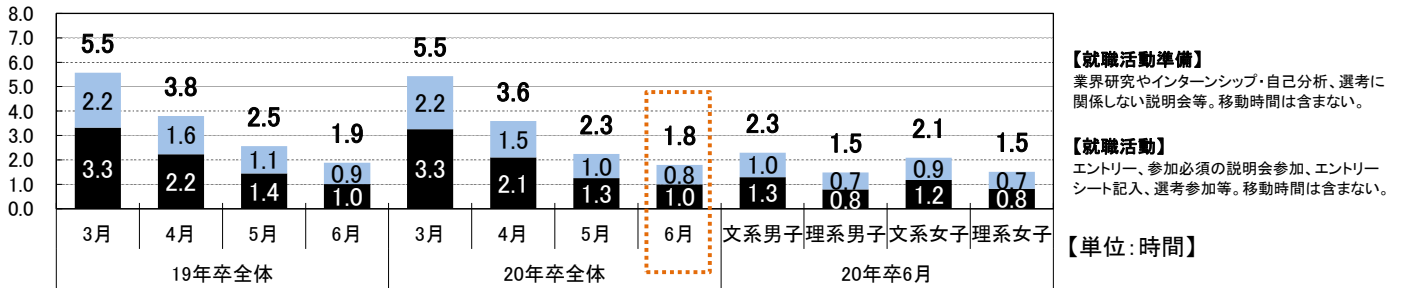


厳しいと感じる理由【複数回答】 n=1,058



1日のうち、就職活動に割いている時間は平均で、「就活準備」に0.8時間（前月比0.2pt減）、「就職活動」に1.0時間（前月比0.3pt減）となった。現時点で就職活動に不安が「ある」学生は28.1%で、前月より19.9pt減少し、3割を切った。不安に思う要因では、「就職した後、きちんと務まるかどうか（39.3%、前月比13.6pt増）」や「現在の内々定先企業に入社してよいのか（33.1%、前月比9.5pt増）」が、前月から大きく増加した。最も力を入れている就職活動の内容は「活動終了または注力していることはない（65.8%、前月比30.0pt増）」が前月より大きく増加して最も高い割合だった。

1日に費やしている時間の平均 ※グラフ上太数字は、2項目の和

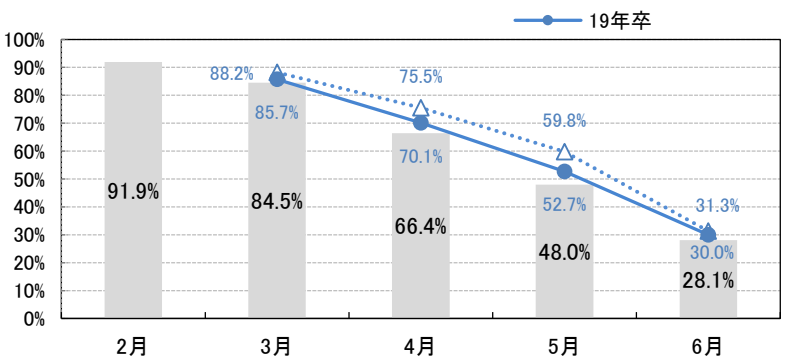


【就職活動準備】
業界研究やインターンシップ・自己分析、選考に関係しない説明会等。移動時間は含まない。

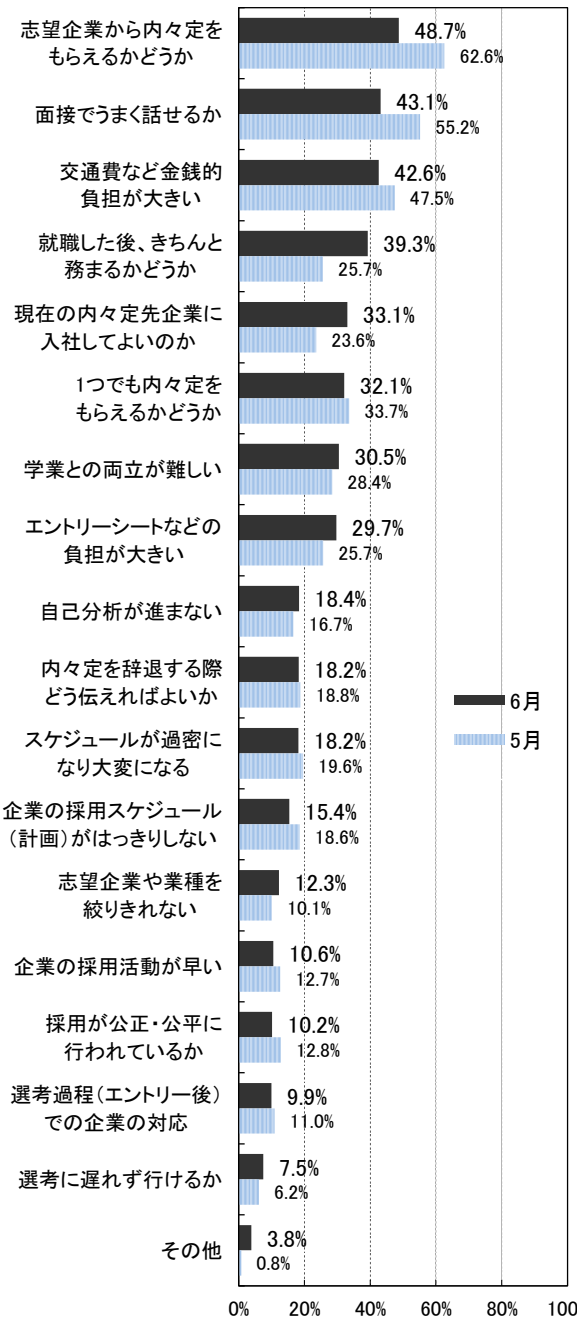
【就職活動】
エントリー、参加必須の説明会参加、エントリーシート記入、選考参加等。移動時間は含まない。

【単位：時間】

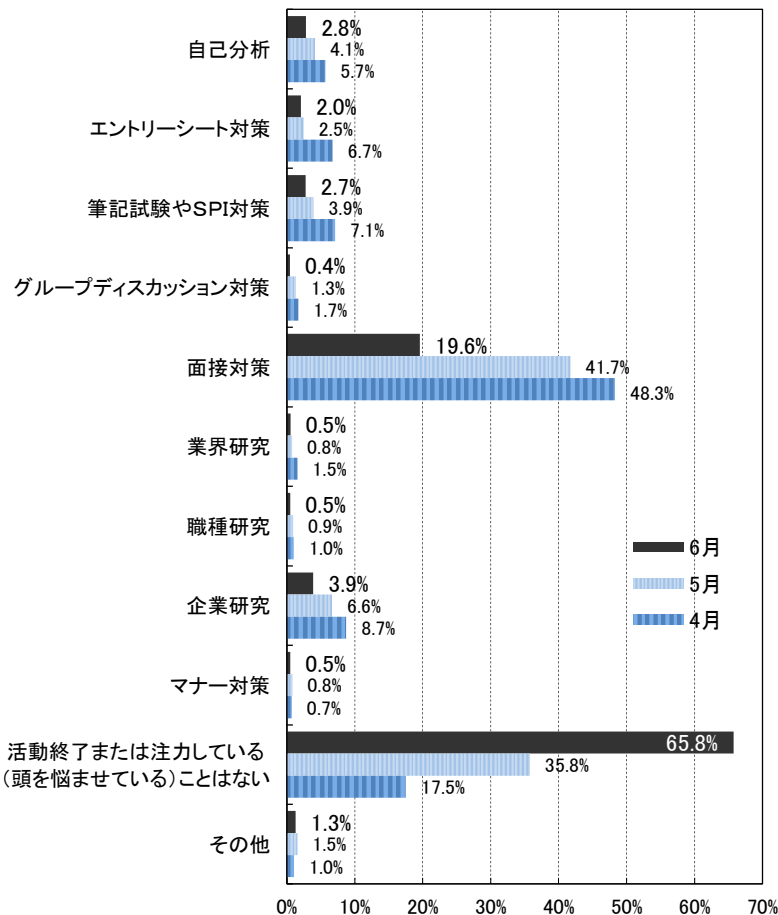
現時点で就職活動に不安がある学生の割合



就職活動で不安に思う要因【複数回答】n=555



この時期最も注力している(頭を悩ませている)就職活動の内容



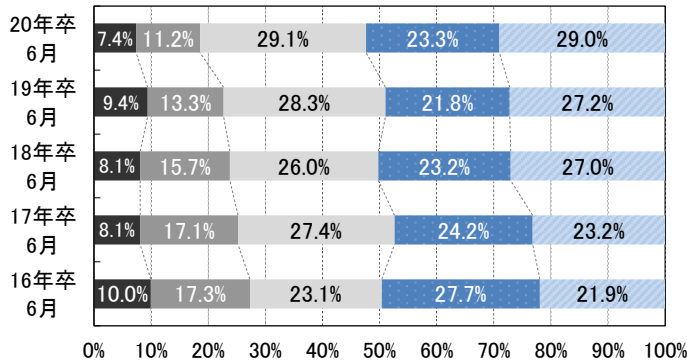
■5:企業選択のポイント

現在の活動の中心については「大手企業中心（29.0%、前月比0.8pt増）」はほぼ変わらず、「中小企業中心（7.4%、前月比1.2pt減）」はわずかに減少した。企業を選ぶときに特に注目するポイントは「自分が成長できる環境がある（38.5%）」が前月同様1位だったが、2位は前月3位の「福利厚生制度が充実している（37.5%）」で、前月2位の「社員の間関係が良い（34.4%）」と入れ替わった。他の項目については概ね大きな変化がなかった。

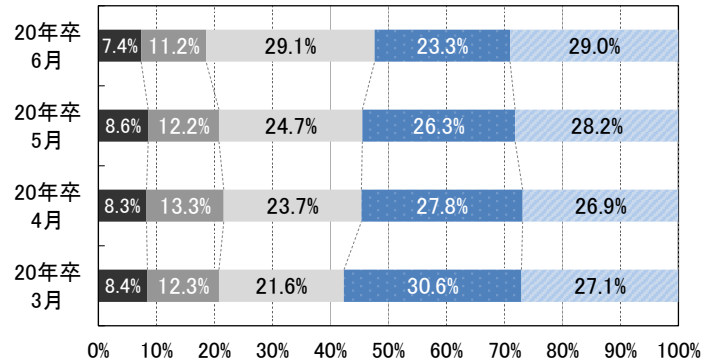
現在の活動の中心は

■ 中小企業中心 ■ どちらかといえば中小企業中心 ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば大手企業中心 ■ 大手企業中心

中小企業中心 ← 5段階 → 大手企業中心

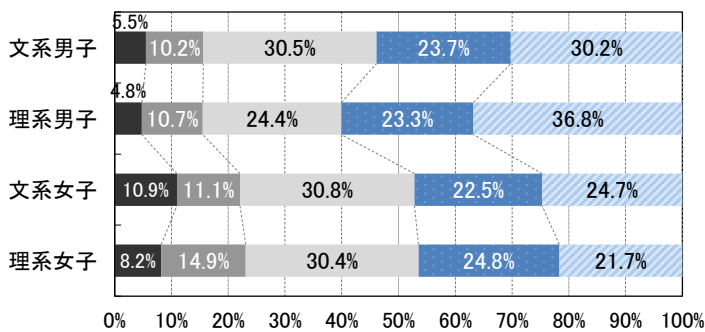


中小企業中心 ← 5段階 → 大手企業中心



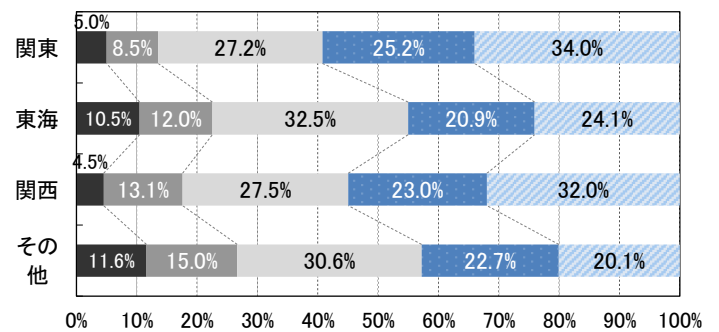
《文理男女別》

中小企業中心 ← 5段階 → 大手企業中心



《エリア別》

中小企業中心 ← 5段階 → 大手企業中心



企業を選ぶときに、あなたが特に注目するポイント

	順位	前月順位	ベスト3まで選択					最も注目するポイント		
			全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子	順位	全体	
			2,092	384	606	530	572		2,092	前月順位
自分が成長できる環境がある	1	1	38.5%	40.4%	39.8%	35.1%	40.2%	1	19.4%	1
福利厚生制度が充実している	2	3	37.5%	37.0%	33.3%	40.0%	41.1%	3	10.7%	3
社員の間関係が良い	3	2	34.4%	31.5%	24.8%	43.2%	38.3%	2	12.6%	2
給与や賞与が高い	4	4	29.2%	36.5%	37.5%	17.2%	24.7%	8	6.5%	8
希望する勤務地で働ける	5	5	23.6%	18.8%	20.1%	29.6%	27.4%	4	8.0%	5
企業経営が安定している	6	6	22.1%	22.7%	21.0%	23.2%	19.9%	5	7.3%	6
社会貢献度が高い	7	7	19.5%	21.4%	21.3%	17.4%	16.4%	6	7.1%	4
経営理念・企業理念に共感できる	8	8	15.9%	17.7%	10.7%	18.5%	15.2%	7	6.7%	7
企業の成長性が見込める	9	9	15.0%	16.9%	20.5%	10.6%	10.7%	9	4.7%	9
業界上位である	10	10	11.4%	12.2%	15.8%	8.9%	6.8%	10	3.2%	10
社員が親身に対応してくれる	11	11	9.5%	7.6%	7.3%	13.8%	8.0%	11	2.7%	12
技術力がある	12	12	8.4%	3.1%	21.5%	1.7%	12.9%	12	2.5%	11
仕事を任せてもらえる	13	13	7.4%	9.6%	8.1%	5.5%	5.6%	14	1.5%	14
国際的な仕事ができる	14	14	7.4%	9.1%	5.4%	8.7%	3.7%	13	2.3%	13
平均勤続年数が長い	15	15	6.1%	7.6%	4.6%	5.5%	6.6%	16	1.2%	16
女性が活躍している	16	16	5.3%	0.0%	1.0%	11.5%	11.4%	17	0.8%	17
職種別採用がある	17	17	3.4%	2.6%	2.6%	4.0%	5.2%	15	1.5%	15
商品企画力がある	18	19	2.9%	3.9%	2.1%	2.1%	3.7%	19	0.6%	18
社員の話の説得力があった	19	18	2.6%	1.6%	2.6%	3.8%	2.1%	18	0.7%	19

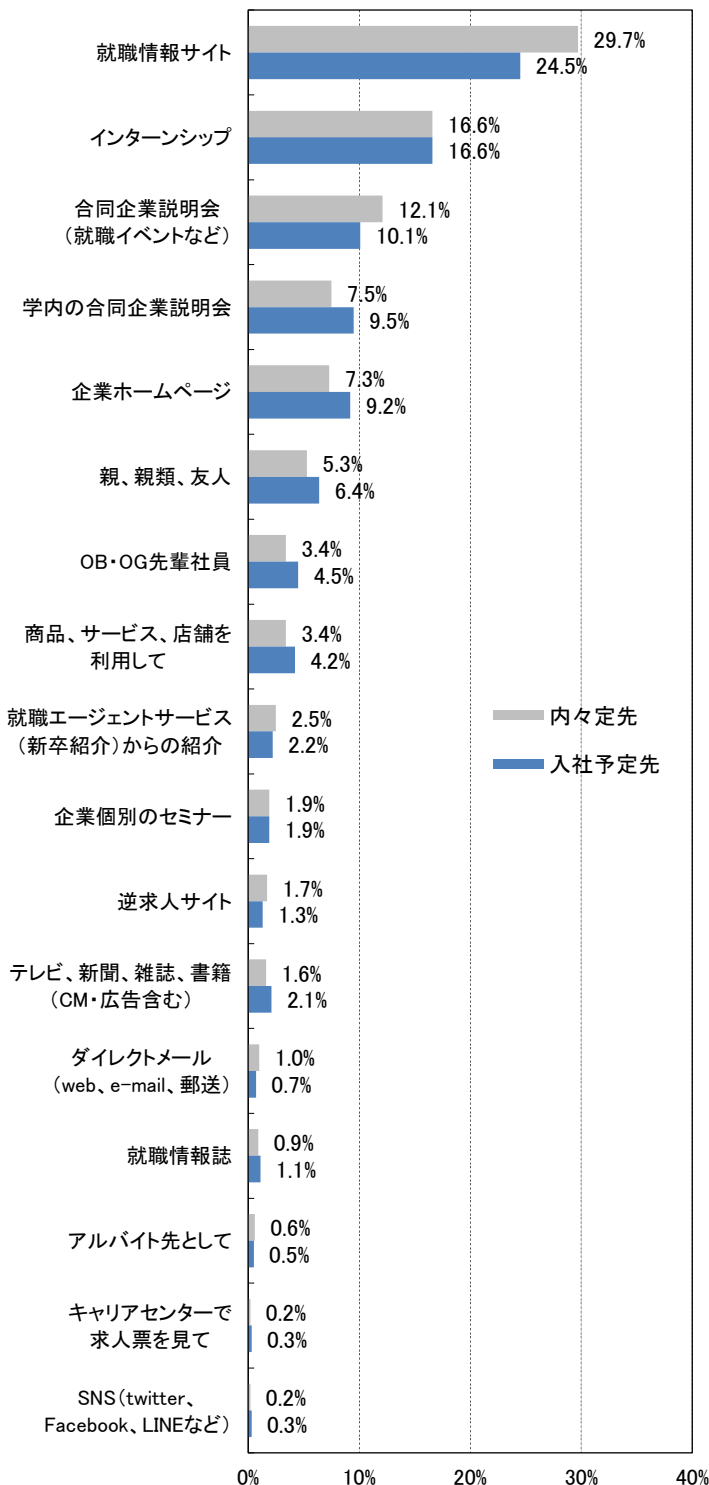
■6: 内々定保有者の活動状況

内々定を獲得した企業をひとり最大4社まで回答してもらい「社数」ベースで再集計したところ、企業の主な発見ツールでは「就職情報サイト（29.7%）」が最も割合が高く、「インターンシップ（16.6%）」「合同企業説明会（12.1%）」が、それに続いた。入社予定先企業が初回接触前は第何志望だったかでは、「第一志望（34.7%、前年比1.0pt増）」はほぼ前年並みだったが、「第二志望（24.9%、前年比5.1pt増）」が前年より増加し、「それ以外（31.7%、前年比5.8pt減）」は減少した。その企業に入社したいと最初に強く思ったタイミングでは、最も割合の高い「1次面接～最終前面接受験時（22.5%、前年比3.7pt増）」とそれに次ぐ「インターンシップ（20.1%、前年比2.6pt増）」の割合がそれぞれ前年より増加した。

★がついている項目は、モニター学生が内々定を獲得した企業について1人当たり最大4社回答をした結果を、【社数】をベースに再集計した。

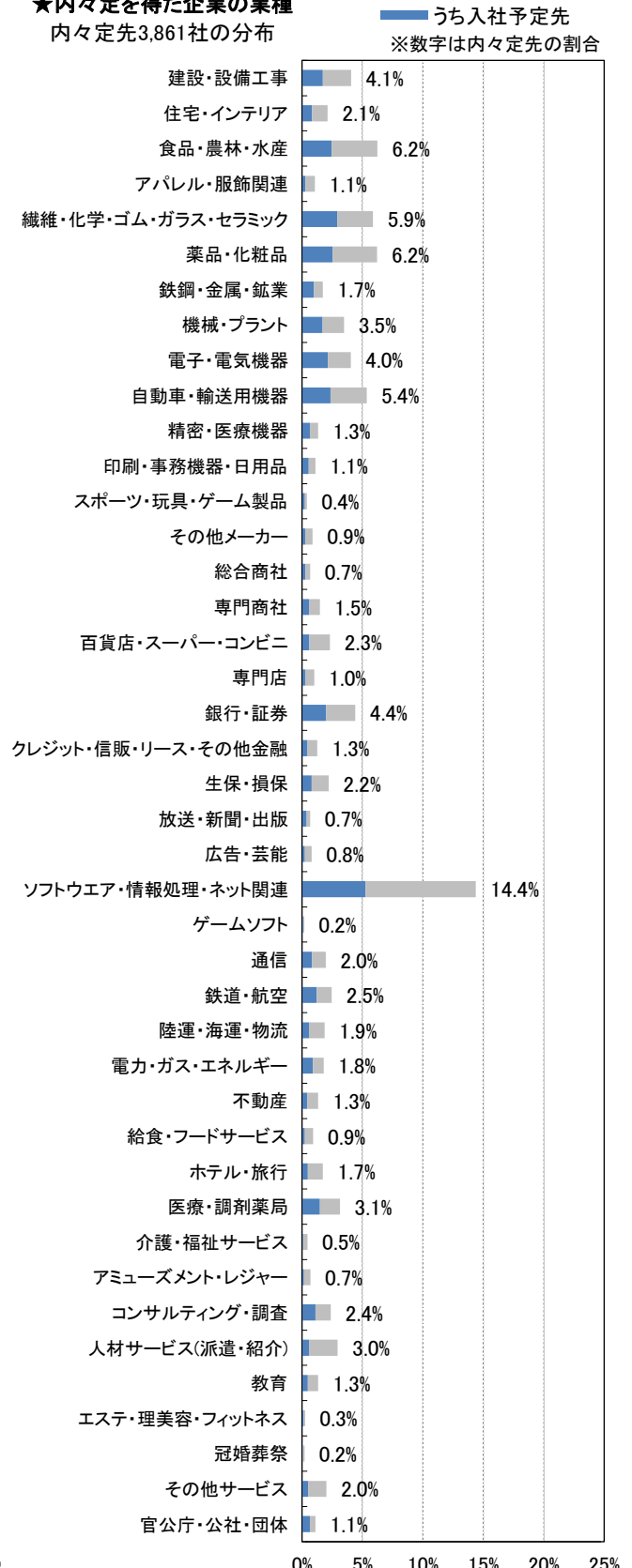
★企業の主な発見ツール

内々定先3,861社、入社予定先1,567社の分布

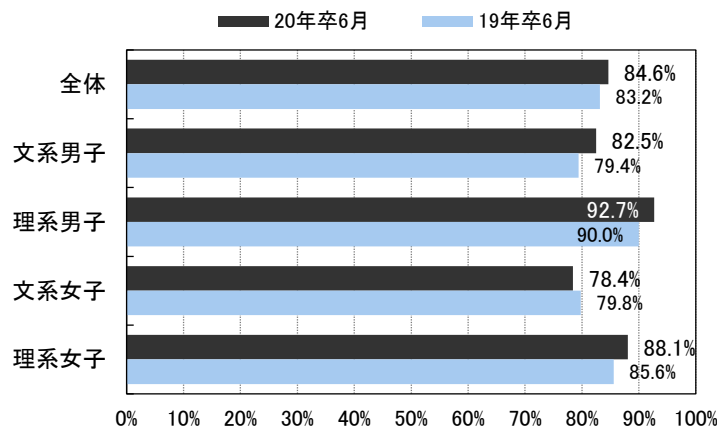


★内々定を得た企業の業種

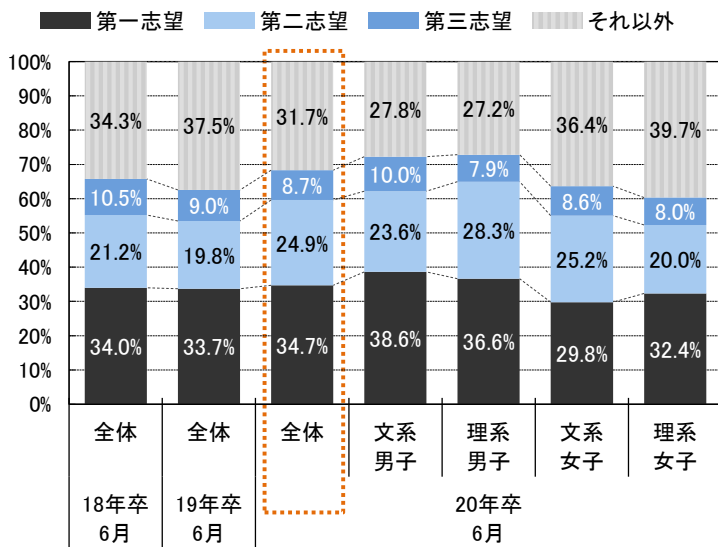
内々定先3,861社の分布



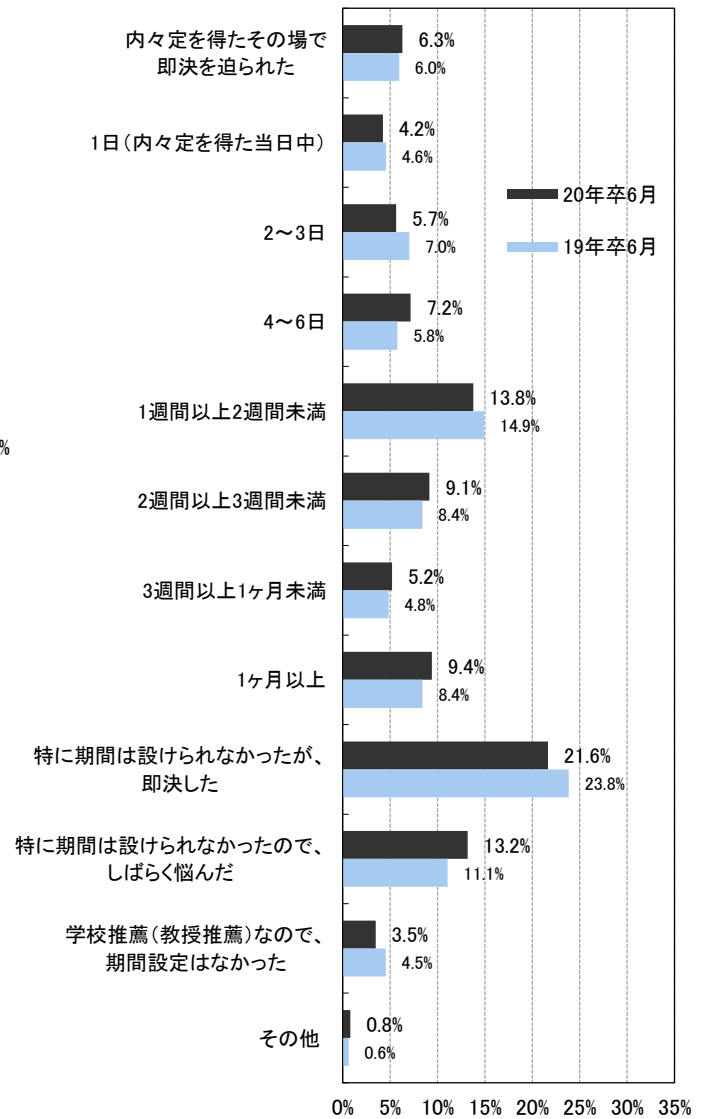
現段階で内々定獲得企業の中から
入社予定先を決めている割合 (n=1,819)



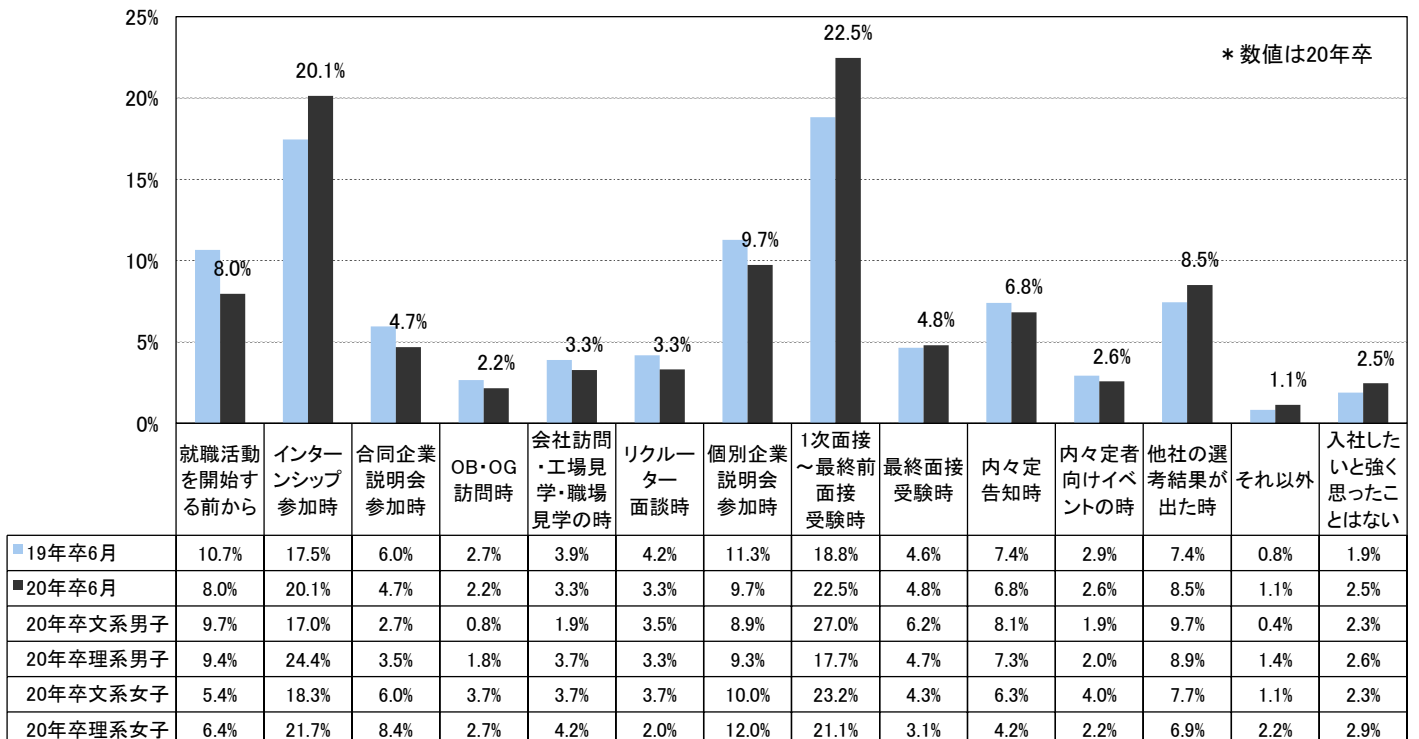
入社予定先企業は、初めてその企業と接触する
前の時点では第何志望だったか (n=1,567)



内々定獲得後、入社意思を固めるまでにもらった時間 (n=1,567)



その企業に入社したいと最初に強く思ったタイミング (n=1,567)



「入社予定先企業を選択したポイント」は「自分が成長できる環境がある（36.3%）」「福利厚生制度が充実している（33.0%）」「社員の人間関係が良い（28.4%）」がトップ3で、「企業を選ぶとき注目するポイント」と同じだった。6月までに学生が得た内々定の「内々定を得た時期」を前年、前々年と比較したところ、「3月以前（15.5%、前年比3.2pt増）」「4月（26.6%、前年比4.5pt増）」の割合が2年連続で増加しており、年々前倒しになっている。「入社予定先の内々定を得た時期」は、経団連の指針の選考開始のタイミングである6月上旬に3割前後が集中していたが（18年卒：34.2%、19年卒：29.1%）、今年（24.3%）はその傾向がやや薄まった。インターンシップに参加した企業からの内々定に絞ると「3月以前（28.5%）」と「4月（32.3%）」に6割強が集中していた。内々定先のインターンシップに参加した時期は多い順に2月（13.0%）8月（7.4%）1月（7.3%）だった。内々定先のインターンシップに2回以上参加した場合の初回参加月は8月（3.5%）が最も高い割合だった。

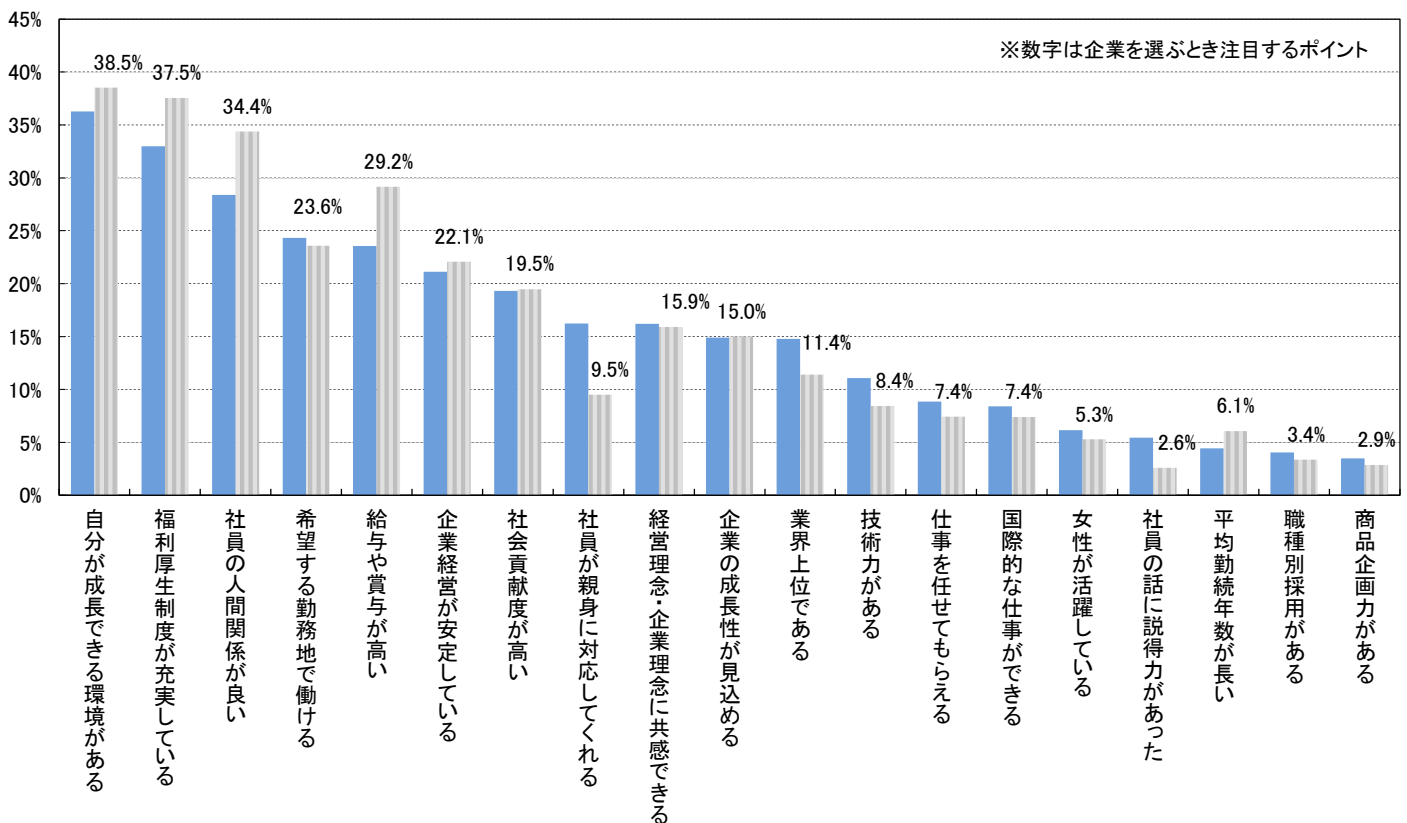
入社予定先企業を選択したポイント

（企業を選ぶとき注目するポイントの順位と比較）

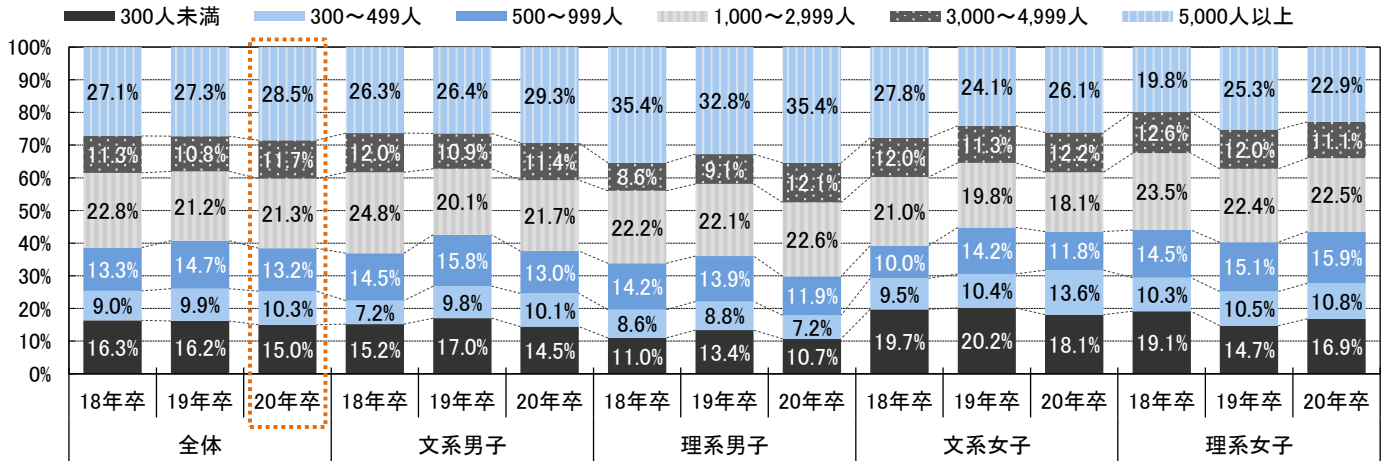
	順位	企業を選ぶとき	ベスト3まで選択					最も重視したポイント		
			全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子	順位	全体	企業を選ぶとき
			1,567	259	508	349	451	1,567		
自分が成長できる環境がある	1	1	36.3%	36.7%	38.0%	34.4%	35.7%	1	15.2%	1
福利厚生制度が充実している	2	2	33.0%	30.5%	28.5%	37.5%	38.1%	3	8.6%	3
社員の人間関係が良い	3	3	28.4%	25.5%	24.2%	34.1%	31.5%	2	11.1%	2
希望する勤務地で働ける	4	5	24.3%	20.1%	21.9%	29.2%	28.4%	4	8.1%	4
給与や賞与が高い	5	4	23.6%	26.3%	31.5%	15.8%	17.5%	8	6.3%	8
企業経営が安定している	6	6	21.1%	22.0%	21.7%	20.3%	19.7%	5	7.6%	5
社会貢献度が高い	7	7	19.3%	21.6%	21.1%	17.2%	15.3%	7	6.6%	6
社員が親身に対応してくれる	8	11	16.2%	16.2%	12.4%	20.9%	14.4%	9	5.6%	11
経営理念・企業理念に共感できる	9	8	16.2%	20.8%	10.6%	18.3%	13.5%	6	7.3%	7
企業の成長性が見込める	10	9	14.9%	16.6%	18.5%	10.3%	13.3%	10	4.4%	9
業界上位である	11	10	14.8%	15.4%	18.3%	11.5%	12.9%	11	4.3%	10
技術力がある	12	12	11.1%	4.2%	25.0%	1.4%	16.9%	12	3.6%	12
仕事を任せてもらえる	13	13	8.8%	13.5%	8.1%	6.3%	5.8%	14	2.1%	14
国際的な仕事ができる	14	14	8.4%	11.2%	6.9%	9.5%	3.3%	13	3.2%	13
女性が活躍している	15	16	6.2%	0.0%	0.8%	14.6%	12.9%	16	1.2%	17
社員の話の説得力があった	16	19	5.4%	6.2%	3.3%	7.2%	4.7%	15	1.8%	18
平均勤続年数が長い	17	15	4.4%	4.6%	3.9%	4.3%	5.3%	19	0.9%	16
職種別採用がある	18	17	4.0%	3.9%	3.1%	3.4%	7.5%	18	1.1%	15
商品企画力がある	19	18	3.5%	4.6%	2.2%	3.7%	3.3%	17	1.1%	19

入社予定先企業を選択したポイントと企業を選ぶとき注目するポイント(6月)

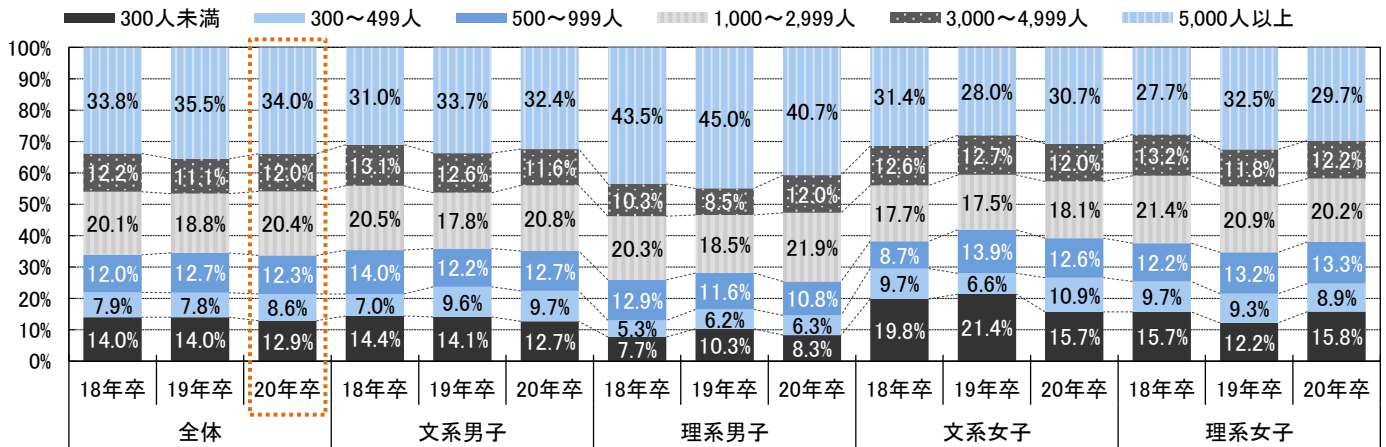
■ 入社予定先選択ポイント ■■■ 企業を選ぶとき注目するポイント



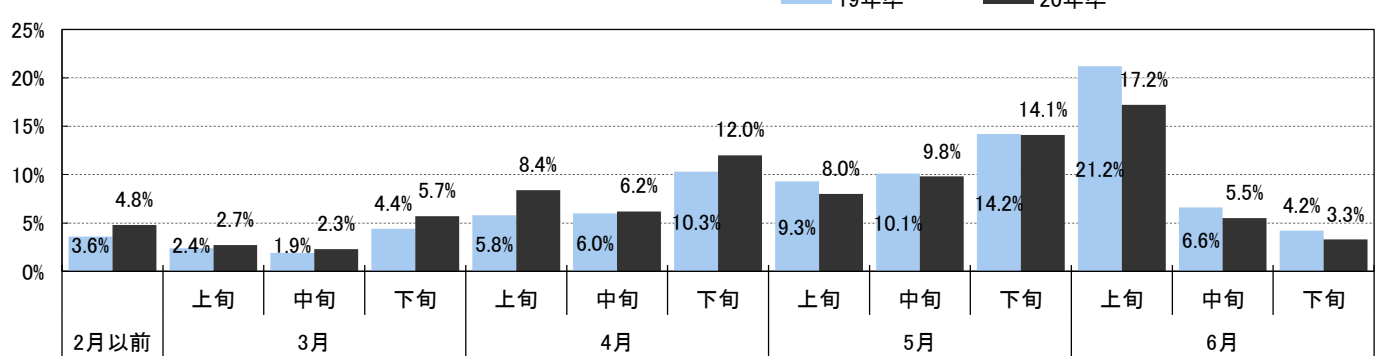
★内々定を得た企業の規模 (内々定先3,861社の分布) *各卒年の6月調査



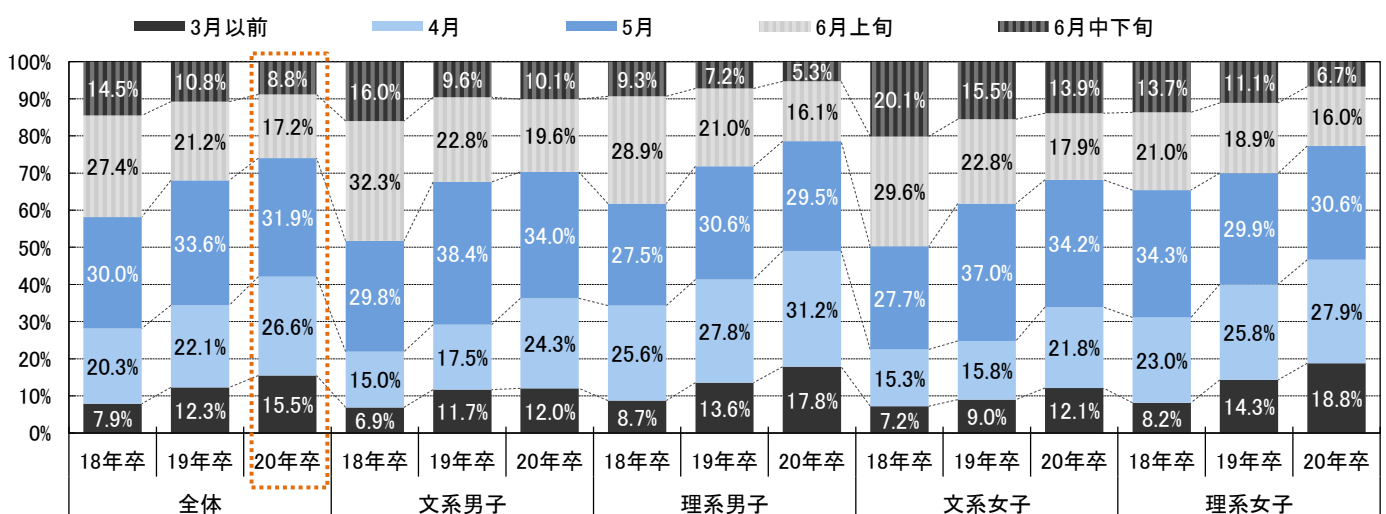
★入社予定先企業の規模 (入社予定先1,567社の分布) *各卒年の6月調査



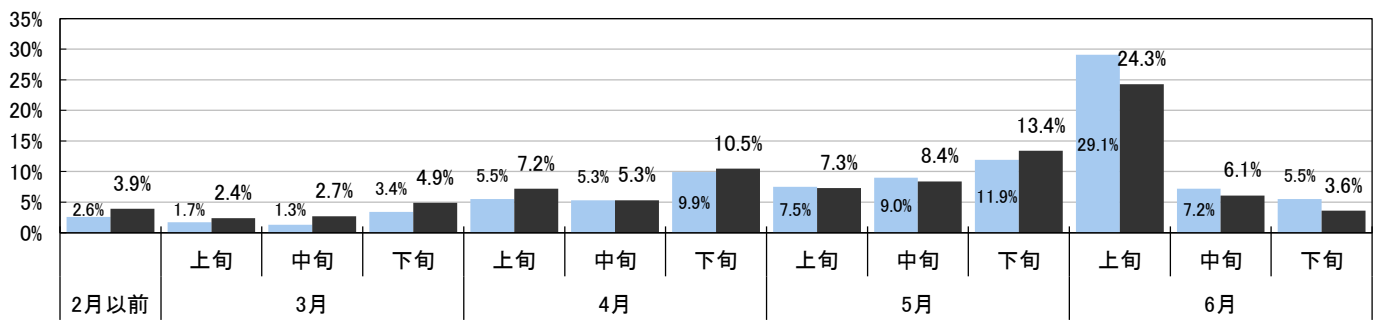
★内々定を得た時期 内々定先3,861社の分布



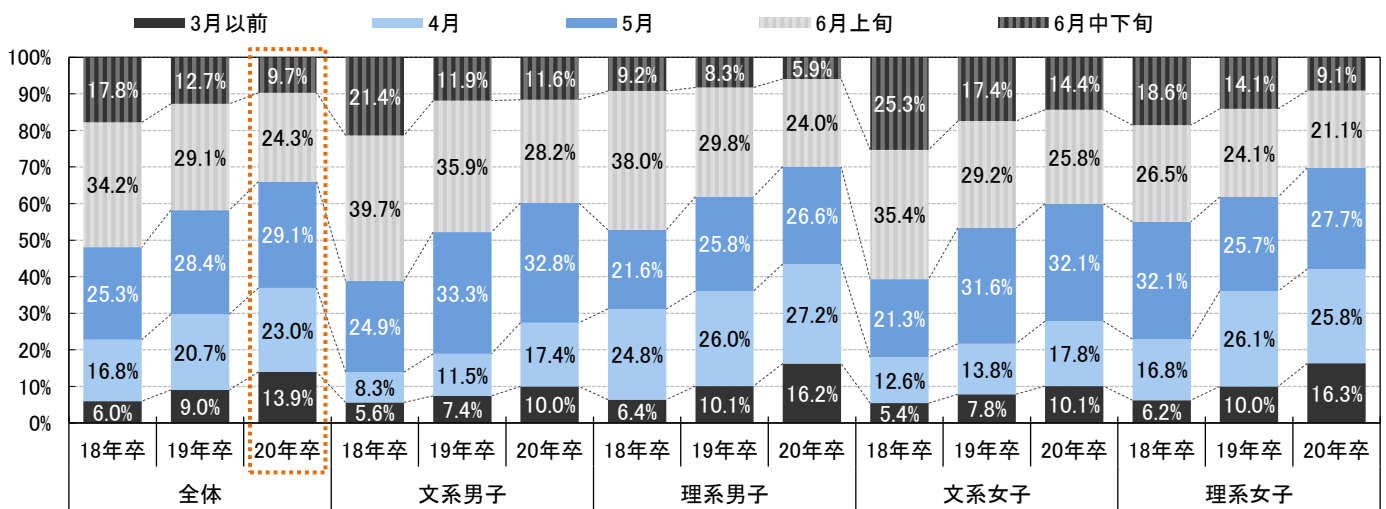
★内々定を得た時期・文理男女経年比較 内々定先3,861社の分布



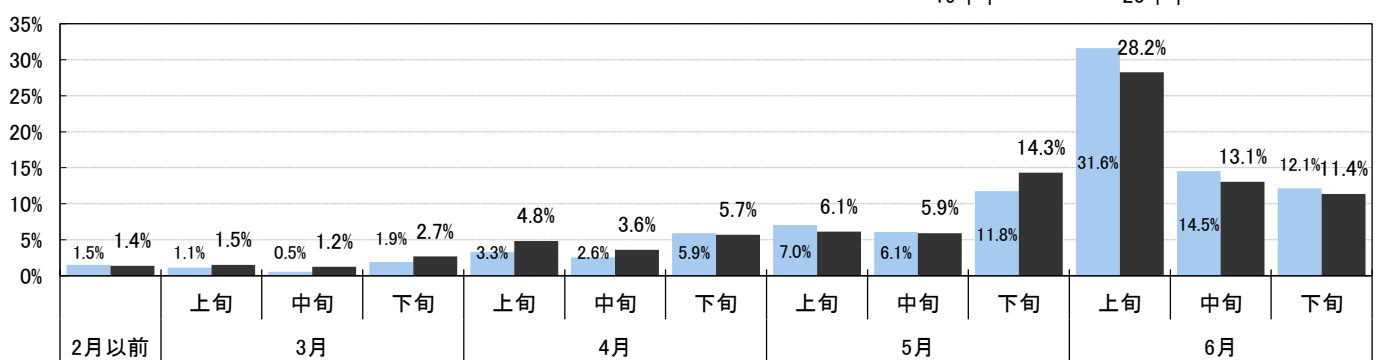
★入社予定先の企業から内々定を得た時期 入社予定先1,567社の分布



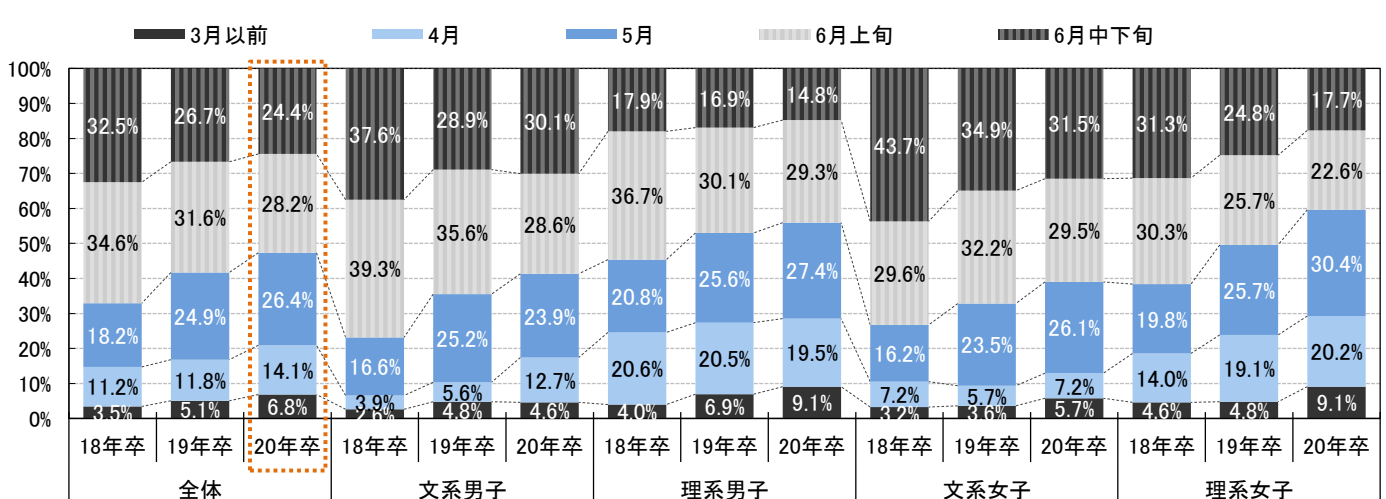
★入社予定先の企業から内々定を得た時期・文理男女経年比較 入社予定先1,567社の分布



内々定獲得後、入社を固めた時期 入社予定先1,567社の分布

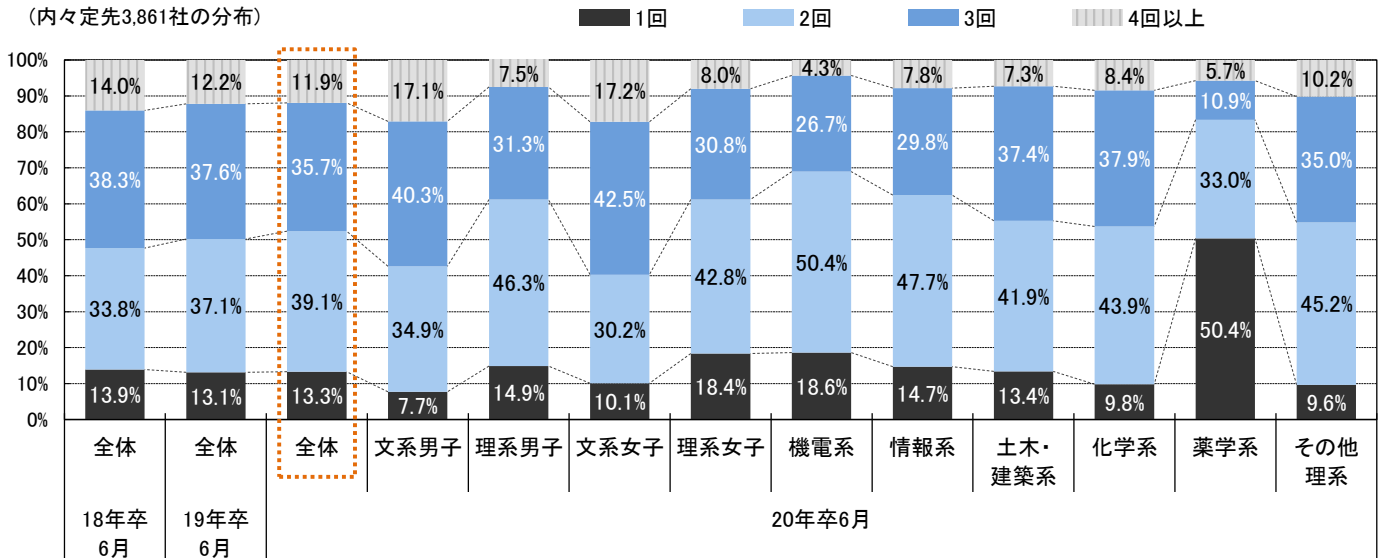


内々定獲得後、入社を固めた時期・文理男女経年比較 入社予定先1,567社の分布



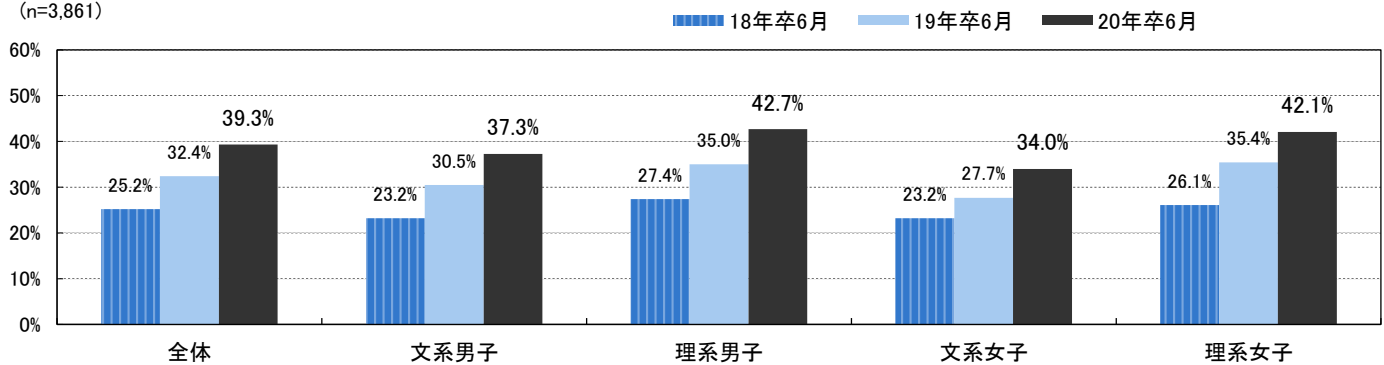
★1次面接～内々定までの選考回数

(内々定先3,861社の分布)



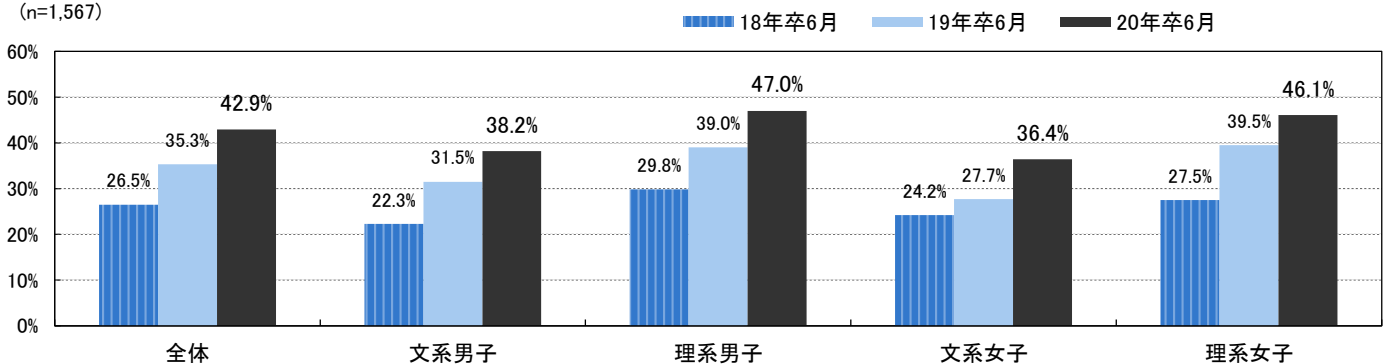
★内々定先のインターンシップに参加した割合

(n=3,861)



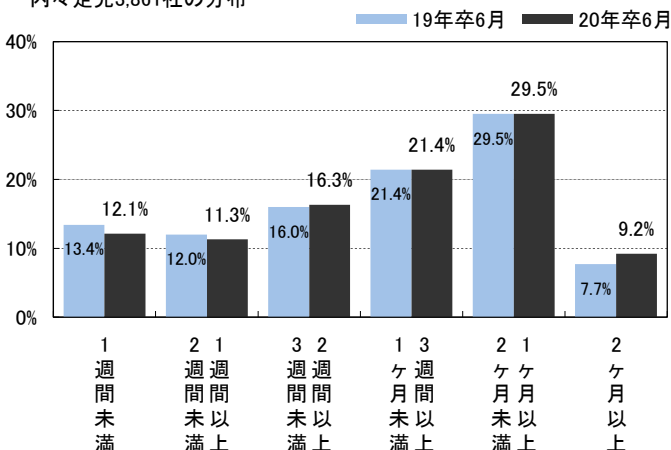
★入社予定先のインターンシップに参加した割合

(n=1,567)



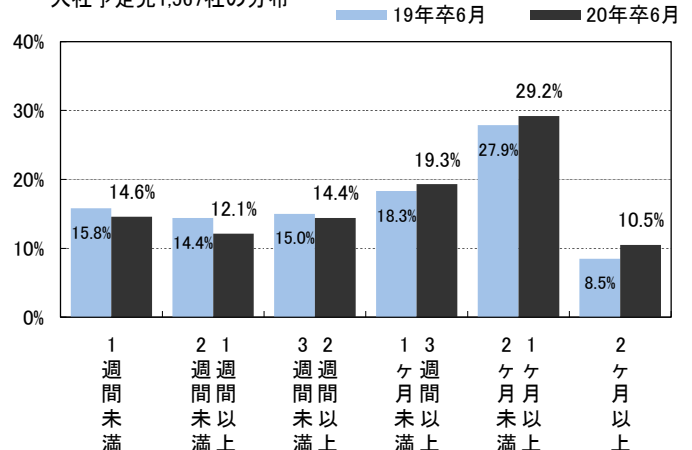
★内々定先の1次面接を受けてから 内々定をもらうまでの期間

内々定先3,861社の分布



★入社予定先の1次面接を受けてから 内々定をもらうまでの期間

入社予定先1,567社の分布



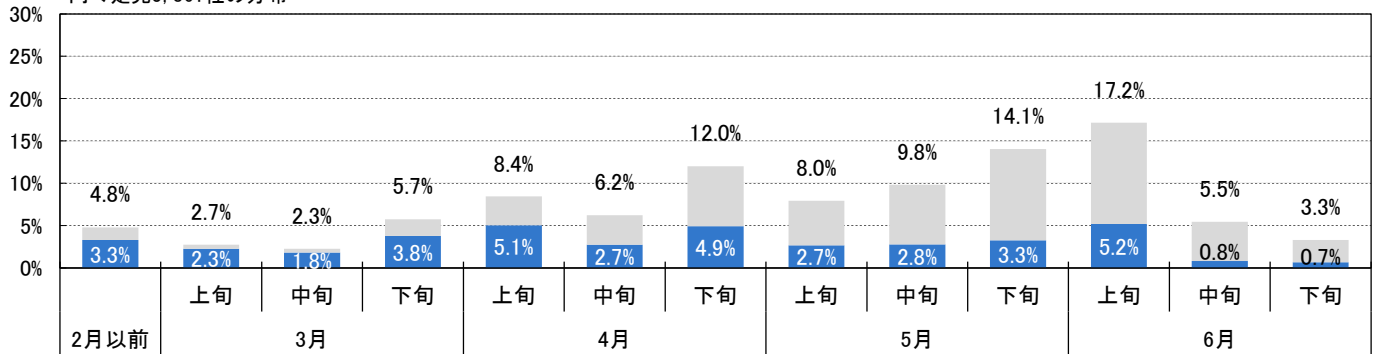
※グラフ上の黒数字 = その時期に得た内々定の数/すべての内々定数

※青グラフ上の白数字 = インターンシップに参加した企業からその時期に得た内々定の数/すべての内々定数

★内々定を得た時期別・その企業のインターンシップに参加していた割合

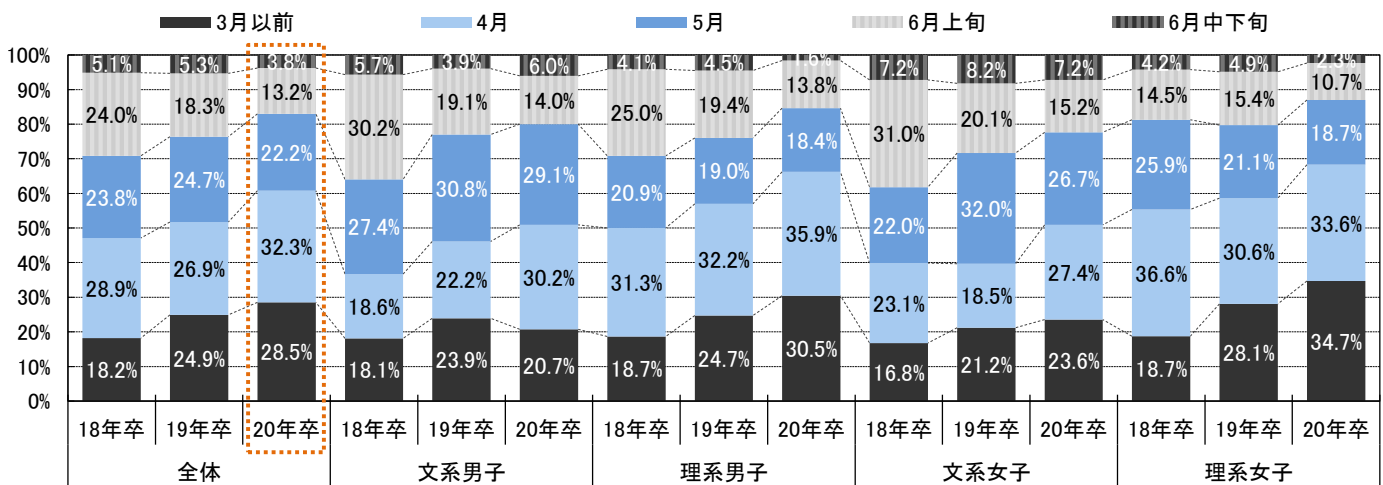
参加 不参加

内々定先3,861社の分布



★インターンシップに参加した企業から内々定を得た時期・文理男女経年比較

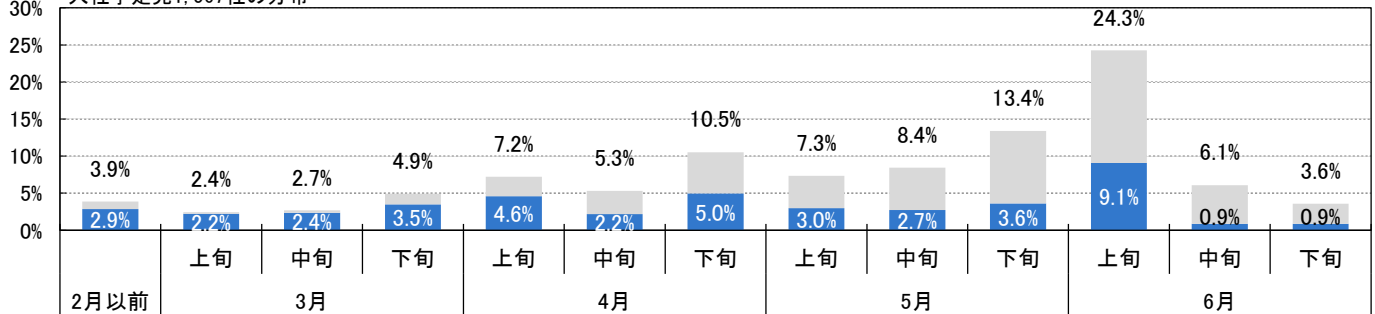
インターンシップ参加の内々定先1,519社の分布



★入社予定先の内々定を得た時期別・その企業のインターンシップに参加していた割合

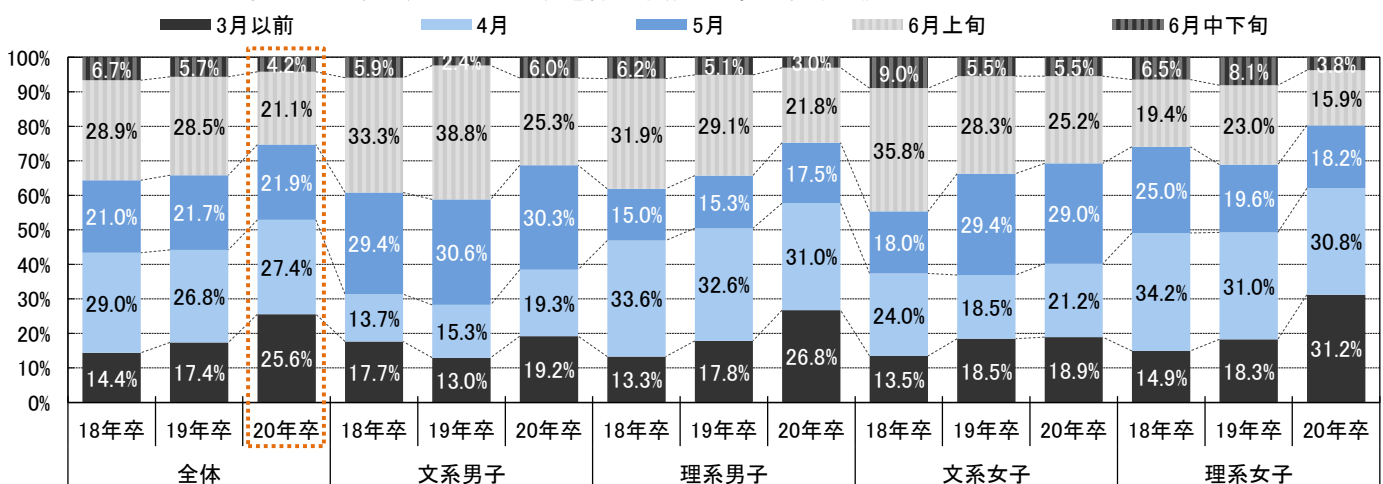
参加 不参加

入社予定先1,567社の分布



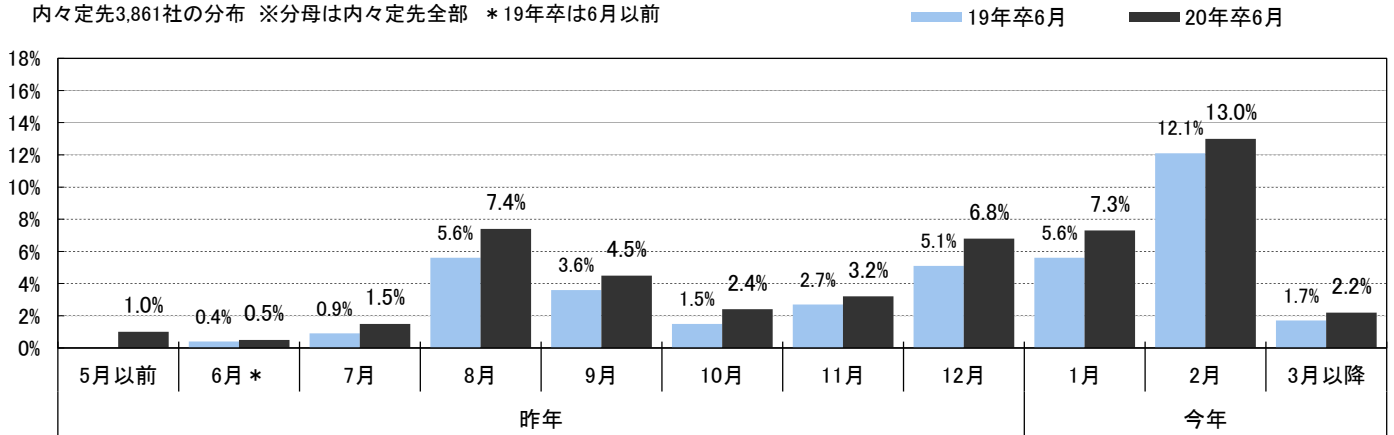
★インターンシップ参加した入社予定先から内々定を得た時期・文理男女経年比較

インターンシップ参加の入社予定先673社の分布



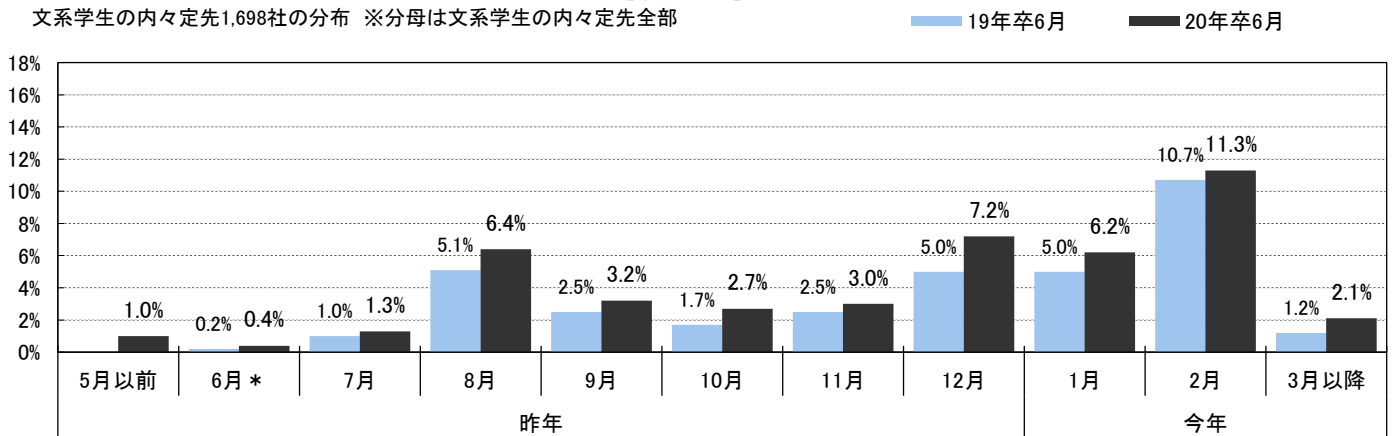
★内々定先のインターンシップに参加した時期【複数回答】

内々定先3,861社の分布 ※分母は内々定先全部 *19年卒は6月以前



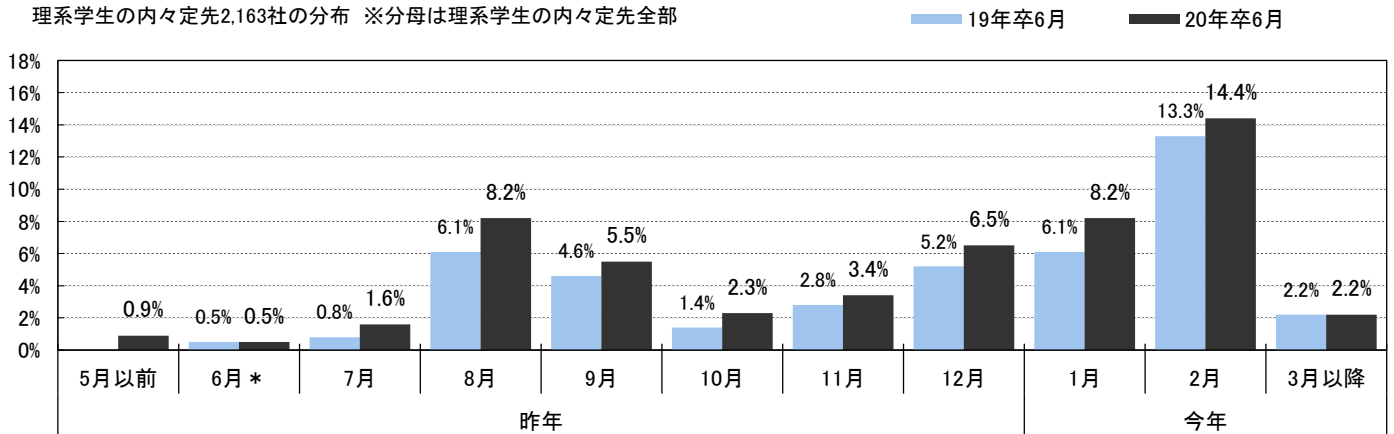
★文系学生が内々定先のインターンシップに参加した時期【複数回答】

文系学生の内々定先1,698社の分布 ※分母は文系学生の内々定先全部



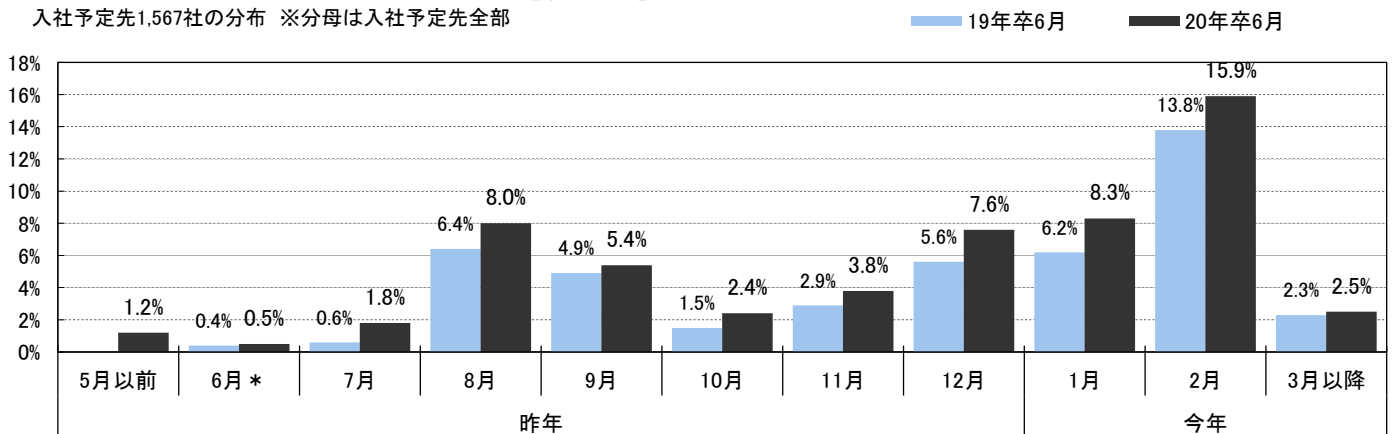
★理系学生が内々定先のインターンシップに参加した時期【複数回答】

理系学生の内々定先2,163社の分布 ※分母は理系学生の内々定先全部

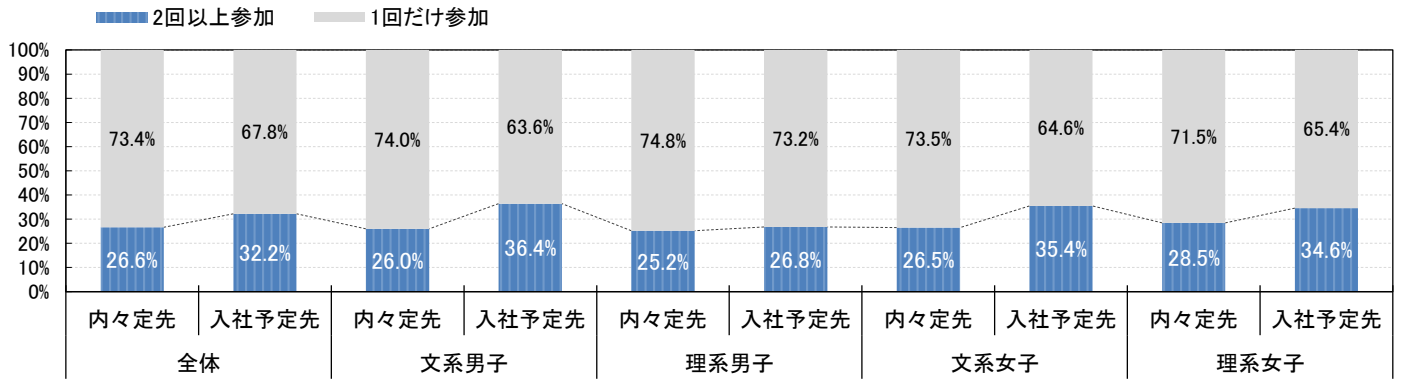


★入社予定先のインターンシップに参加した時期【複数回答】

入社予定先1,567社の分布 ※分母は入社予定先全部

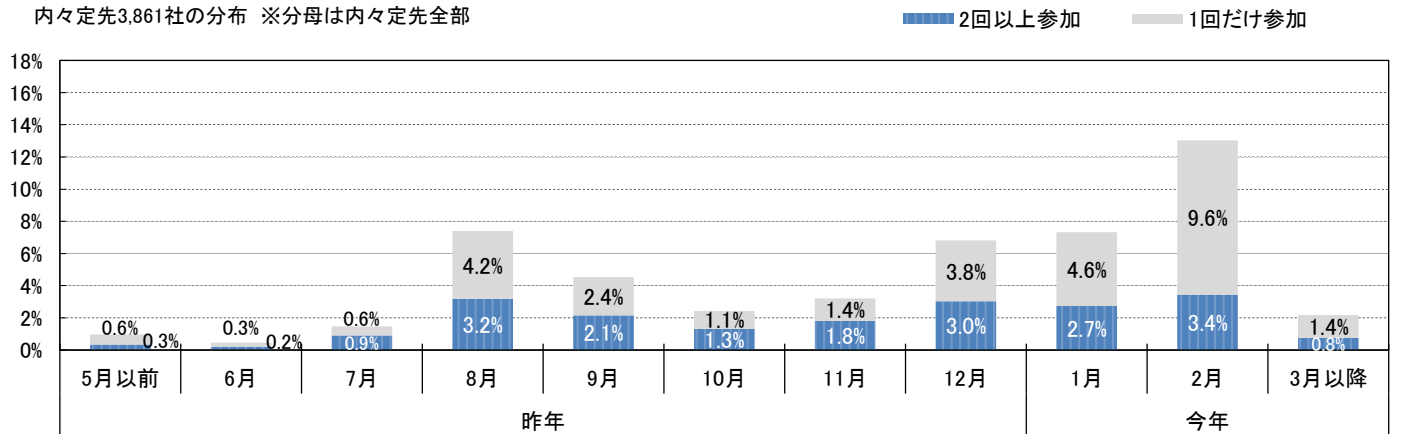


★内々定先の企業のインターンシップに2回以上参加したか 分母はインターンシップに参加した内々定先1,519社、入社予定先673社



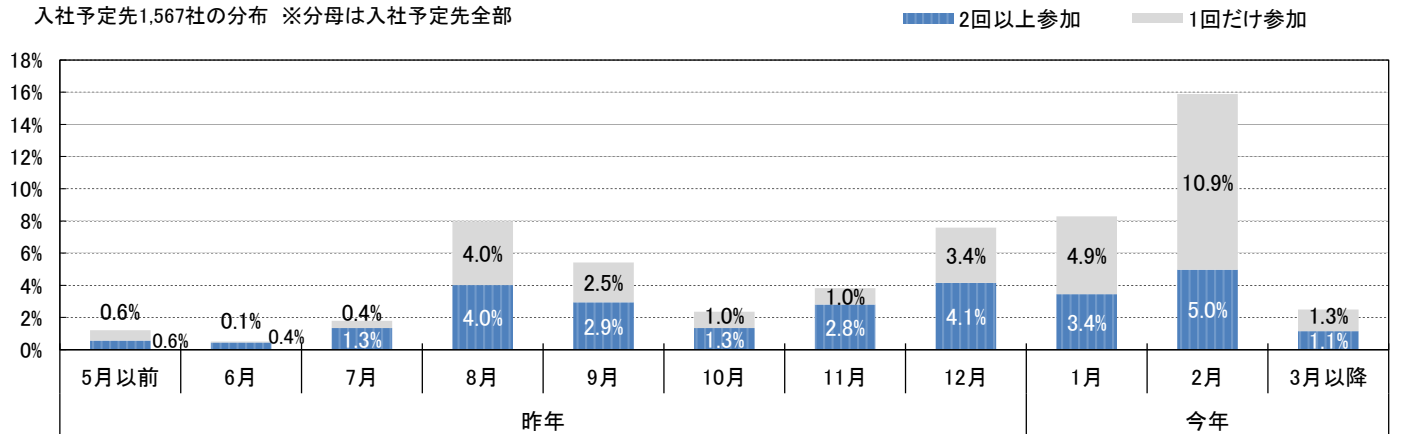
★内々定先の企業のインターンシップに2回以上参加したか×参加した月【複数回答】

内々定先3,861社の分布 ※分母は内々定先全部



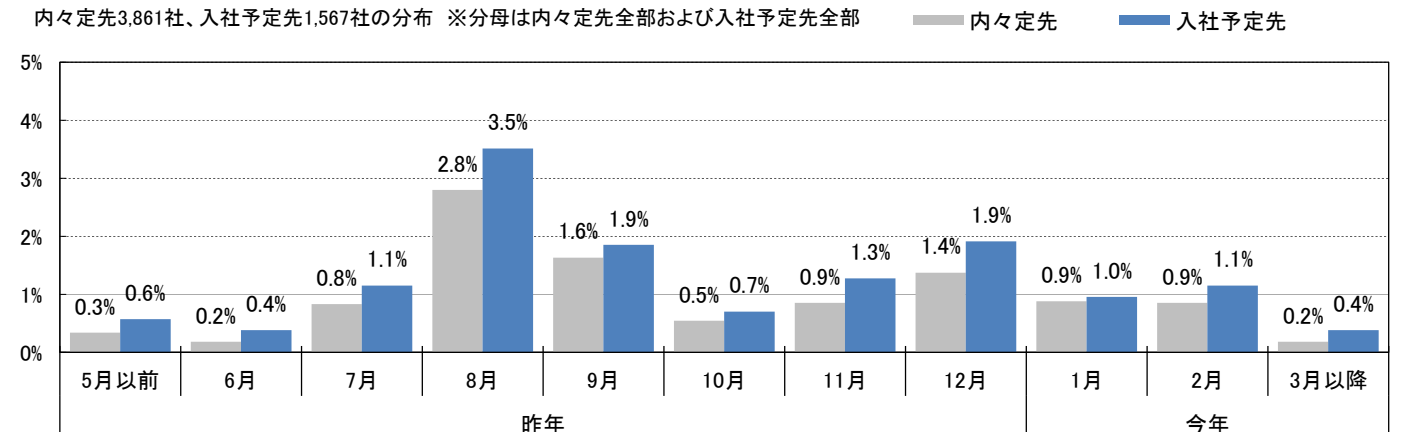
★入社予定先の企業のインターンシップに2回以上参加したか×参加した月【複数回答】

入社予定先1,567社の分布 ※分母は入社予定先全部



★内々定先のインターンシップに2回以上参加した場合の初回参加月の分布

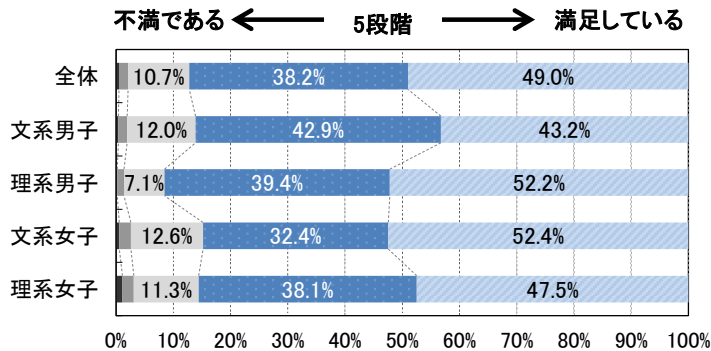
内々定先3,861社、入社予定先1,567社の分布 ※分母は内々定先全部および入社予定先全部



入社予定先の企業が決まっている学生に、入社予定先について様々な面からの評価を聞いた。最も高い評価をつけた割合を見ると、「社員の印象と帰属感」以外の6つの要素で、文系男子の割合が最も低かった。特に「能力を活かせるか」では、理系女子は30.8%が最も高い評価を選択したのに対し、文系男子は12.7%で大きな差が開いた。一方、文系女子は「企業スペックの満足度」「社員の印象と帰属感」「経営者の印象」「将来のキャリア展望」の5つの要素で最も高い評価をつけた割合が最高だった。

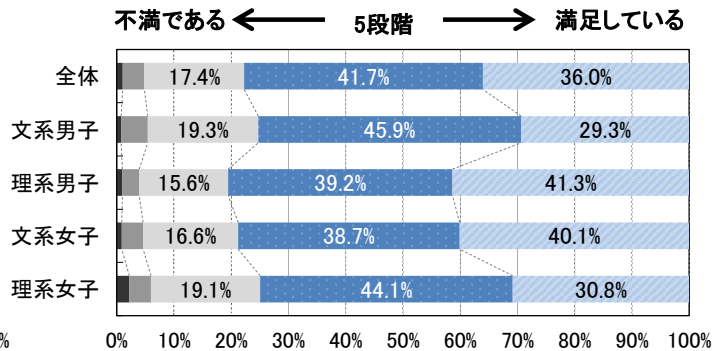
【企業スペックの満足度】

入社予定先の業種や事業内容、業績、ブランド、安定性について



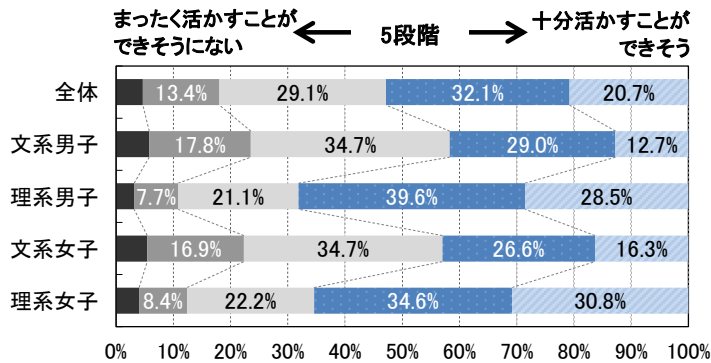
【就業条件、職場環境の満足度】

入社予定先の給与、福利厚生、休日休暇、残業時間について



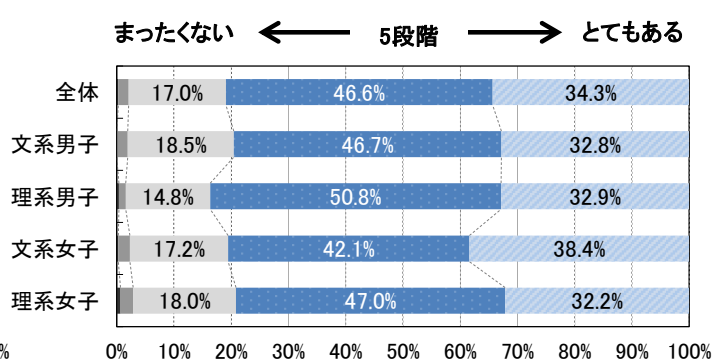
【能力を活かせるか】

入社予定先の企業では、大学や大学院で学んだことや、卒業までに取得する予定の資格、その他今持っている能力を活かせるか



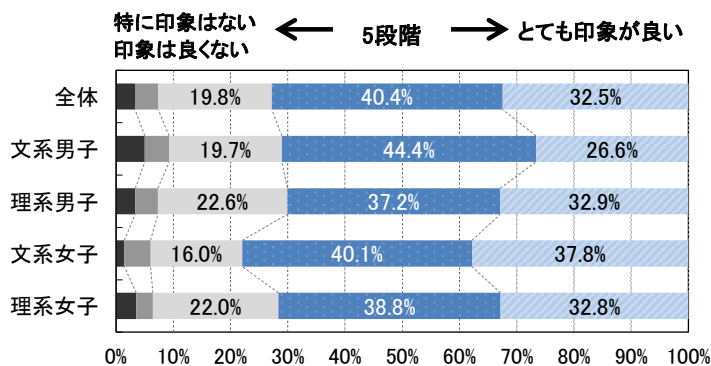
【社員の印象と帰属感】

入社予定先の企業の社員の印象から、その企業が自分に合っているという実感はあるか



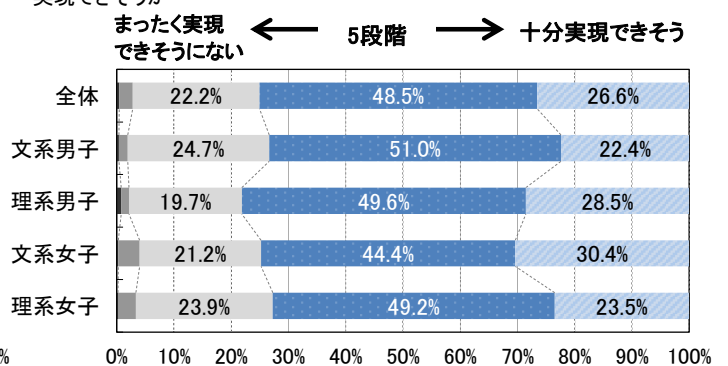
【経営者の印象】

入社予定先の企業の社長、役員、経営者の印象について



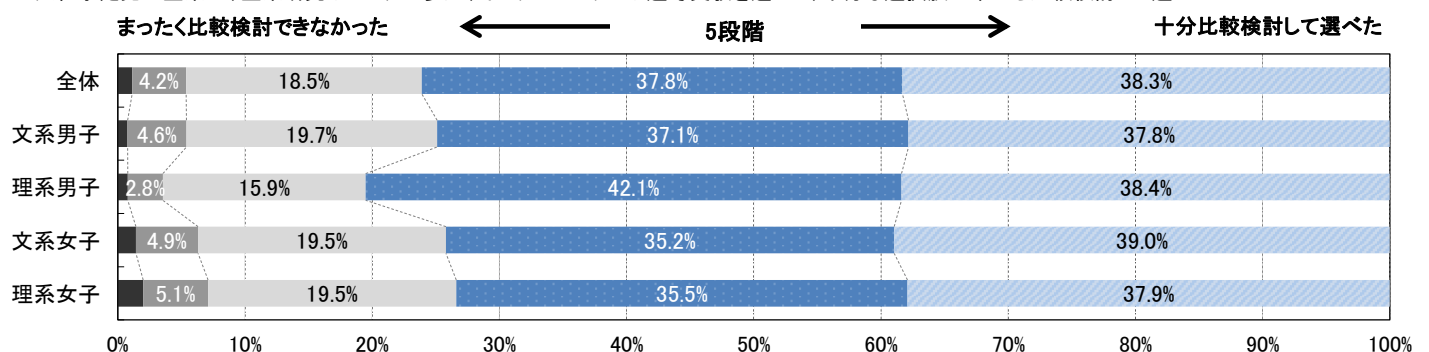
【将来のキャリア展望】

入社予定先の企業で働くことで、理想とする将来のキャリアプランを実現できそうか

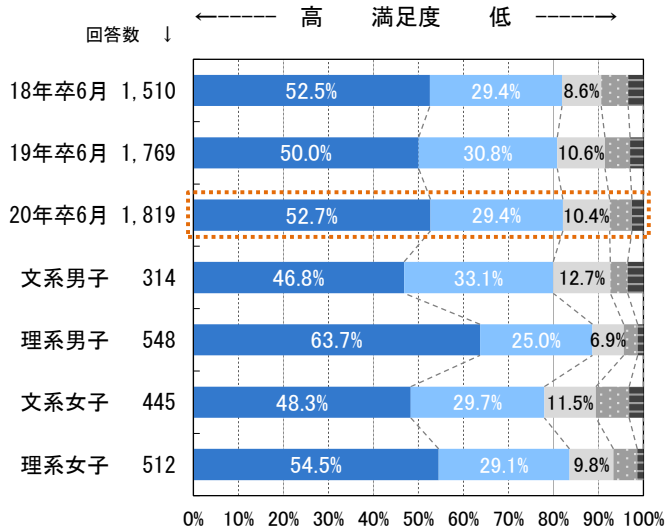


【比較検討】

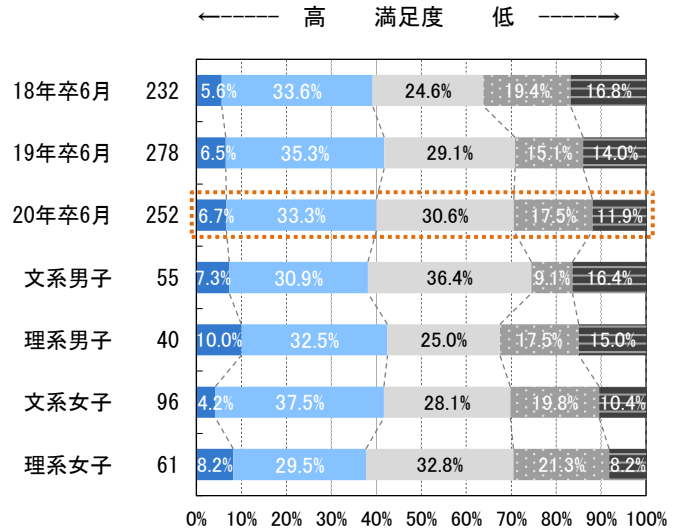
入社予定先の企業は、企業研究やセミナー参加、インターンシップや選考受験を通じて、十分な選択肢の中から比較検討して選べたか



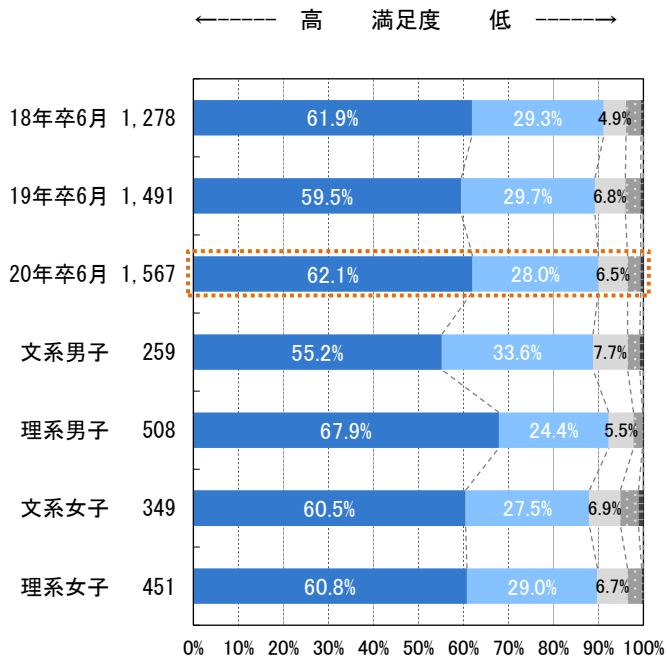
内々定先満足度



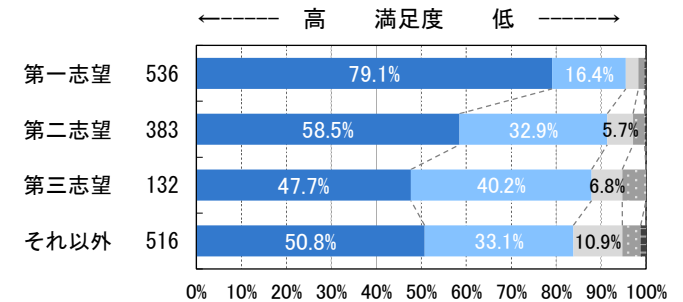
入社予定先未決定者の内々定先満足度



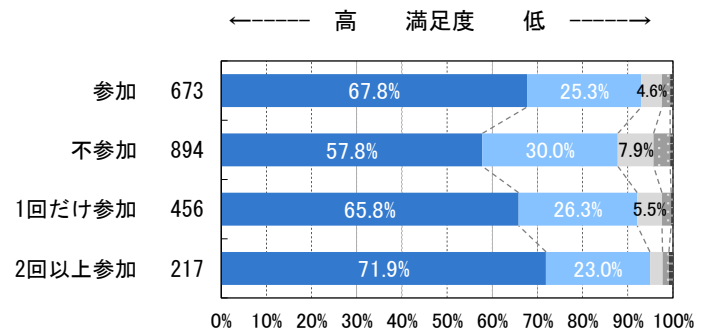
入社予定先が決まっている学生の内々定先満足度



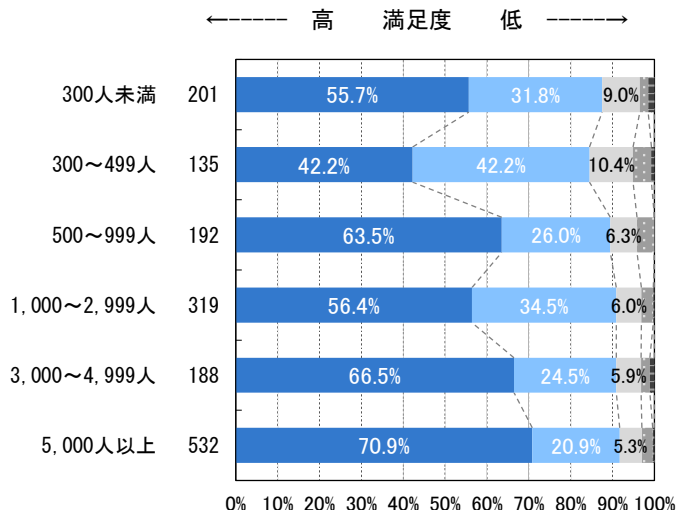
入社予定先当初志望度別満足度



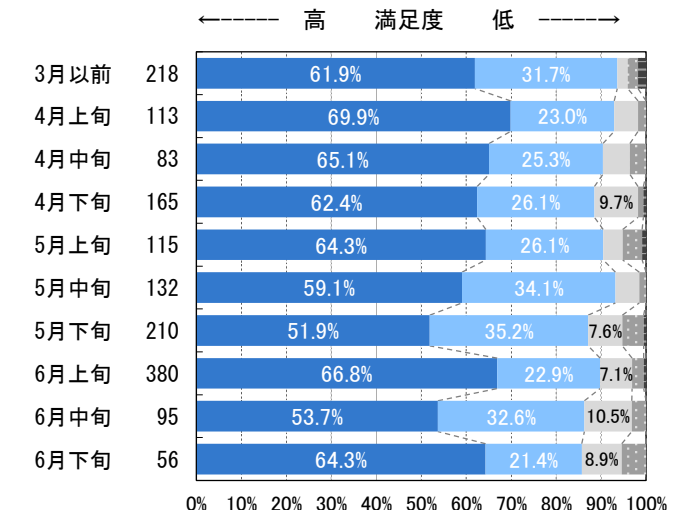
入社予定先のインターンシップ参加不参加参加回数別満足度



入社予定先従業員規模別満足度



入社予定先内々定獲得時期別満足度

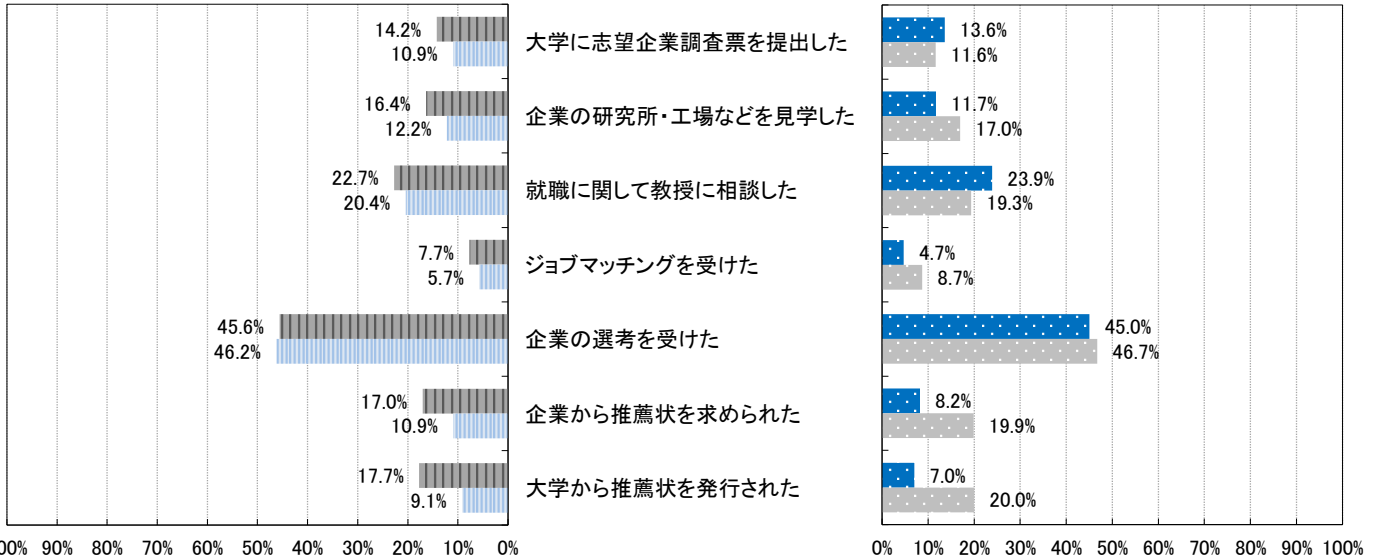


■7:【理系】6月の活動状況

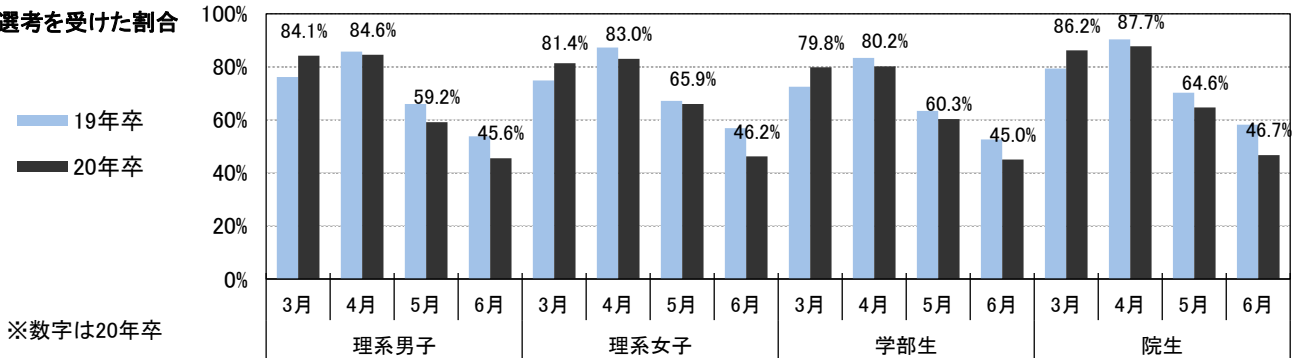
理系学生に対し、これまでに推薦状を提出したか聞いたところ、提出したことがあるのは30.7%で、ほぼ前年並み（前年比0.4pt増）だった。学部生が15.5%であるのに対し、院生は40.9%だった。推薦についての考えでは「第一志望の企業に推薦で応募できるのなら有効だと思う（39.3%）」の割合が最も高かったが、入社予定先企業に応募した方法では「自由応募」が82.6%（前年比2.0pt増）を占めた。選考前に研究室で企業の方と接触したことがある割合は26.6%（前年比0.6pt減）で、接触した機会は「OB・OG訪問（52.4%）」が最も多く、次が「研究室ごとの個別企業説明会（37.7%）」だった。

6月の理系学生の活動状況【複数回答】

＜学部生/院生別＞

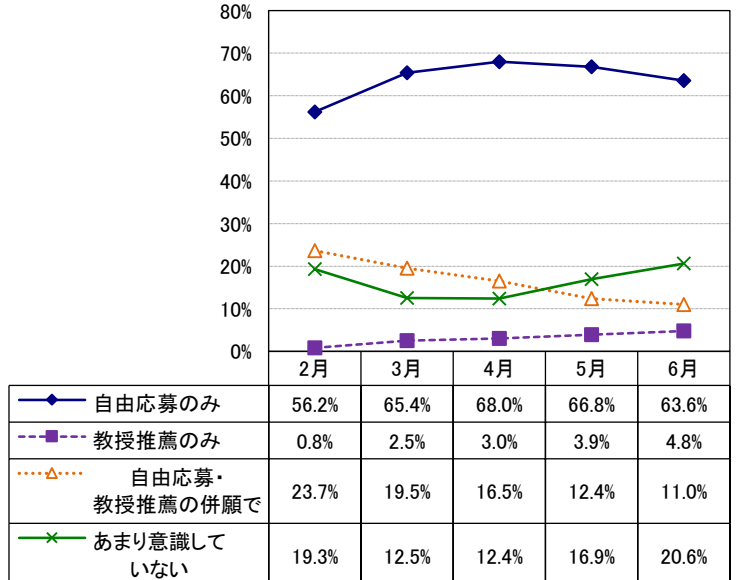
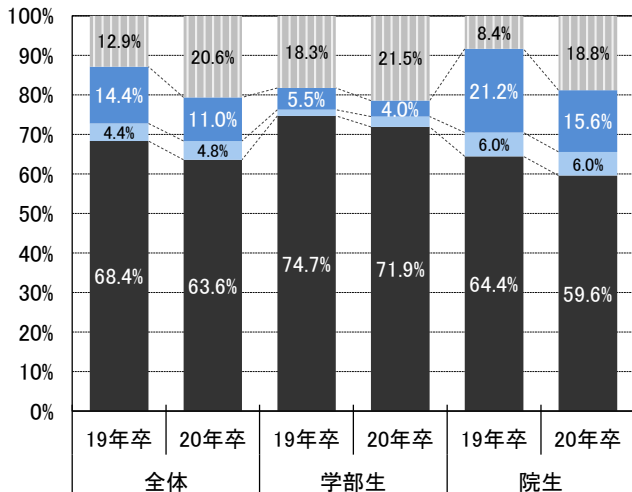


企業の選考を受けた割合



企業への応募方法(6月)

企業への応募方法(2月～)



【推薦について】

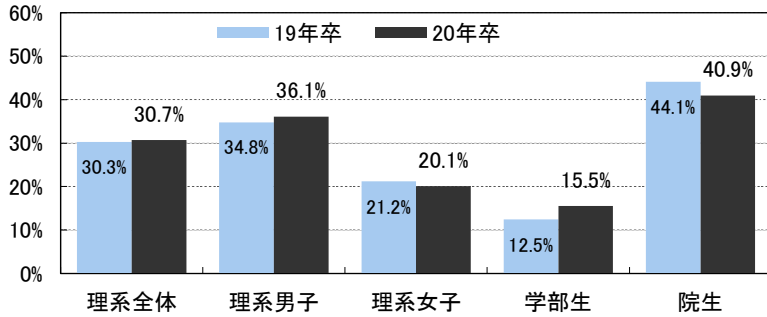
※用語については以下のように補足をして調査した。

「学校推薦」 学部や学科・専攻に対し、企業から提示された推薦枠に応募したもの

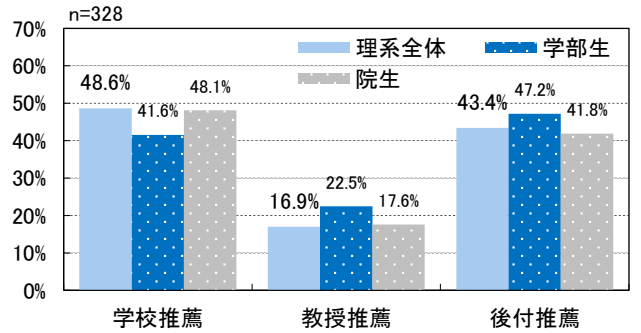
「教授推薦」 学校や学科内の公募ではなく、研究室ごとの推薦枠に応募したもの

「後付推薦」 自由応募で選考に申し込んだが、選考の進捗に伴い推薦状が必要になったもの

これまでに推薦状を提出した経験がある割合

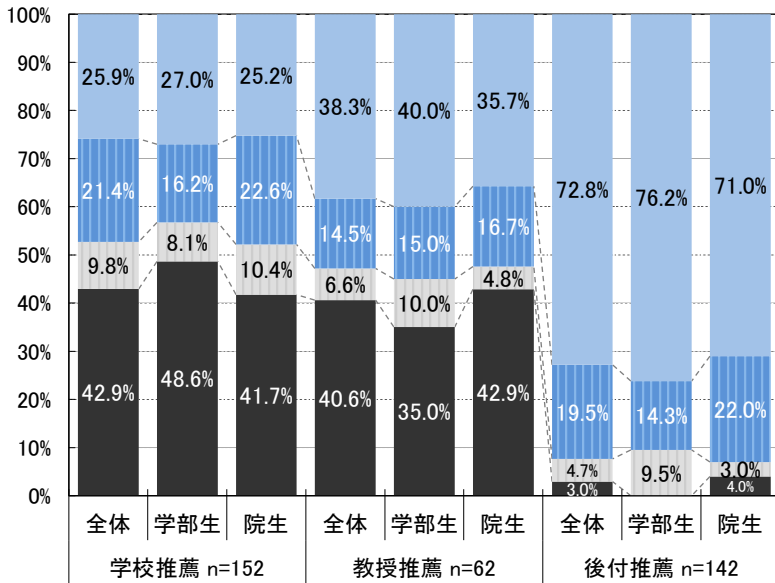


提出した事のある推薦の形式【複数回答】



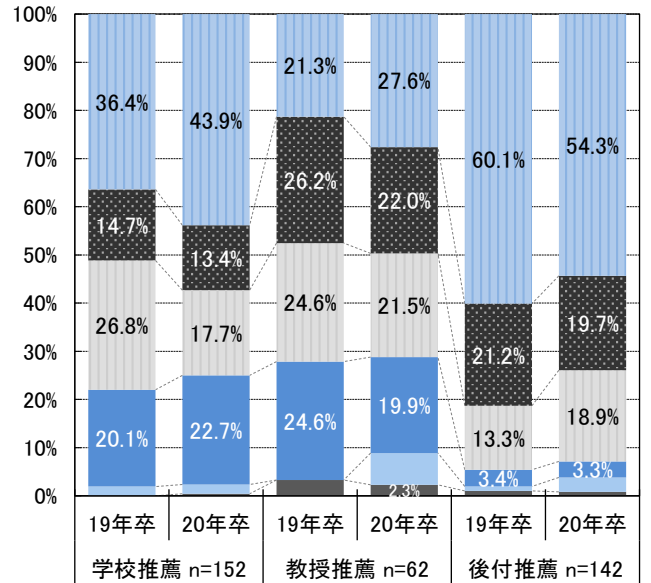
主な提出タイミング

- 応募時
- 初期段階の面接の時
- 最終段階の面接の時
- 内々定後



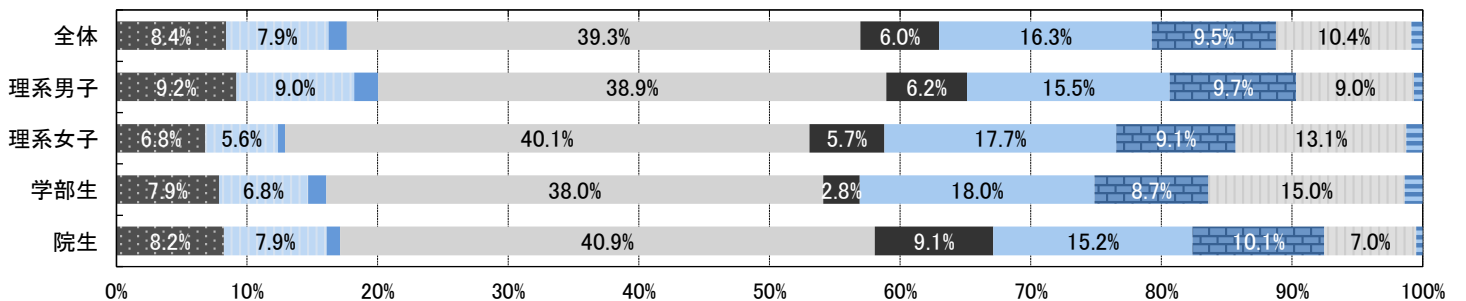
初めて提出した(今後する予定の)時期

- 今年1月以前
- 今年2月頃
- 今年3月頃
- 今年4月頃
- 今年5月頃
- 今年6月以降

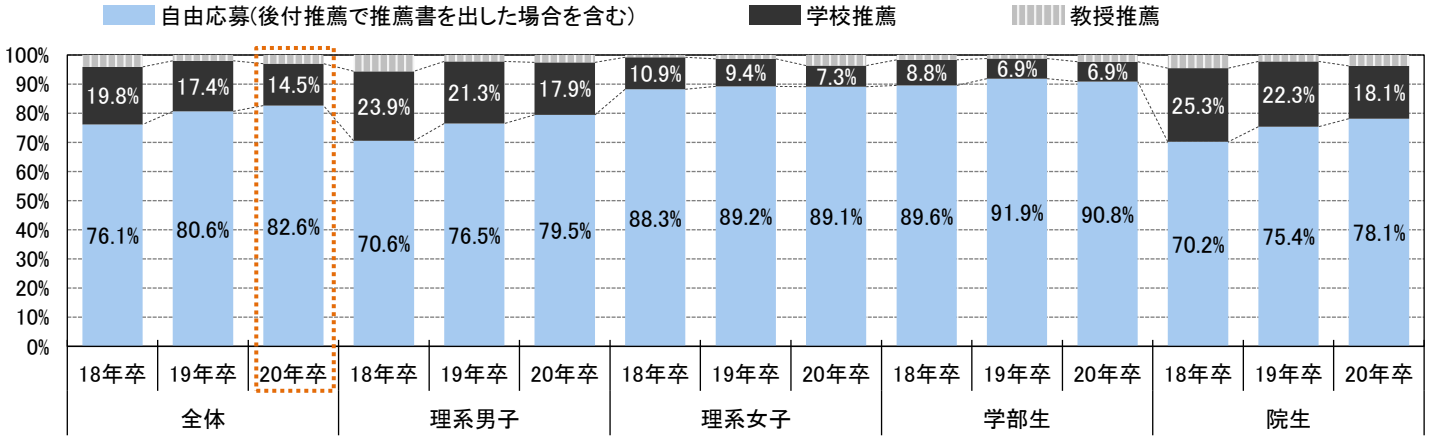


推薦についての考え

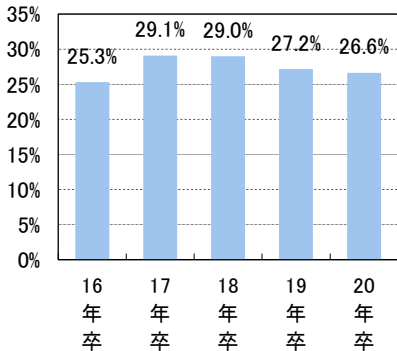
- 自由応募より、内々定に効率的に近づけると思うので積極的に利用したい
- 推薦で応募しても必ず内々定というわけではない、効力の薄い制度
- 学科や専攻を評価してくれると思うので推薦枠のある企業の中から選んで活動したい
- 第一志望の企業に推薦で応募できるのなら有効だと思う
- 推薦を意識したわけではないが企業から求められたので「後付推薦」として提出した
- 自由応募で受験したい(企業を自由に選びたい)ので使いたくない
- 辞退ができないので、学生にはメリットが少ない制度だと思う
- 利用できる推薦制度がないので分からない
- その他



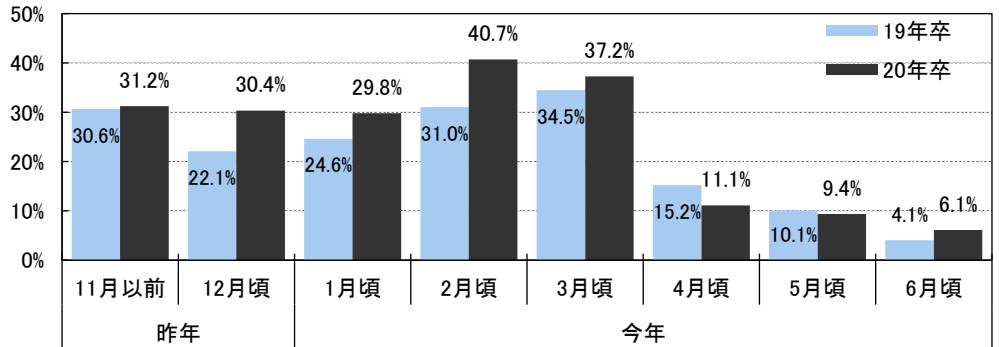
入社予定先企業に応募した方法 n=943 *入社予定先を決めている人のみ



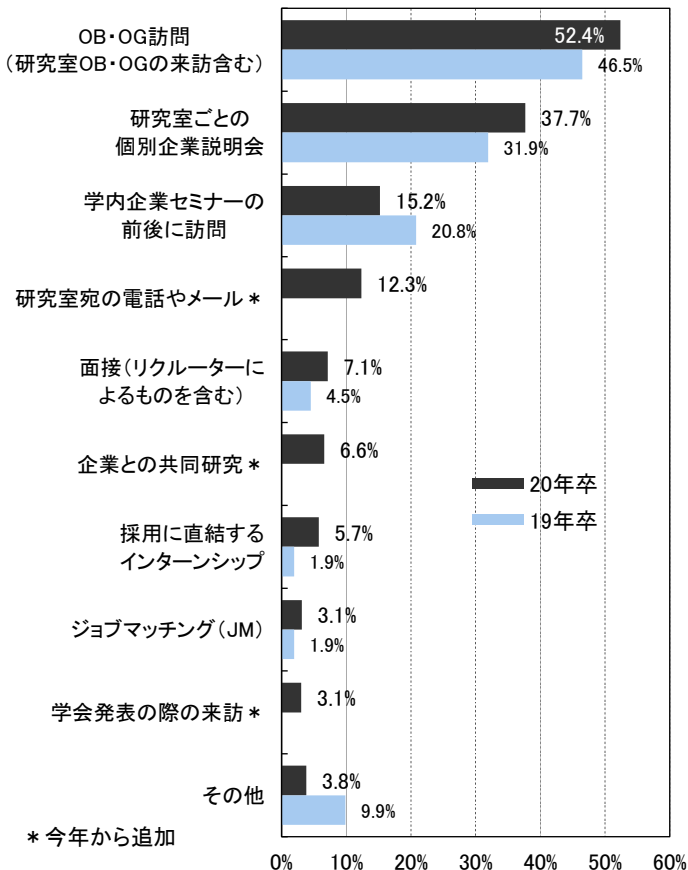
選考前に研究室で企業の方と接触があった割合



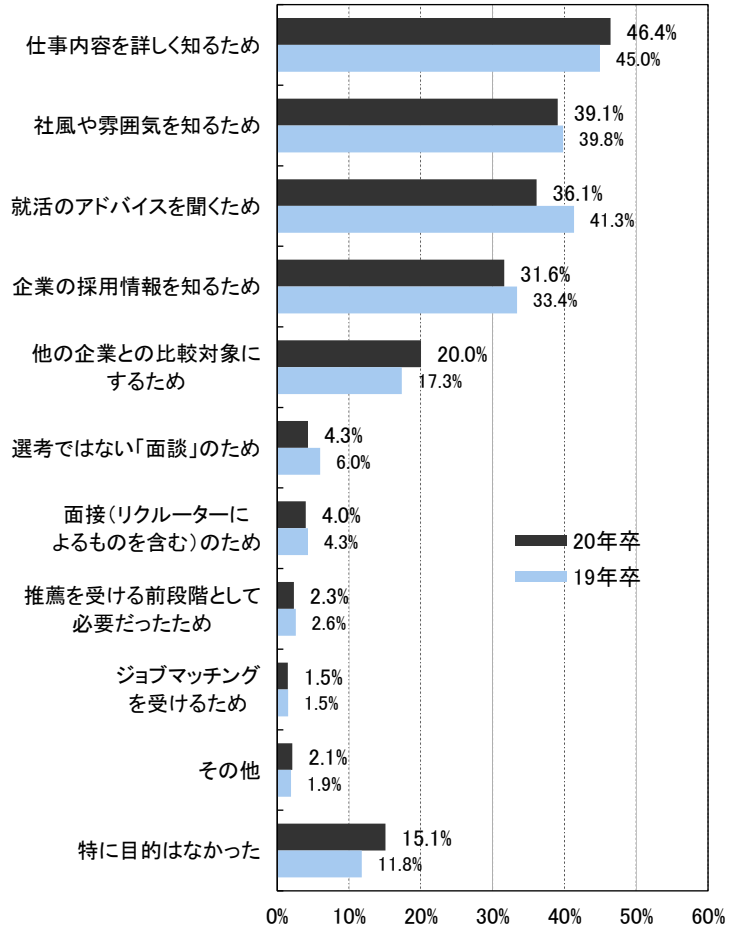
選考前に研究室で企業の方と接触した時期【複数回答】 n=296 *接触があった方のみ



選考前に研究室で企業の方と接触したのはどのような機会だったか【複数回答】 n=296 *接触があった方のみ



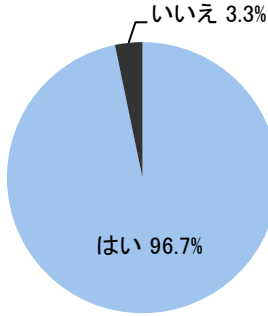
選考前に研究室で企業の方と接触した目的【複数回答】 n=296 *接触があった方のみ



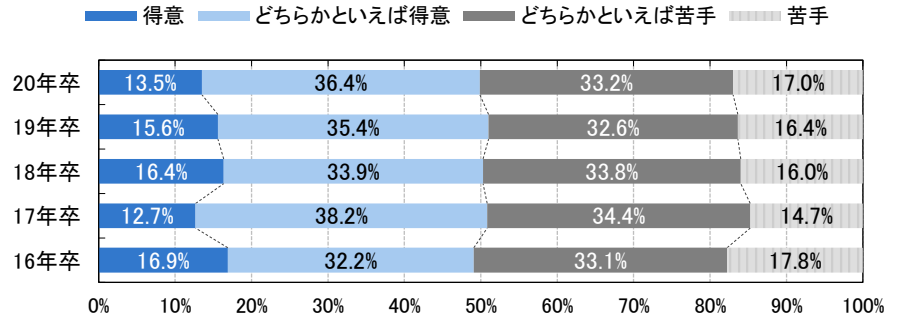
■8:面接について

個別企業セミナーに参加した企業から採用面接を受けるよう連絡をもらったことがある割合は45.6%で、うち38.7%は連絡をもらった企業の採用面接をすべて受験したと回答した。面接を受ける前と受けた後での志望度変化を割合で回答した平均では、志望度が上がった割合は33.1%だった。志望度が上がった理由では「話をしっかり聞いてくれた(39.1%)」「リラックスできる環境を整えてくれた(34.7%)」の割合が高かった。面接で聞くのは不適切とされる質問について、聞かれたことがあるものを聞いたところ、「兄弟姉妹や親族について(25.8%)」「両親や保護者の職業(22.7%)」の2つが比較的高い割合だった。

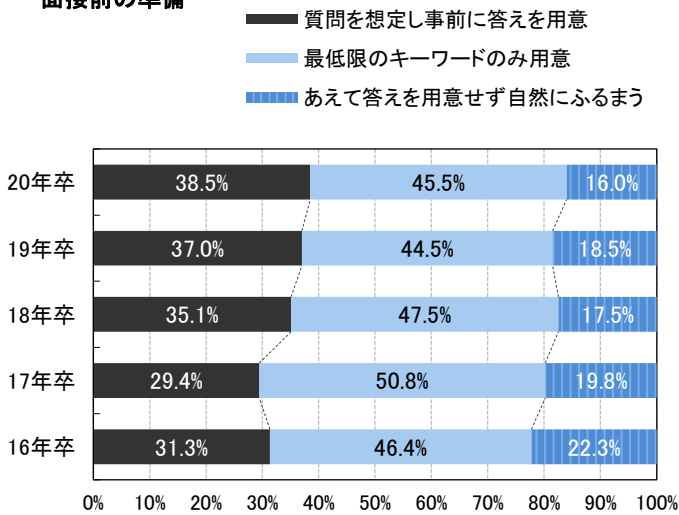
面接を受けたことがあるか



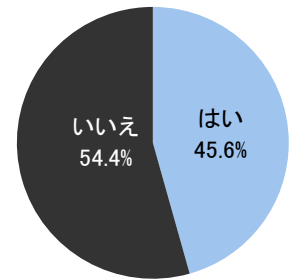
面接は得意か n=2,024



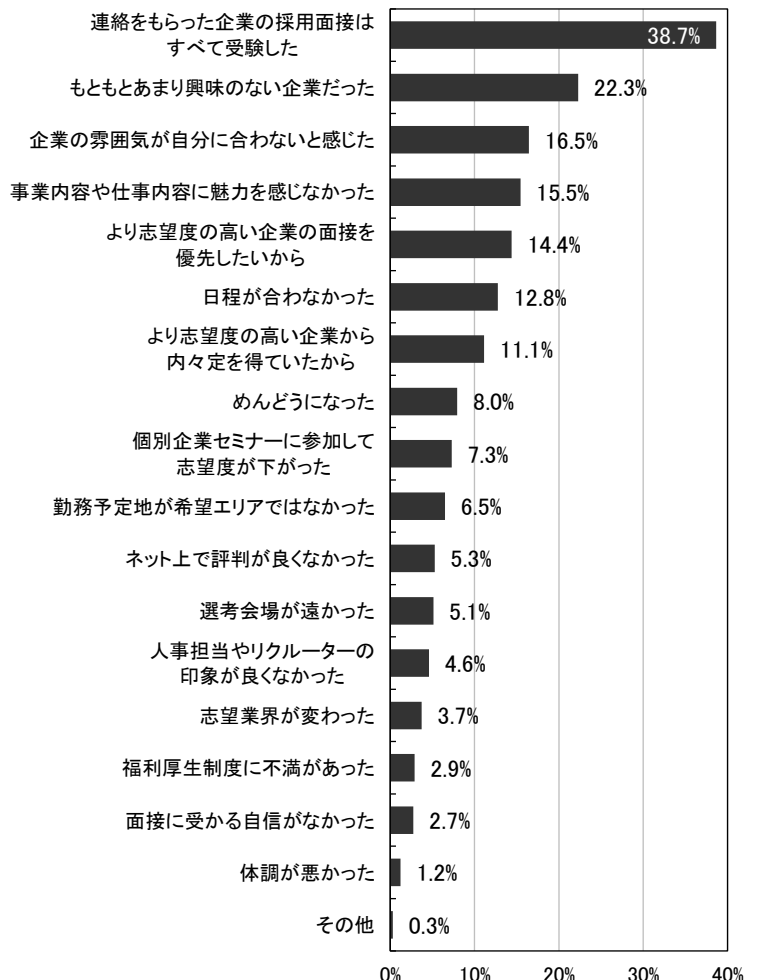
面接前の準備



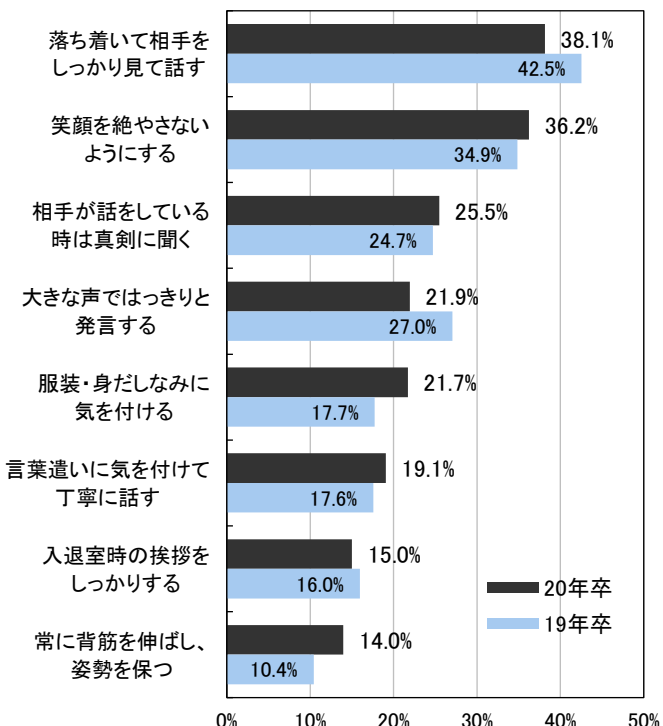
個別企業セミナーに参加した企業から採用面接を受けるよう連絡をもらったことはあるか



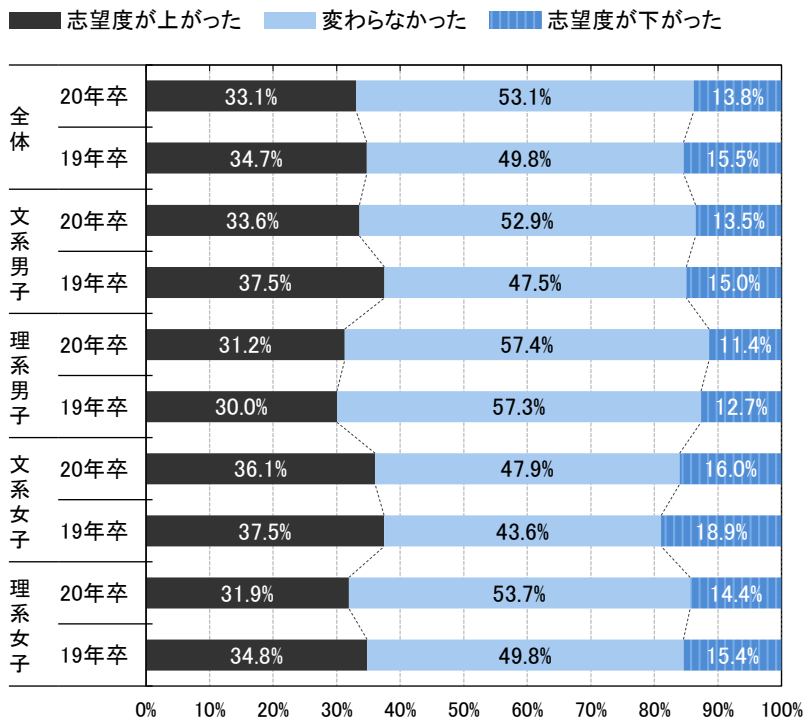
連絡をもらったのに採用面接受験を断った理由【複数回答】n=942



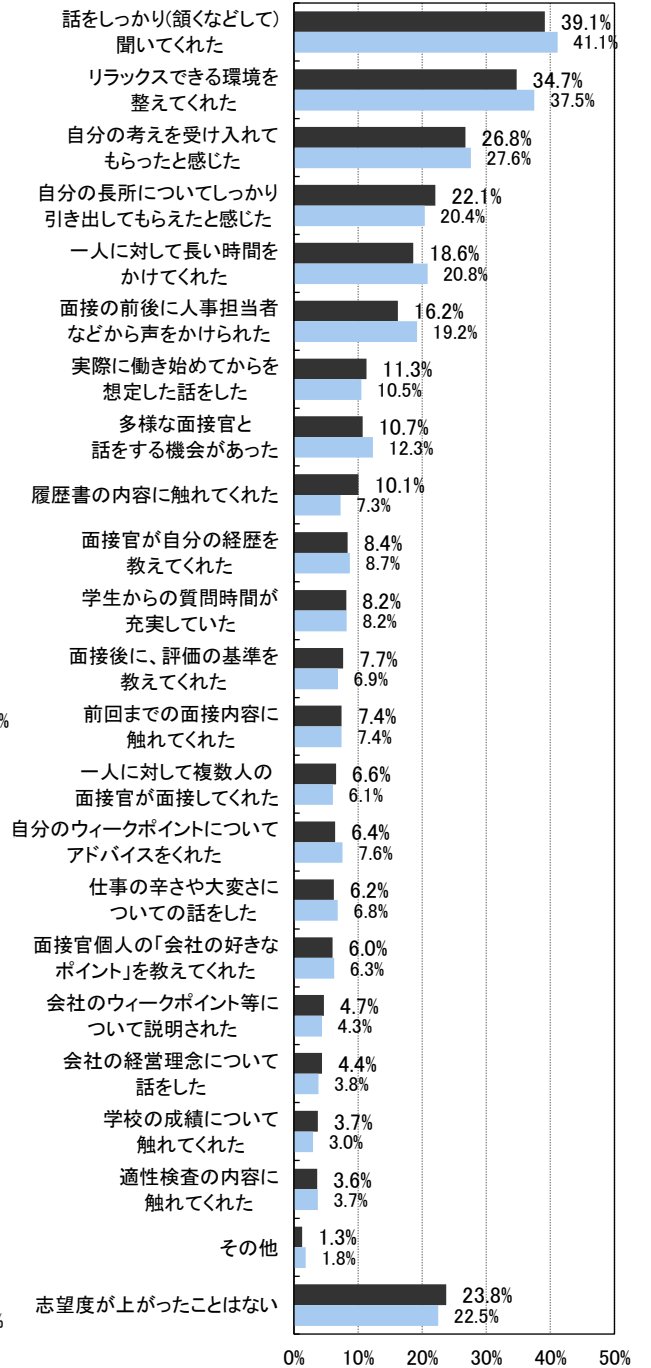
面接時に注意しているポイント【2つまで選択】



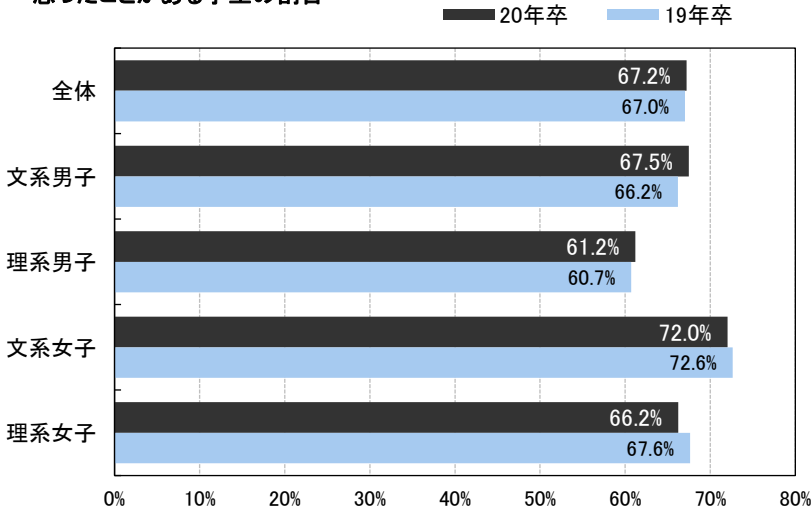
面接を受ける前と受けた後でその企業に対する志望度変化の割合(平均)



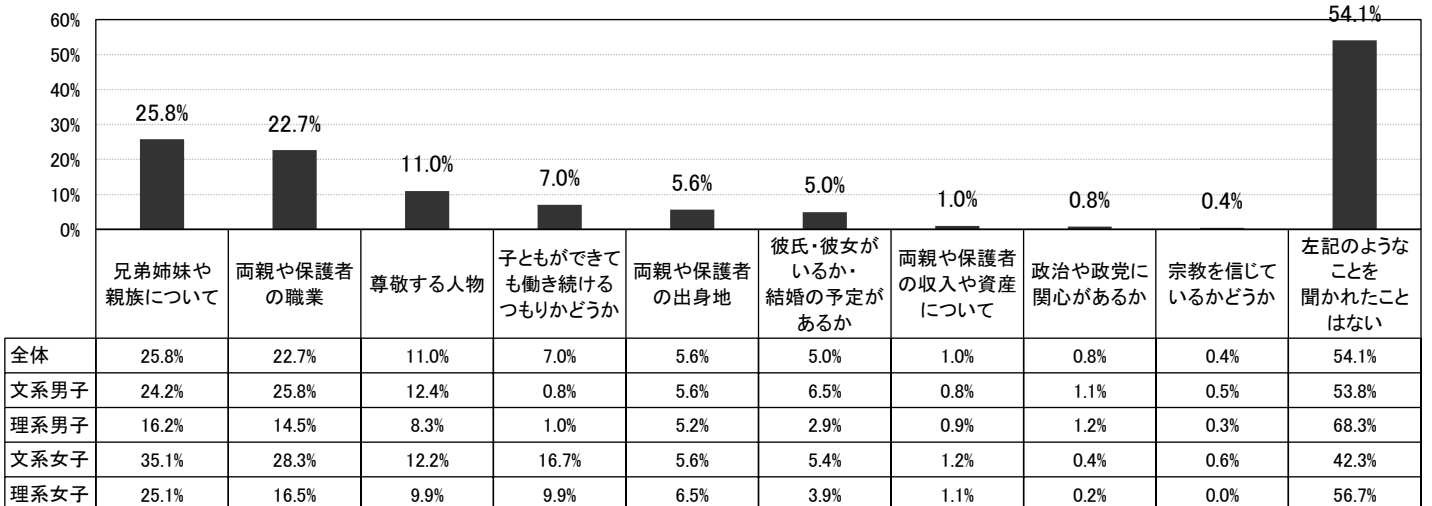
面接で志望度が上がった理由【複数回答】



面接官とのやり取りの中で「ぜひこの企業に入社したい」と思ったことがある学生の割合



面接で聞かれたことがあるもの(不適切とされる質問)【複数回答】



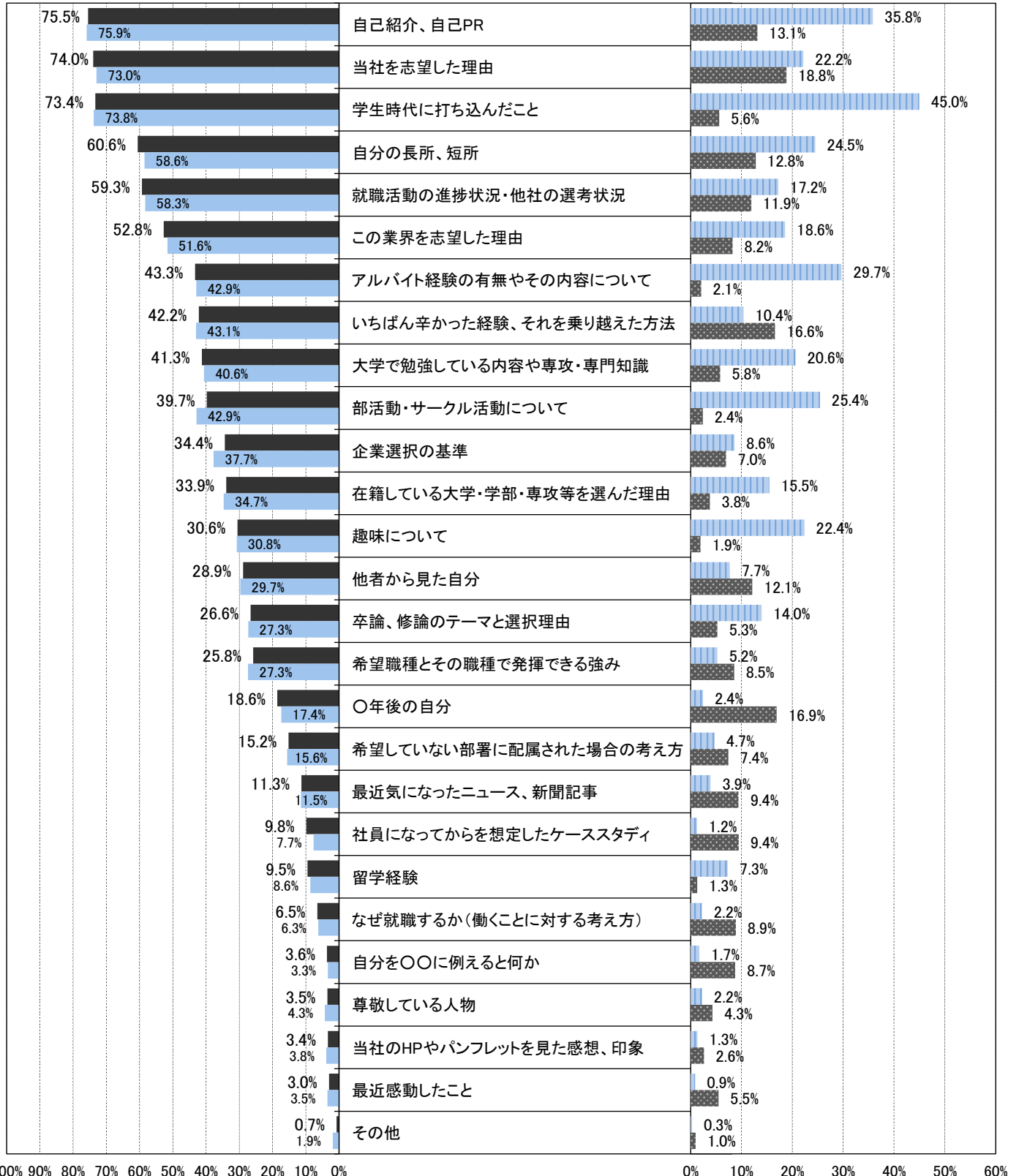
面接でよく聞かれた質問のトップ3は「自己紹介・自己PR (75.5%)」「当社を志望した理由 (74.0%)」「学生時代に打ち込んだこと (73.4%)」だった。面接経験者にWEB面接を受けたことがあるか聞いたところ、「ある」と回答したのは前年を大きく上回る20.2% (前年比8.7pt増) だった。WEB面接を受けたことがある人に、実施企業が増えたほうがいいと思うか聞いたところ、「思う」は42.7%で「思わない」の24.8%を大きく上回った。WEB面接を受けて感じたことでは「交通費がかからなくてよい (55.5%)」「移動時間がかからなくてよい (47.0%)」の割合が高かったが、「通信環境に影響される (38.9%)」「目線が合わない・どこを見ればいいのかわからない (35.0%)」といった意見も多かった。

よく聞かれた質問【複数回答】

回答が比較的容易だった / 難しかった質問【複数回答】*20年卒

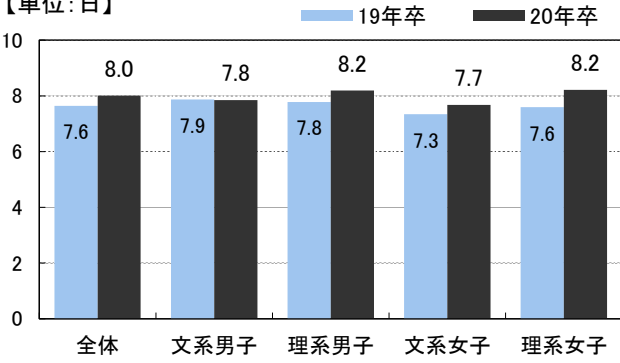
20年卒 19年卒

回答が比較的容易だった 回答が難しかった

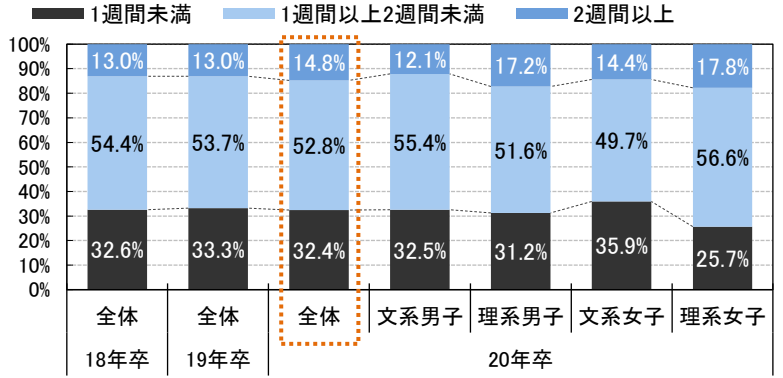


面接を受けた日から結果の通知まで何日間待てるか(平均)

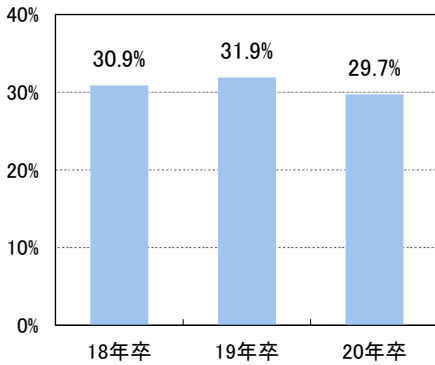
【単位：日】



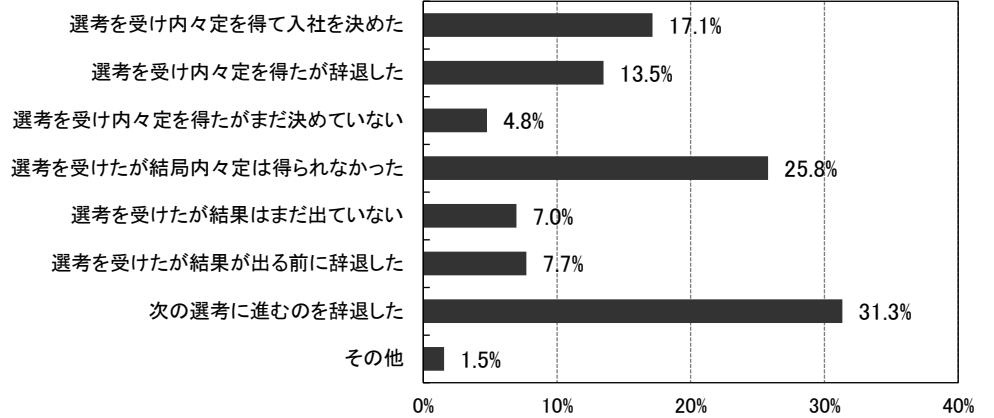
面接を受けた日から結果の通知まで何日間待てるか(分布)



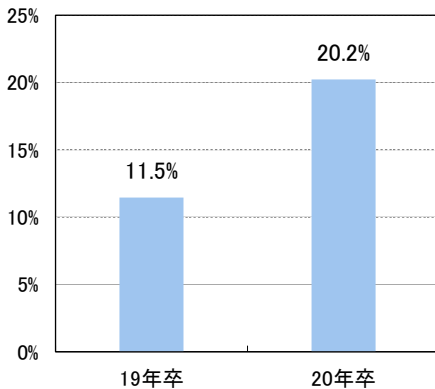
面接後、通過連絡がなく落ちたと思った企業から、後になって通過の連絡があったことのある割合



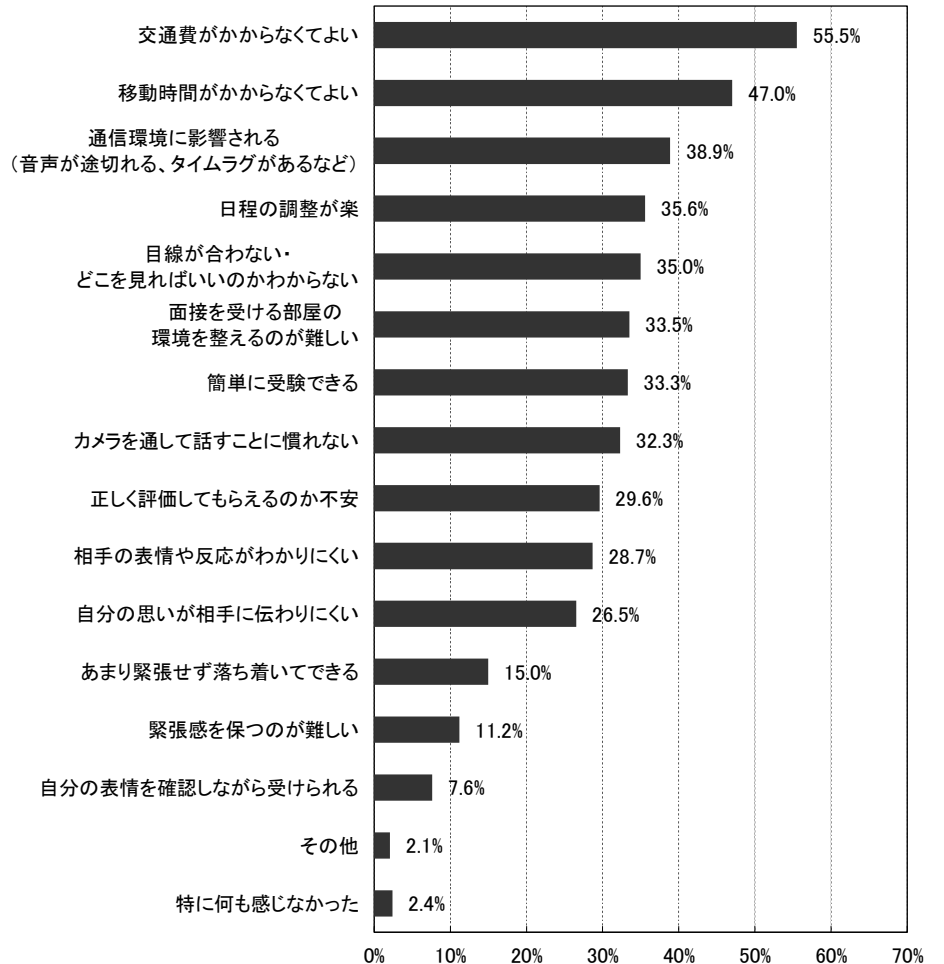
落ちたと思っていた企業から連絡が来たときの対応と結果【複数回答】 n=583



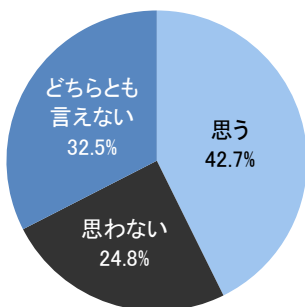
面接経験者のうちWEB面接経験者の割合



WEB面接を受けて感じたこと【複数回答】 n=390



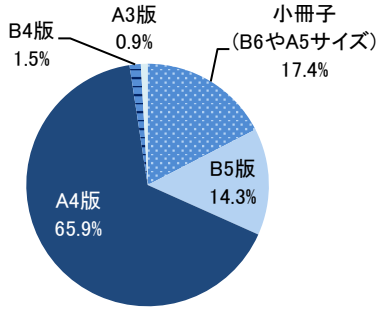
(WEB面接を受けたことがある人限定) WEB面接を実施する企業が増えた方がよいと思うか n=390



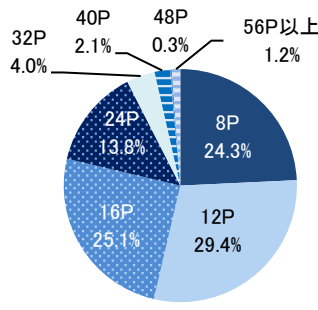
■9: 入社案内(採用パンフレット)について

入社案内(採用パンフレット)の入手経路は、多い順に「個別企業セミナーで(48.0%)」「合同企業説明会で(41.0%)」「インターンシップで(34.9%)」となった。最もよく目を通すタイミングでは「エントリーシートを提出する前(30.9%)」と「一次面接を受ける前(30.9%)」が最も多かった。エントリーシート提出前に注目するポイントは多い順に「採用方針(49.0%)」「企業理念(46.9%)」「募集要項(45.0%)」で、選考(面接)前は「企業理念(52.8%)」「採用方針(49.7%)」「先輩社員のインタビュー(39.0%)」だった。

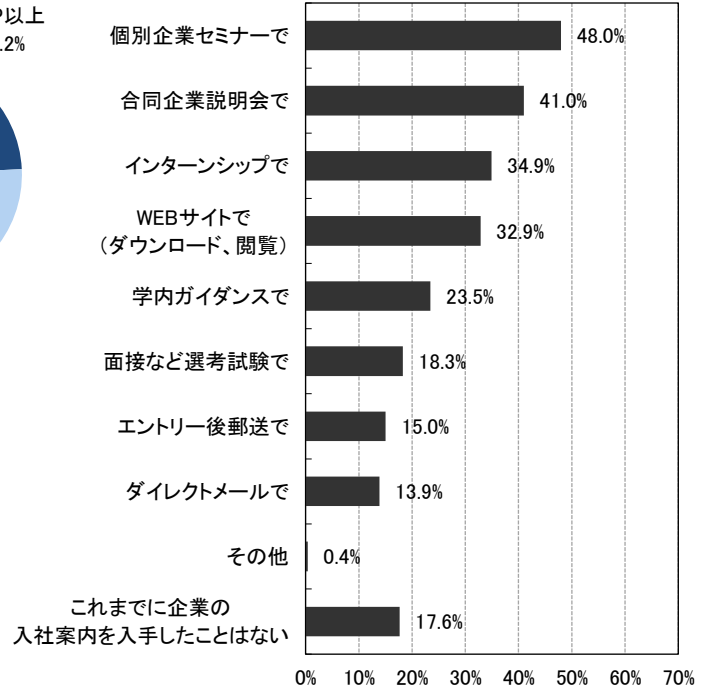
理想的だと思うサイズ



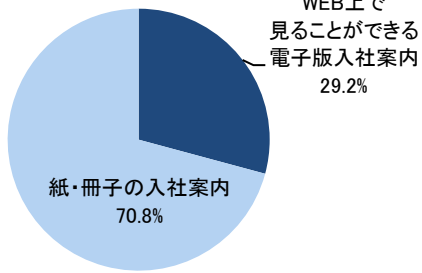
読みやすいと思うページ数



入手経路【複数回答】

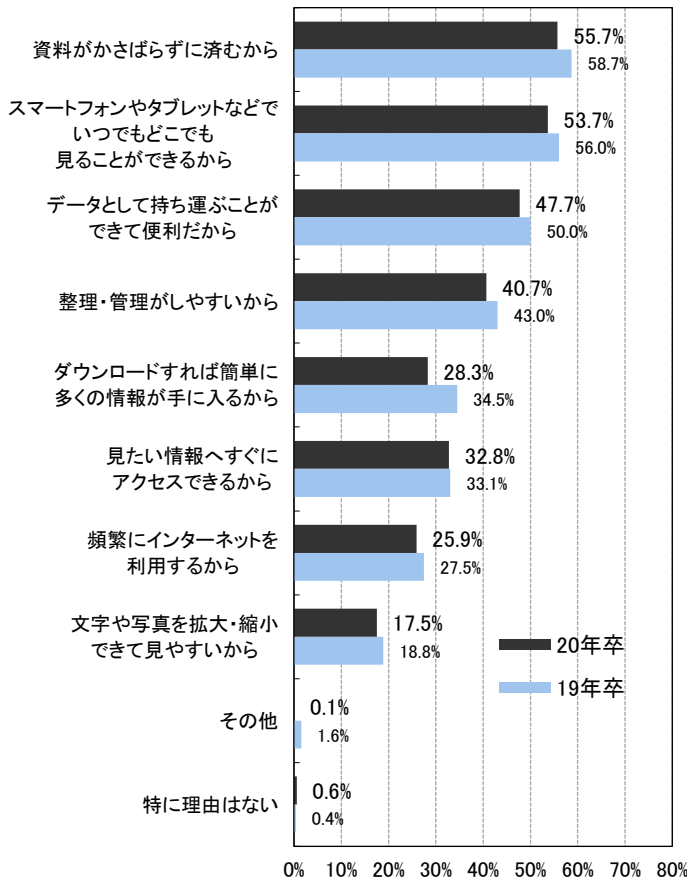


WEBと紙どちらが良いか



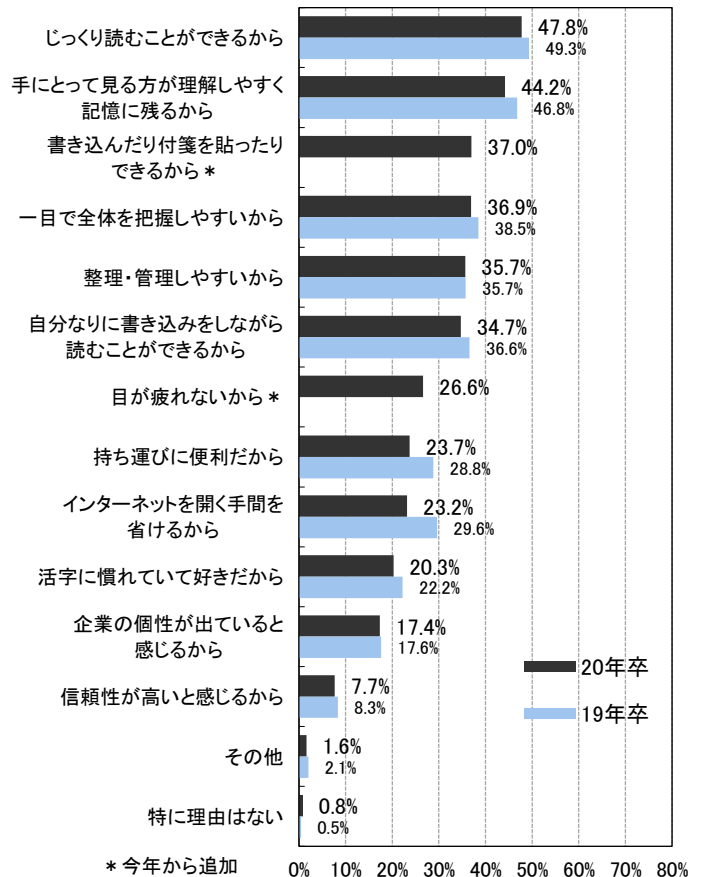
電子版が良い理由【複数回答】

n=504



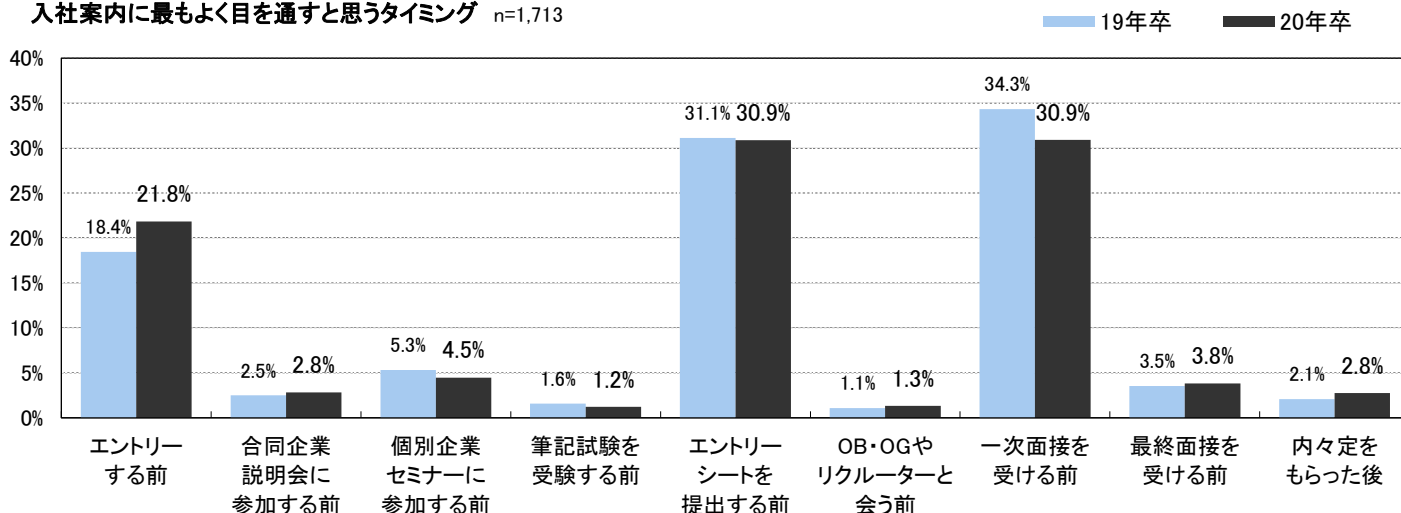
紙・冊子が良い理由【複数回答】

n=1,209



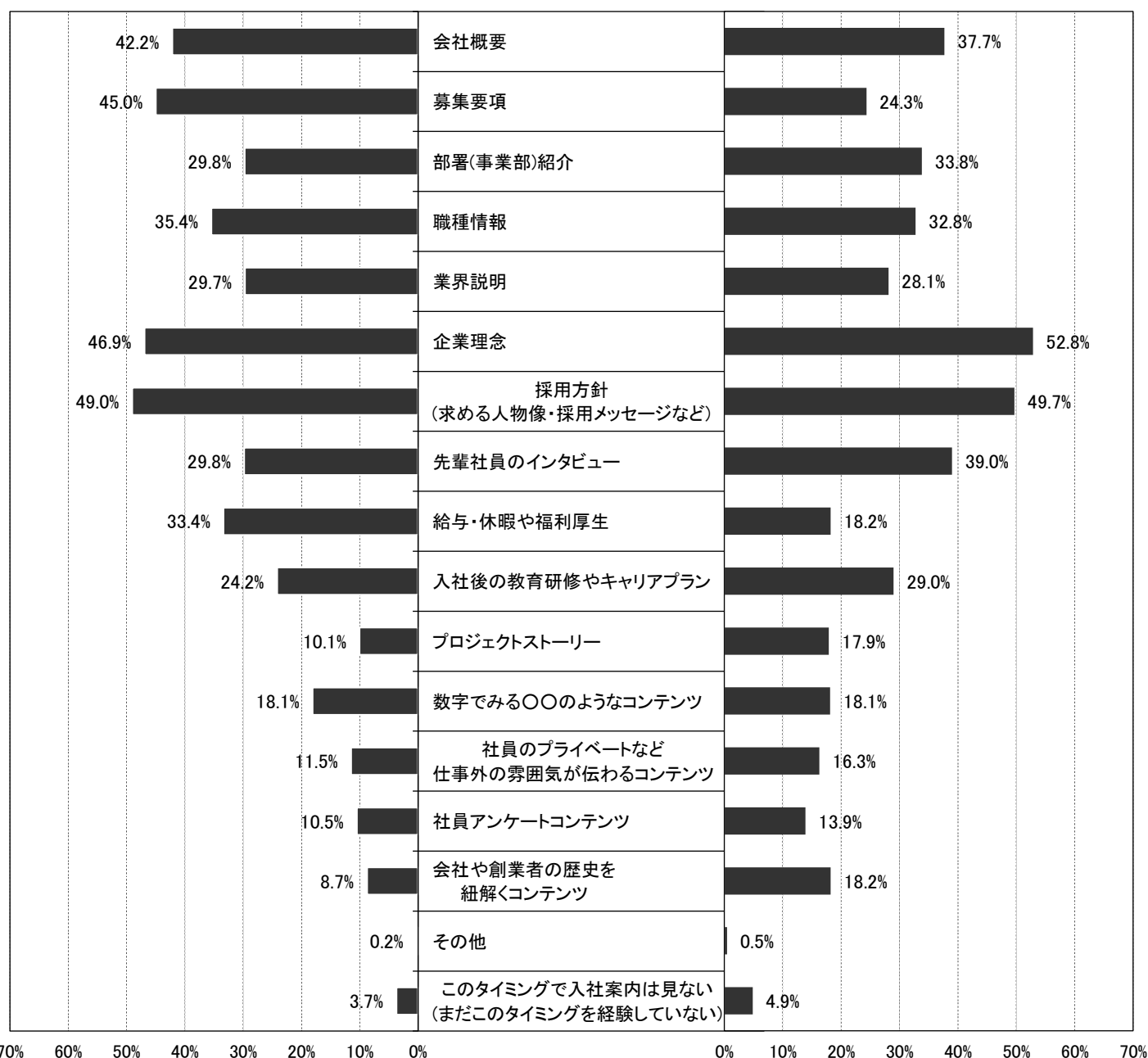
*今年から追加

入社案内に最もよく目を通すと思うタイミング n=1,713



入社案内を見るとき注目するポイント【複数回答】
＜エントリーシート提出前＞

入社案内を見るとき注目するポイント【複数回答】
＜選考(面接)前＞

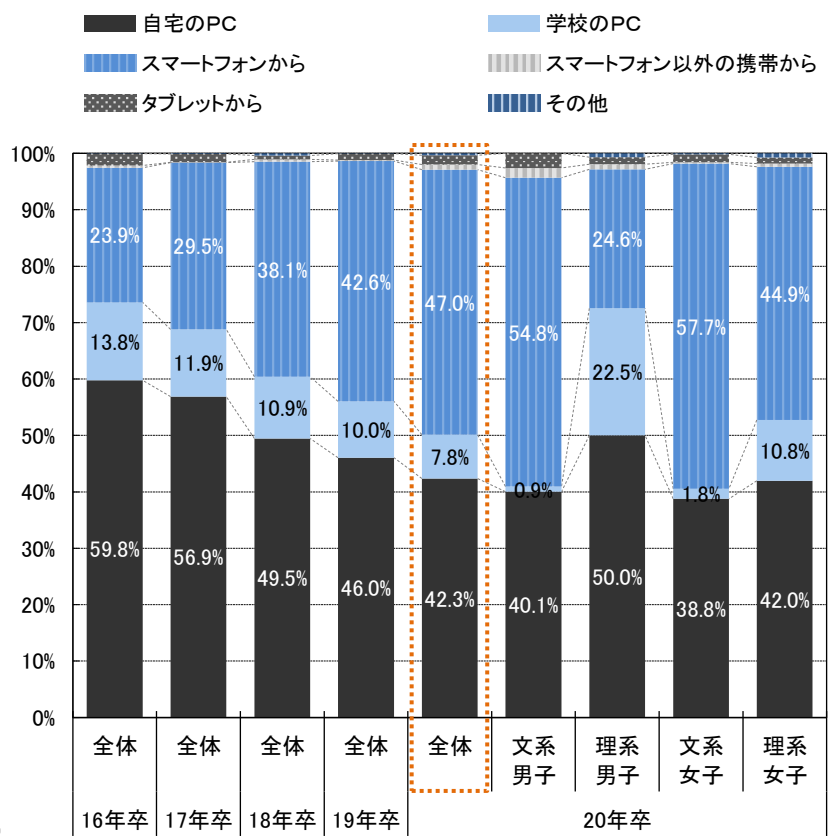
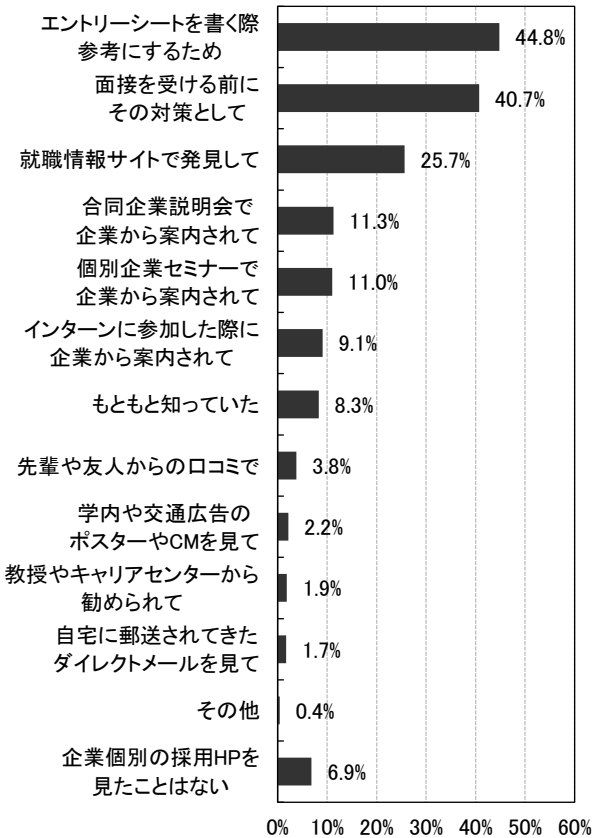


■10: 企業の採用ホームページ(HP)について

志望企業の採用ホームページを見ようと思ったきっかけは多い順に「エントリーシートを書く際参考にするため(44.8%)」「面接を受ける前にその対策として(40.7%)」「就職情報サイトで発見して(25.7%)」だった。企業の採用ホームページのどんな情報をよく見ているかではエントリー前は「募集要項(46.9%)」、セミナー参加前は「会社概要(25.4%)」、ES提出や選考前は「採用方針(53.4%)」の割合が最も高かった。

志望企業の採用HPを見ようと思ったきっかけ【複数回答】

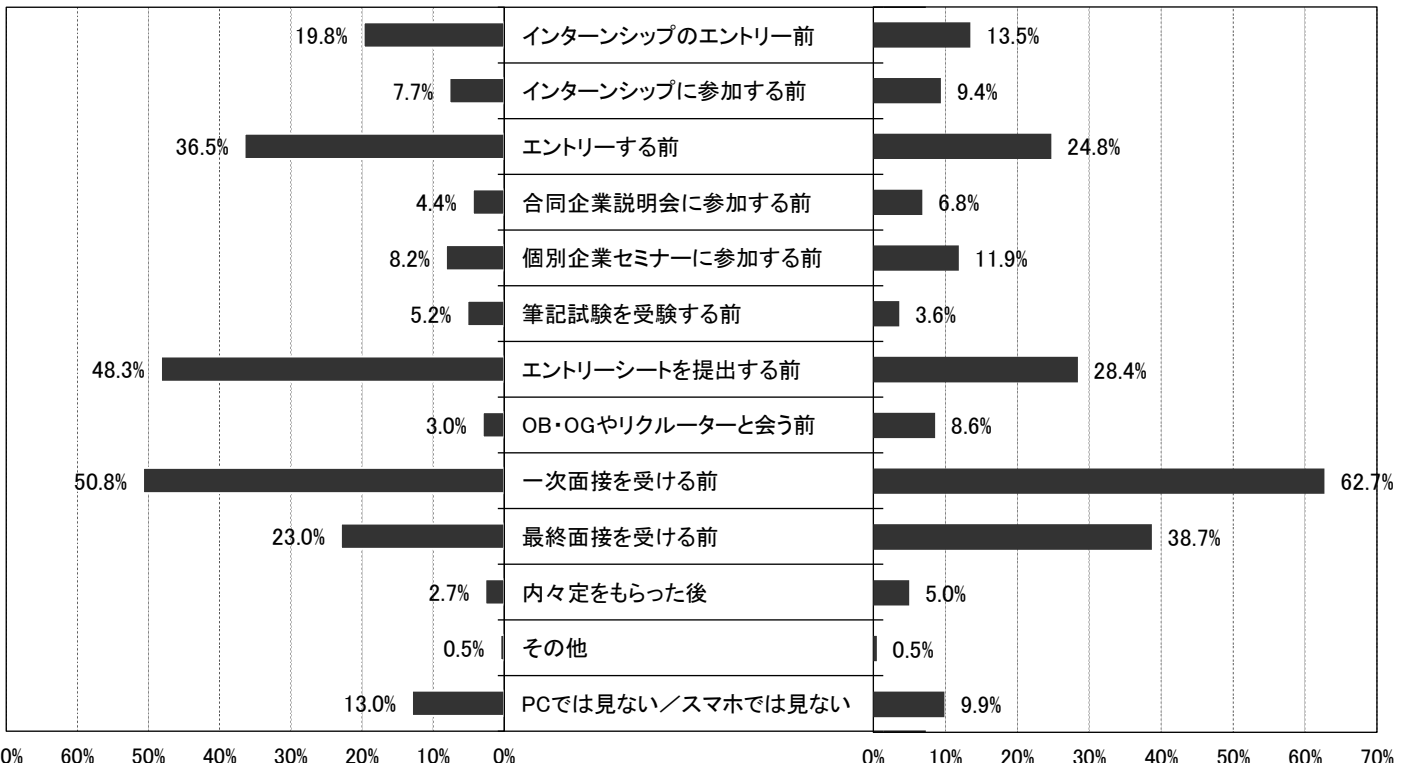
採用HPを見る際最もよく使うツール n=1,962



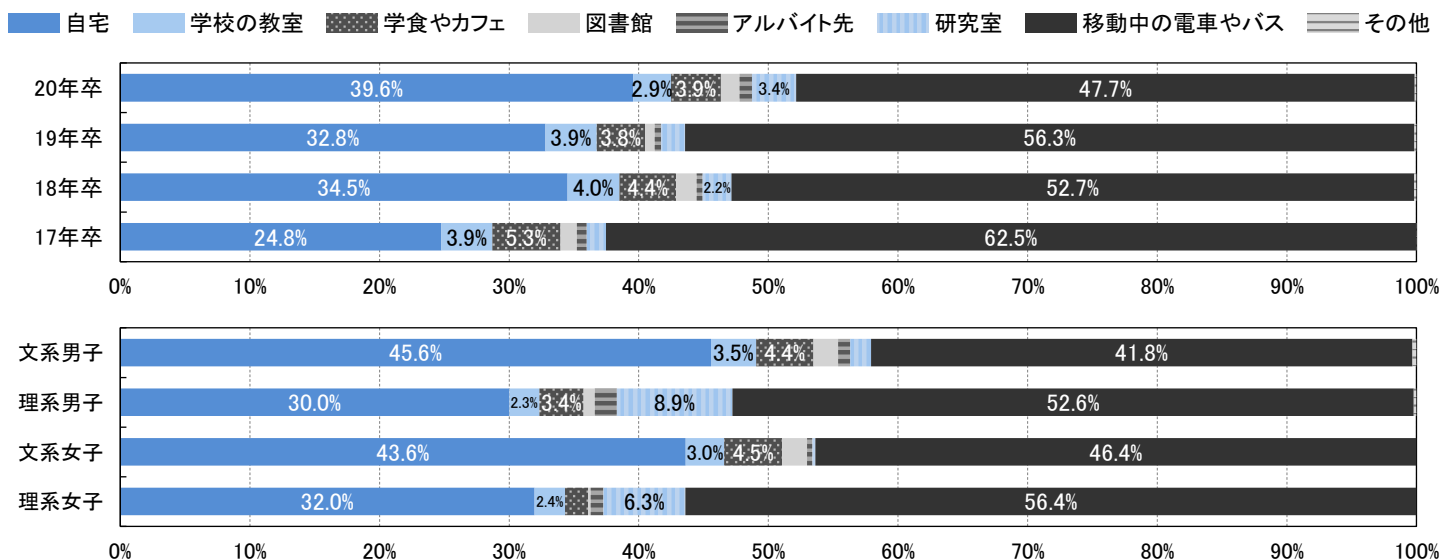
PCで見るのはどのようなときか【複数回答】

n=1,962

スマートフォンで見るのはどのようなときか【複数回答】



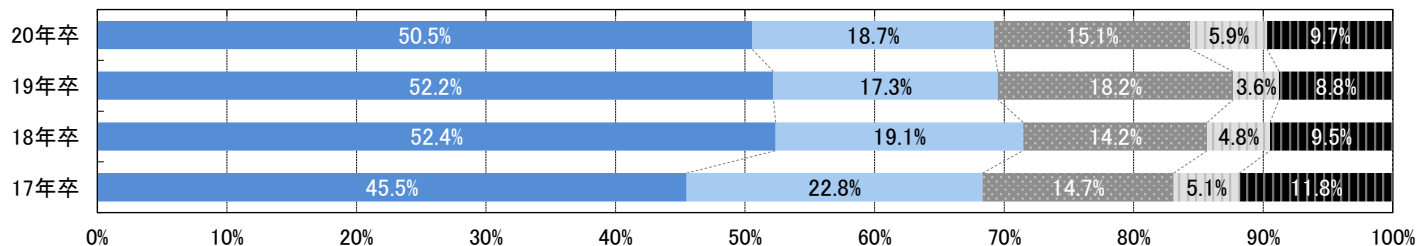
スマートフォンで企業の採用HPを見る場合、どこで見るのが最も多いか n=1,763



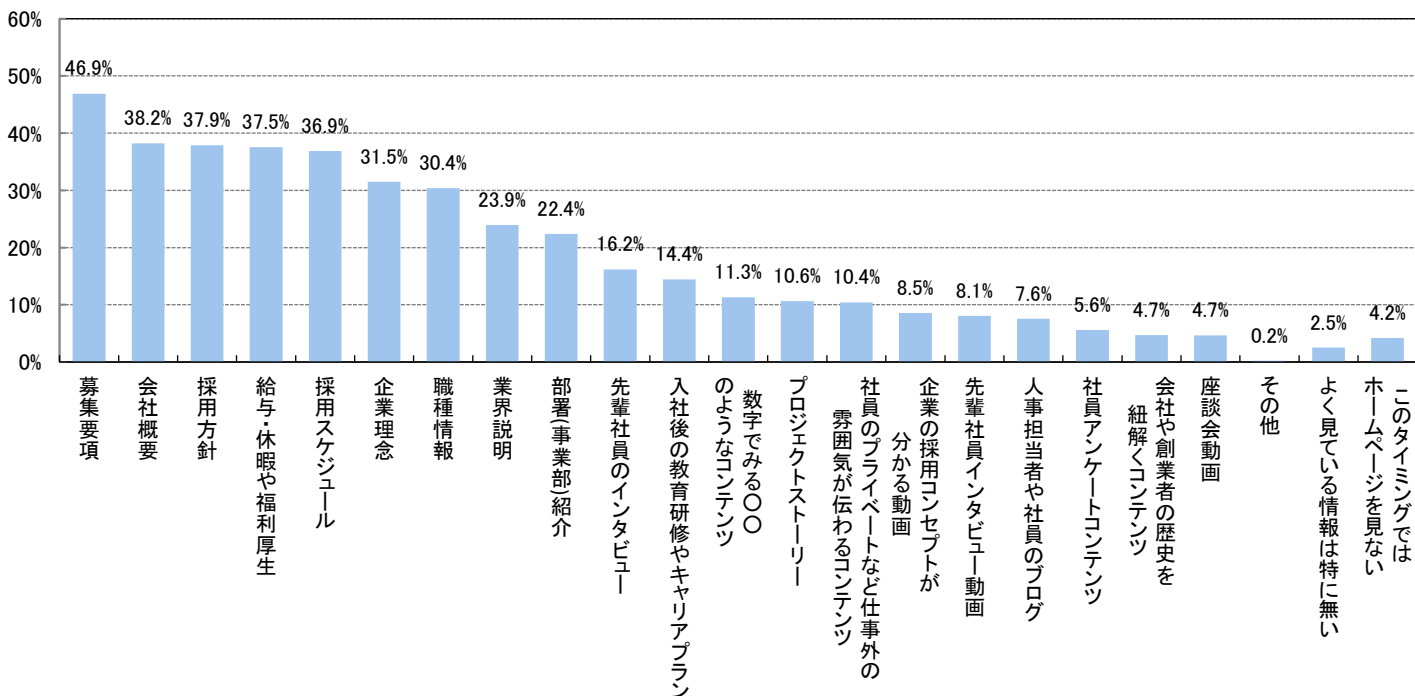
スマートフォン向けに最適化されていた方が良いか n=1,763



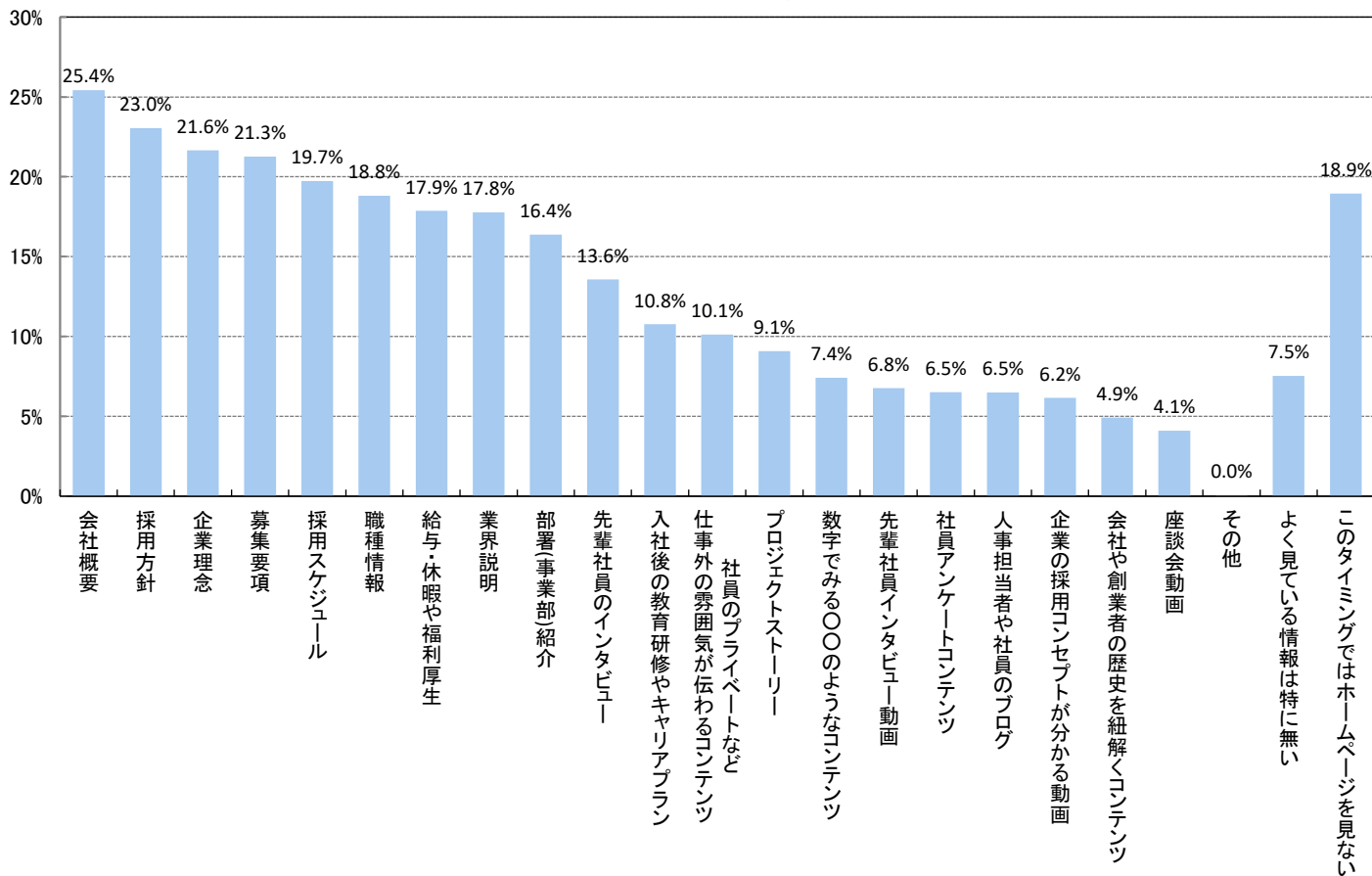
最適化されていた方が良い ← 5段階 → 気にならない



『エントリー前』企業の採用HPのどんな情報をよく見ているか【複数回答】 n=1,962



『セミナー参加前』 企業の採用HPのどんな情報をよく見ているか【複数回答】 n=1,962



『ES提出や選考前』 企業の採用HPのどんな情報をよく見ているか【複数回答】 n=1,962

